

やさしさの輪をひろげる

Spreading the kindness

Monthly **ORIGAMI** Magazine

SEPTEMBER

月刊

おりがみ

No. **445**

ISSN 1348-4834

特集 **秋の始まり**

The beginning of autumn

2012. **9**



特集 秋の始まり

The beginning of autumn

- ★  **かぐや姫、竹の容れもの**
山梨明子 **10-13**
-  **おとぎばなしのおじいさんとおばあさん**
笠原邦彦 **14-17**
- ★  **たぬき**
児玉 功 **18-19**
-  **おわら風の盆**
斎藤静夫 **20-23**
- ★  **鶴のおもてなし**
小の林知恵美 **27**
-  **メモ入れ付きカップとグループケース**
川手章子 **28-29**
-  **まねきねこ**
青木 良 **30-31**
-  **桔梗のお皿**
永田紀子 **32-33**
-  **菊のくす玉**
市川 学 **34-36**
-  **《チャレンジコーナー》
天体望遠鏡**
青木 良 **24-26**

《連載》

ワールド	オリガミ	レポート	
World Origami Report			6
おりがみガーデン			7
折り図のミカタ (6)			9
NOA Information			37-43
11月11日「おりがみの日」記念作品募集			43
ピアッツァ	ノア	Piazza NOA (読者の広場) 44-47	
新事務局へようこそ (17)			48
和紙ものがたり (6)			49
支部だより			50-51

★…おりがみ級制度規定作品 (P11「竹の容れもの」、P18-19「たぬき」、P27「鶴のおもてなし」)

*雑誌『小国民』にみる折り紙 — 今と江戸をつないだ明治 — は、都合により休載します。(編)

*まん中 (P26とP27の間) に、折り方の記号の説明・月刊『おりがみ』バックナンバーのお知らせ・月刊『おりがみ』投稿作品記録用紙・「おりがみの日」記念作品応募用紙・おりがみ級制度申請書・払込取扱票などが折り込まれています。

(今月号に『おりがみ商品カタログ注文表』はつきません)

おりがみ 第38巻第9号 通巻445号 2012年9月1日発行

発行/日本折紙協会
 発行人/大橋皓也
 住所/〒130-0004 東京都墨田区本所 1-31-5
 TEL/03-3625-1161 FAX/03-3625-1162
 URL <http://www.origami-noa.com/>

折り図/藤本祐子・青木良・編集部

印刷・製本/大日本印刷(株)

定価/764円(本体728円)

e-mail:

info@origami-noa.com(事務局)

henshubu@origami-noa.com(編集部)

© 2012 NIPPON ORIGAMI ASSOCIATION

本書に掲載されている折り図、写真、記事等を無断で複写(コピー)複製・転載することは、著作者および出版者の権利の侵害となりますので、固く禁じます。

No part of this publication may be copied or reproduced by any means without the express written permission of the publisher and the authors.

Publishing office — NIPPON ORIGAMI ASSOCIATION Publisher — Kōya ŌHASHI Chief editor — Nobuo AOKI

Copyright © 2012 NIPPON ORIGAMI ASSOCIATION Domicile — 1-31-5, Honjo, Sumida-ku, Tokyo 130-0004, Japan

TEL — 03-3625-1161 FAX — 03-3625-1162 Printer — Dai Nippon Printing Co., Ltd. Price (including tax) — ¥764 Printed in Japan

ISBN978-4-931297-84-5 C2076 ¥728E

※乱丁・落丁のときは、お取り替えいたします。

特集 秋の始まり

まだまだ日中は残暑厳しい9月ですが
夜になると秋がそこそこにやって来ているのを感じます

十五夜(2012年は9月30日)



〈チャレンジコーナー〉

天体望遠鏡

▶9月12日は宇宙の日。
秋の夜空を観測しよう



▶葉っぱがためさじに!





「おじいさんは
光り輝く竹の中
にとてもかわいらしい
女の子を
見つけました」

月の世界からきた
かぐや姫のお話です

▶竹の容れもの



おわら風の盆 9月1~3日



▶二百十日(9月1日頃。2012年は8月31日)の大風を治め、五穀豊穡と永世の繁栄を祈ってしめやかに踊ります

※「おわら風の盆」と「菊のくす玉」の作品は作者制作のものです

ちょうよう 重陽の節供

▶旧暦9月9日の節供。
長寿を願って菊をめで
ます



敬老の日(2012年は9月17日)

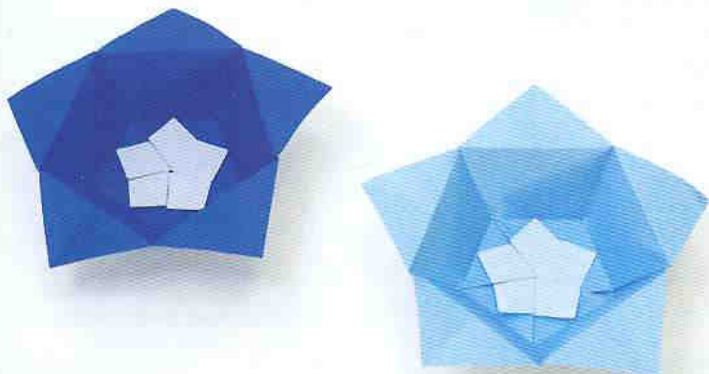
▶敬老の日のテーブル。お元気でお暮らしてください

▶福を呼ぶ
まねきねこの
しおり。
立たせて飾る
こともできます



おめでたい鶴の敷き紙に
お菓子をのせて

▶秋らしい桔梗のお皿です



▶メモ入れ付き
カップ。
4つでグループ
ケース



今月号の表紙と口絵の作品に使用した、
おもな紙の商品名とメーカーです

▶番号は「おりがみ商品カタログ」(2011年版)です。ご利用ください。
価格表記の商品は事務局で取り扱っています。



「創作おりがみ15cm」
(トーヨー)T-1



「両面単色15cmみどり/きいろ」
(クラサワ)K-113



「もみ両面和紙(極み)15cm」
(クラサワ)K-151



「両面ドットちよがみ(カラフルミニドット)」
(ショウワゲリム)
会員価格252円(税込み) 送料140円 ※85g



「モダン和紙 浮き麻の葉」
(ショウワゲリム)
会員価格336円(税込み) 送料140円 ※35g



小倉隆子・藤本祐子 フィリピン紀行 文：藤本祐子(東京都)



▲折り紙教室(講師は小倉さん)

5月17日(木)から22日(火)まで、フィリピンのセブ島から高速船で3時間のカモテス諸島のポロ島へ行ってきました。フィリピンで終戦を迎えられた清水 猛氏が20年前から続けておられる医療奉仕活動に参加されて今年で8回目の講師の小倉隆子さんに同行させていただいたものです。

小倉さんは島の子どもたちに清水さんの建てられた教会などで折り紙を教えて交流してられました。おみやげに鉛筆や折り紙、ノートなどを携えて。

今回はその活動をぜひ見せていただきたかったのと、南国のフルーツ(特にマンゴー)やきれいな海にひかれての参加でした。

付近にヤシの木とバナナの木が生い茂る小さな教会で、子どもたちはとても楽しそうに、熱心に折っていました。親も一緒に来ていますが、幼稚園くらいの年齢の子どもたちは、親とはなれた席で友達同士習っていて、のみこみも早かったです。小さな台の上でしたが、工夫しながら教え合いながら折っている姿はほほえましいものでした。

何より継続した活動ゆえ、島の方達が心待ちにしていることを感じました。

日本で子どもたちに教えるときは、少々教育的な意義なども考えたり、お話ししてきた私ですが、今回の旅では、紙を折って形ができ、それで遊ぶという折り紙をする楽しさの原点にもどれたような気がしました。

帰りの舟を待つ時間、波止場の近くのお店がある場所で、同行した会員の石井よし子さんと豊崎美恵子さんが、地元の子どもたちに風船やだましぶねを折ってあげて遊んでいました。風船をぼんぼんついたり、「だましぶね」で大ウケしている子どもを見たのは久しぶりで、素朴な伝承遊びを日本でも受け継いでいきたい、と改めて思いました。



▲セブ島医師会会長(左)との医療奉仕



▲(左から)セブでホテル経営の新留さん、今回の団長の間片さん、小倉さん、日本人遺骨収集などに携わっていらっしゃる永田さん、日本領事館領事、石井さん、豊崎さん、筆者、新聞社の人



▲おみやげの袋つめ作業

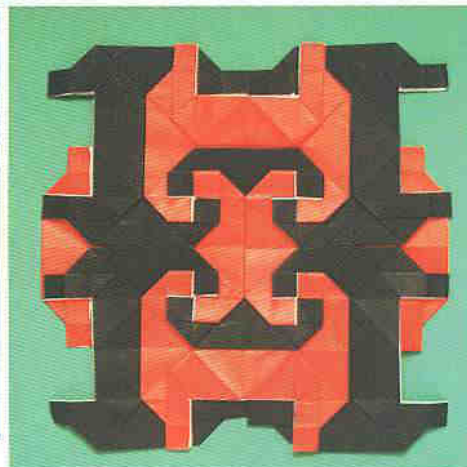


▲帰りの波止場で子どもたちとの交流



◇うさぎ、白と杵もち
／児玉 功

※白と杵もちは一枚の紙で折りました。(作者)



◇おりがみモザイク (アラベスク)
／石橋美奈子



♥箱入りシーサ／金城和美

※伝承の箱が引き出しになっています。入れ子細工のようで楽しいと思います。(作者)

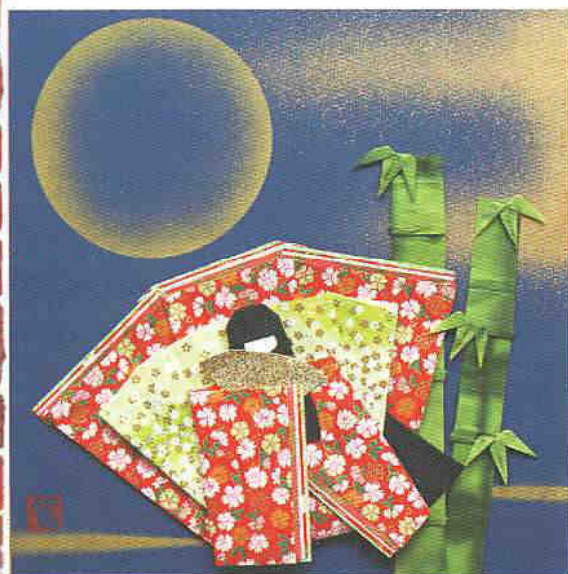


◇かぐや姫／浅井かつゑ



◇かぐやひめ／松野幸彦

♥かぐや姫／竹尾篤子



写真の作品名についている♥印は、作者のご好意により作者から折り図を送付できます。折り図希望の方は、80円切手を貼った返信用封筒を同封のうえ、直接作者にお問い合わせください。なお、作者自身の作図・コピーのために折りにくい場合もありますので、ご承知ください。

金城和美 〒901-0201 豊見城市字真玉橋 33

竹尾篤子 〒630-0265 生駒市軽井沢町 12-20

(折り図請求締め切り 2012年10月末日)

作品をお寄せくださった皆さん

2012年5月受け付け分投稿作品一覧
ご投稿ありがとうございます

浅井かつゑ・大阪府／乳母車、赤ちゃん
児玉 功・大阪府／兎〔後ろを振り返る姿〕、トグロを巻いた蛇、龍の改作、小さい秋みつけた
鈴木裕子・愛知県／魔女
白須和子・神奈川県／笹の葉
殿谷仁志・大阪府／秋刀魚
染谷淳一郎・茨城県／綿花、バラの花(ガク付き)、キキョウ
岡野京子・埼玉県／スリッパ(アレンジ)
畠山久子・秋田県／馬そり
富野泰子・秋田県／ひし形から折るキャンディー入れ、ペロペロキャンディから花

浦瀬泰彦・愛知県／小槌
青木 良・神奈川県／かんたんなクルマ(シルエットカー)
住田則子・広島県／リバーシブルな木、チューリップのたとう
ハーレー静代・広島県／レイヤードリース、フラワーベッド
吉川元次郎・千葉県／秋の味覚〜松茸
鶴嶋ひろみ・埼玉県／あじさい(模様折り)
島田幸子・埼玉県／ジュエリースターペンダント
伊達光一・兵庫県／る、と、ろ、ん、う、カービィ
石田敏恵・京都府／和尚さん、つま楊枝入れ、

歯車に似たリース
木村松代・奈良県／踊るサンタ、ベビーサンタ、アイラブサンタ
原田延子・大阪府／吹きコマスケルトン
川手章子・長野県／クマちゃんポケットスタンドとケース
藤本祐子・東京都／金魚さんのコインケース改良版
鶴見茂文・栃木県／リボンのお花のくす玉、クレマチスのくす玉、ひがん花

おりがみ



特集 秋の始まり

The beginning of autumn



5月の金環日食をはじめ「天体ショーの当たり年」といわれる2012年。ノアちゃんもすっかり宇宙のとりこです。中秋の名月の今夜もスターウォッチング。

『星は、どんなに明るく輝いていても手が届かないところが、いいのよねえ～』

たぬきもお月見の季節が大好きです。ノアちゃんの新型天体望遠鏡に興味しんしん。おや、なにか贈り物です。

『あっ、たぬきさん、どうもありがとう。ねえノアちゃん、月見だんご、もらったよ～！ いっしょに食べようよ』

『ああホントだ、どうもありがとう…(えっ、それ、葉っぱ！ なんだけどな)』

かぐや姫も故郷に帰ったという十五夜。今夜は不思議なことが起こりそうです。



世界最大の折紙ミュージアム



- 開館時間: 午前8時～午後5時
- 入館料: 大人500円 中学・高校生400円
小学生以下300円 3歳未満無料
※会員証持参の NOA 会員は無料
- 住所: 〒922-0241 石川県加賀市加茂町ハ
90番地1 ☎/FAX: 0761-77-2500

NIPPON ORIGAMI MUSEUM 電子メール: info@origami-hakubutsukan.ne.jp

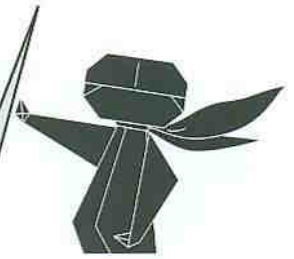
<別館・成田空港店> 千葉県・成田国際空港第1旅客ターミナル中央ビル内。(制限エリアにつき海外旅行者以外の入場不可)

<阿蘇ファームランド・折紙ミュージアム> 日本折紙博物館のグループ会社「阿蘇ファームランド」(熊本県)に、2010年3月、「折紙ミュージアム」がオープン。世界のおりがみ展(いろはシリーズ)など作品展示と折り紙関連商品販売コーナーがあります。

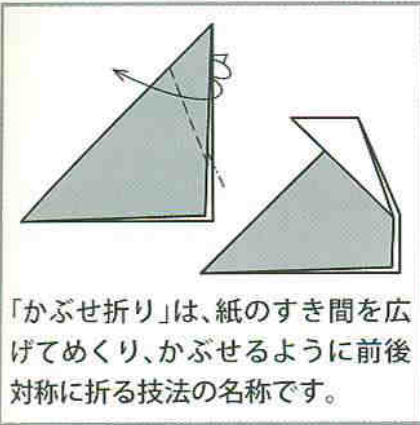
■阿蘇ファームランド 〒869-1404 熊本県阿蘇郡南阿蘇村河陽 5579-3
営業時間 11:00～21:00 (季節により変更あり) ☎0967-67-0001 FAX 0967-67-2300
交通/JR赤水駅より車で7分、熊本空港より車で25分 ※詳しくはお電話にてお問い合わせください

加賀菓子処/名物加賀福本舗
おかしや 加賀藩
御菓子城 加賀藩 2階

折り図の ミカタ

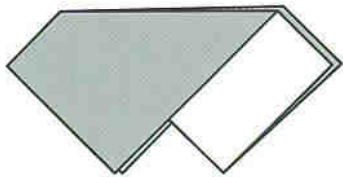


「図を見てもよくわからないのよねえ」という、折り図が苦手なあなたに贈るコーナー。



「かぶせ折り」は、紙のすき間を広げてめくり、かぶせるように前後対称に折る技法の名称です。

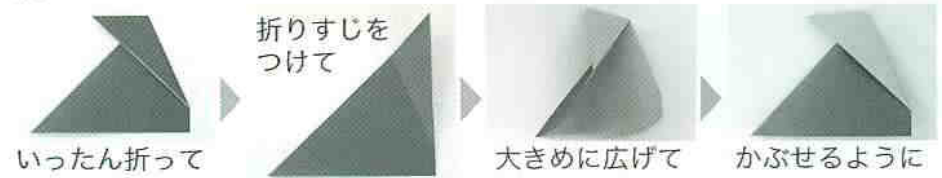
「かぶせ折り」は、前回紹介した「中わり折り」といっしょに紹介されることが多いんだ。形の変化がよく似ているからなんだけど、紙の「折り山(稜線)」とすき間の位置関係が逆なので、折ってみた感覚はまるで違う。なめてかかると紙はシワになったり破れたり、慎重に折ろうとして大きく広げると元の形を見失う。なかなか手ごわい、いやデリケートなヤツなんだ。



ところで上の形。どうやって折ったかわかるかな？ そう、中わり折りでもかぶせ折りでもできる。ちなみにNOA編集部に聞いてみたら「これは、折りやすい「中わり折り」の方を選択して折り図を描くだろうねえ」と言っていたぞ。そんなわけで技法としては全然違うものだけど、形の変化としてはやっぱり表裏一体と考えておこう。

中わり折りと同じく、前後対称の(「平面的だが立つ」ような)横から見る動物の作品などには欠かせない技法で、かぶせ折りを使うと、あごのラインや頭全体を表現できるぞ。また、前後から紙を押さえることになるから、紙が戻るのを防ぐ(開きどめの)効果もあるんだ。

[折ってみよう]

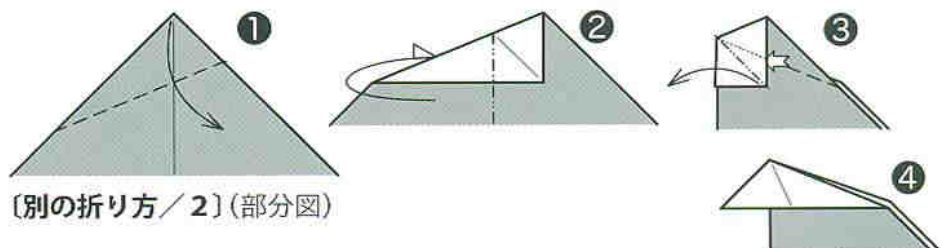
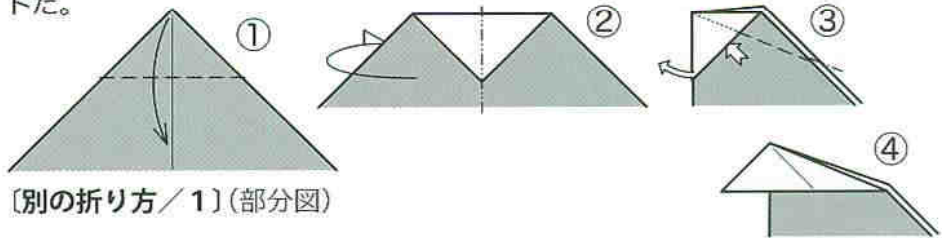


一気に折るのが難しいのは中わり折りと同じ。次の形の見当をつける意味でも、右のようにいったん折りすじをつけておこう。

ここからが大変。中わり折りの時には容易に裏返った折り山が、理由はよくわからないのだが、かぶせ折りを相手にしたとたん、とても強固な態度に出てしまう。ここは紙をなだめすかしながら、「ちょっとの間だけですここは何とかひとつ」と折りたい部分の周辺区域にも協力を要請。大きく広げて、つけた折りすじでめくり上げよう。そしてそっと折りたたみ直そう。折り山があればほど嫌がっていたのがうそのように、きれいなかぶせ折りのできあがりだ。そうか、周りに迷惑をかけたくない一心だったんだな。

記号は、実際の感覚と比べると、わりと素直なものが使われていて、前後の紙をそれぞれ谷折り山折り。折り山を共有しているので1枚ずつめくるわけにはいかないが、工程の表現としてはわかりやすい。右図のように山折りの矢印の先を伸ばして、ていねいに描いてもいい。

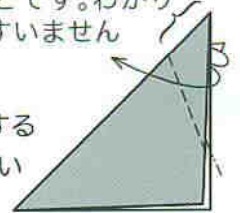
このように、ちょっと難しい技法なので、かぶせ折りを避けて、次の形に到達させる(かぶせ折りしたことにする)方法がいくつかある。折り山のご機嫌を損ねないように、半分に折る前の段階で、ある程度タネを仕込んでおくのがポイントだ。



でも、どの方法も、一気にかぶせ折りしたときと比べてみると、余分な折りすじがついてしまう。やっぱりかぶせ折りに慣れてしまおうじゃないか。(P21にたくさん出てきて驚くぞ!)

この「いったん広げて折りたたみ直す」工程は、後々に紹介する「つぶす」「押しこむ」そして技法集団の中で最も頑固な性格といわれる「沈め折り」にもきつと応用できるぞ。僕からも折り山にひとこと言っておくよ。

文中の「折り山」(稜線)はこのこと。わかりにくくてすみません



◆この連載の感想をお待ちしています◆

まん中
折り込みの
「折り方の記号」も
見てね!



かぐや姫、竹の容れもの

Kaguyahime and Bamboo receptacle by Ms.Aiko YAMANASHI



やまなし あきこ
山梨 明子

かぐや姫の頭のうしろを小さく折ると、顔の白い部分が細くなり、大人っぽくなります。反対に大き目に折ると、顔の部分が広くなり、幼い子に見えます（本体の⑫と頭の②で調整します）。ご自分のイメージに合わせて折ってみてください。（作者）

使用枚数:かぐや姫…4枚/正方形と長方形と三角形、竹の容れもの…1枚/正方形

2011年6月20日 投稿

かぐや姫

Kaguyahime

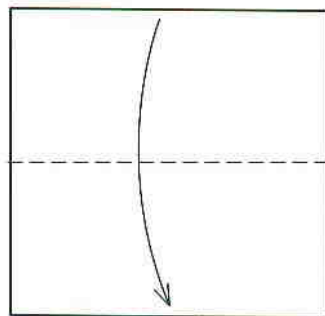
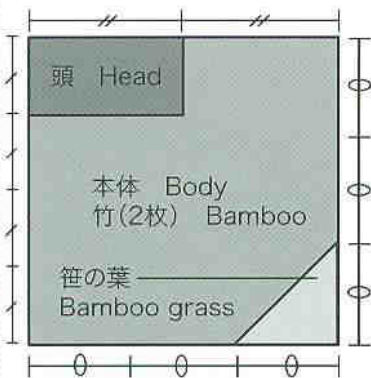
この作品について

15cm角の紙で折ると、かぐや姫の身長5cm、竹の高さ10cmほどになります。

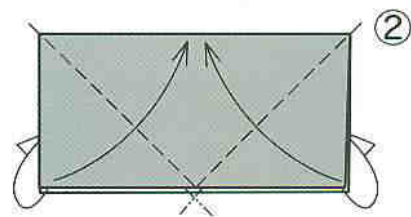
本体

Body

●紙の大きさのわりあい●



①



②



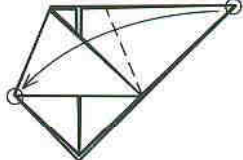
③



④

上の1枚に
折りすじをつけます

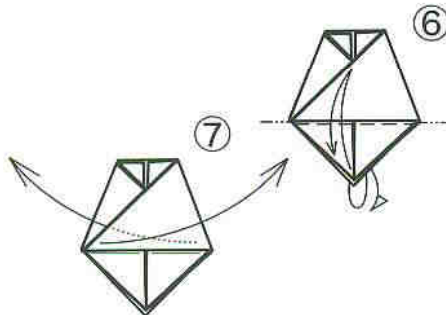
⑤



○と○をあわせて
折ります

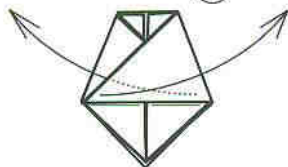
⑥

○と○をあわせて
折ります



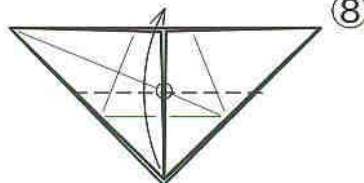
⑦

開きます

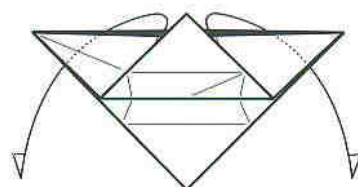


⑧

○をとおり線で折ります

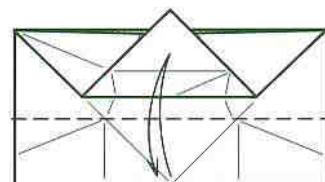


⑨



うしろの部分を開きます

⑩



⑪

折ってさしこみます

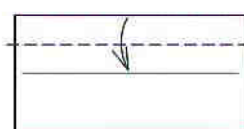
頭

Head



①

1:2の大きさの紙を使います



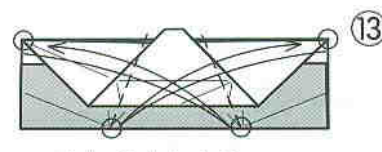
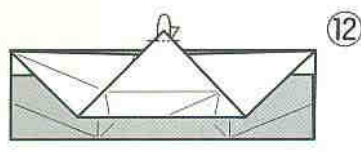
②

できあがり

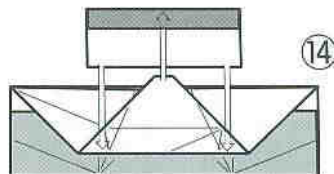


次ページへ
つづく

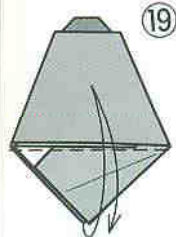
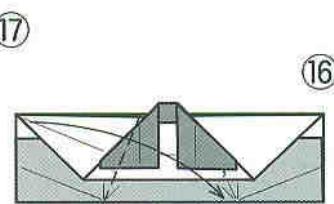
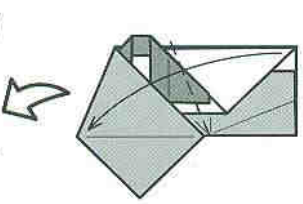
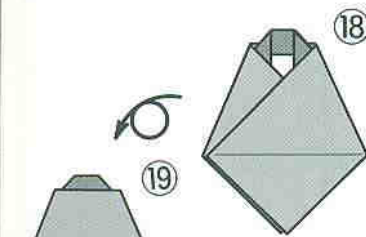
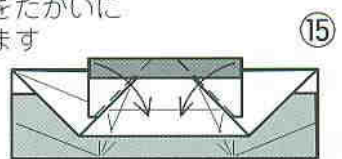
前ページから
つづく



○と○をあわせて
折りすじをつけます



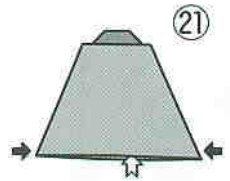
頭と本体をたがいに
さしこみます



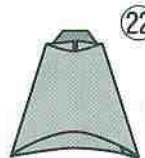
ぜんぶいっしょに
折りすじをつけます



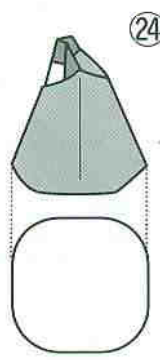
折って
上のすきまに
さしこみます



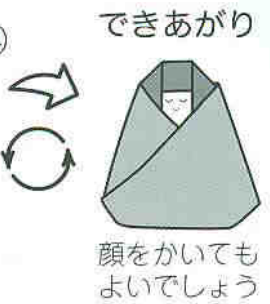
上のすきまに
指をいれて
まるく立体に
形をととのえます



折ってとめます
うらがわも同じ

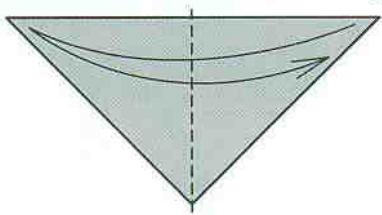


(下はそこから
見たところ)

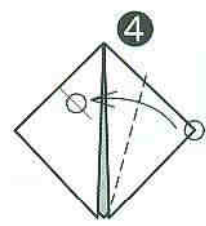
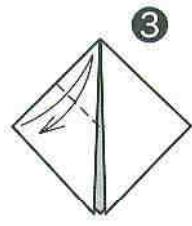
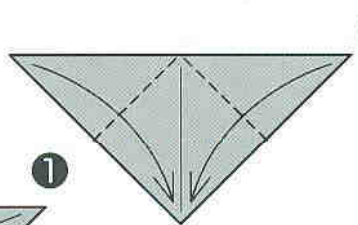


できあがり
顔をかいても
よいでしょう

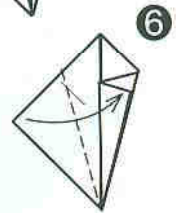
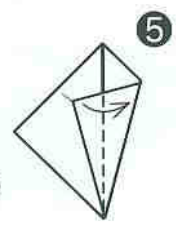
笹の葉 Bamboo grass



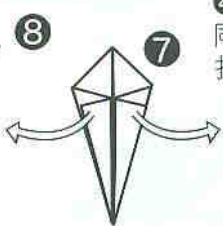
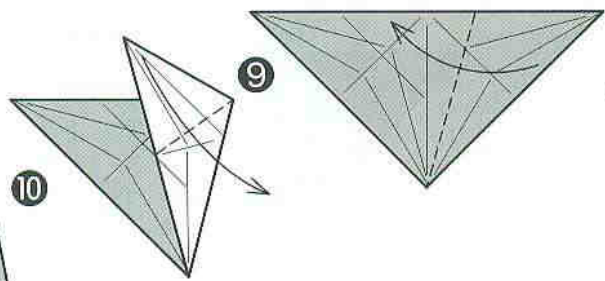
正方形の半分の
三角形の紙を使います



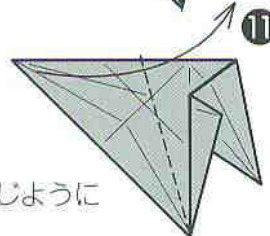
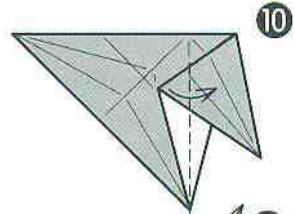
○と○をあわせて
折ります



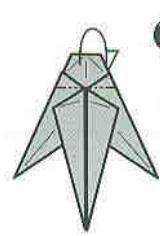
4・5と
同じように
折ります



ぜんぶ
開きます

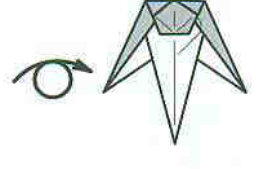


8~10と同じように
折ります



できあがり

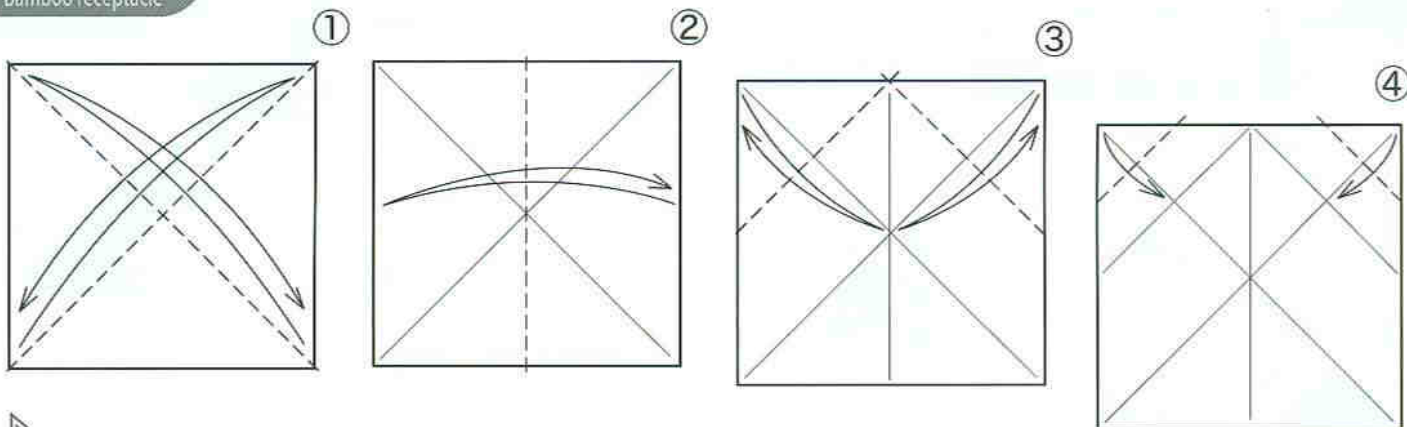
(うらがわ)



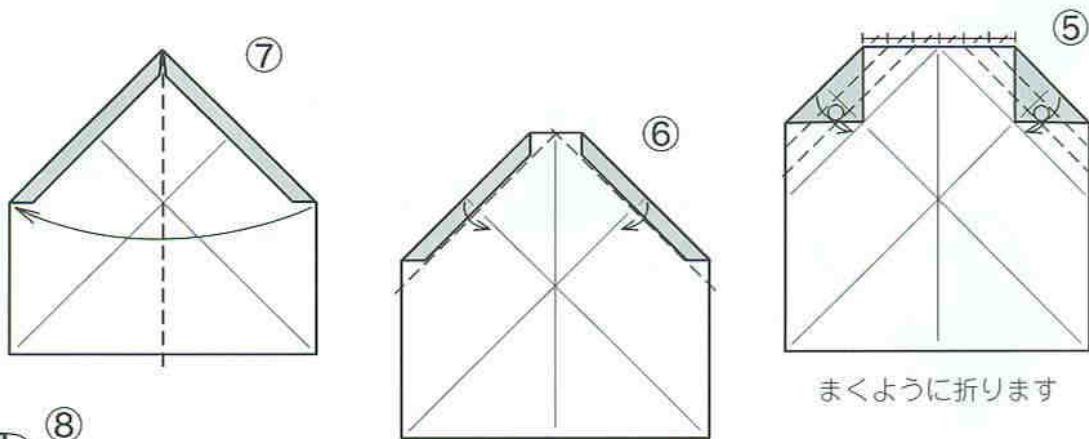
次ページへ
つづく

竹の容れもの★

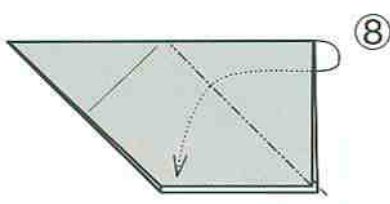
Bamboo receptacle



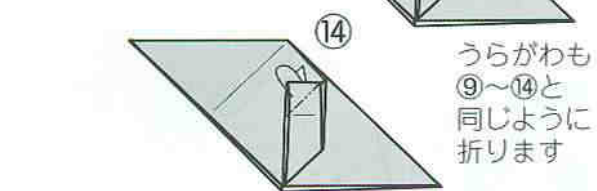
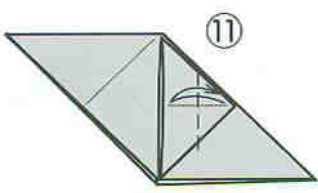
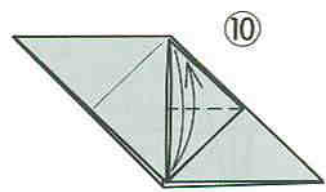
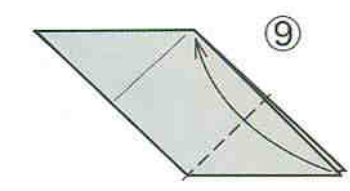
前ページから
つづく



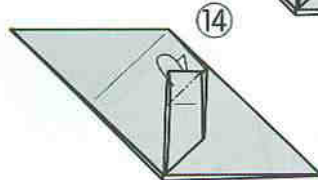
まくように折ります



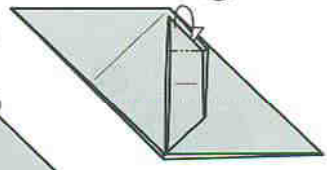
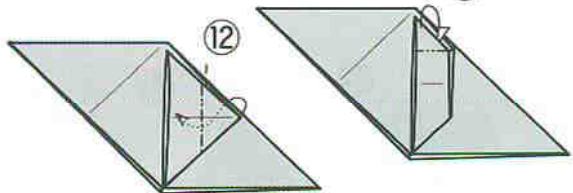
中わり折り



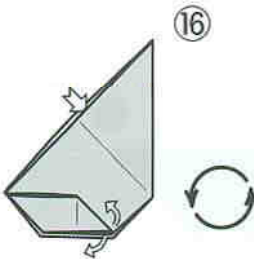
中わり折り



下のすきまに
さしこみます



うらがわも
⑨～⑭と
同じように
折ります



中を開いて立体に
形をととのえます



できあがり

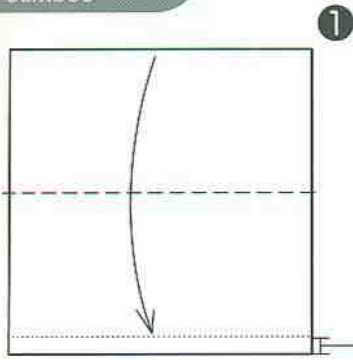
次ページへ
つづく

この作品について

「竹の容れもの」の基本構造は「伝承の風船の半分」といえます(⑫～⑭のさしこみ方など細部は異なります)。同じように伝承の風船の半分を使って入れ物を作る折り方は、堀籠悠河さんの「たけのこ」(2003年4月投稿作品)や青柳祥子さん作の「よちよちペンギン」「サンタさんの袋」(『364号』掲載)などがあります。

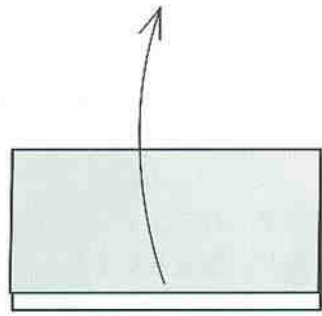
竹

Bamboo



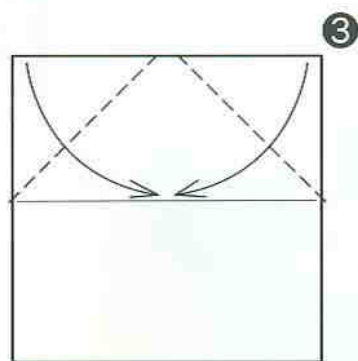
①

少しあける

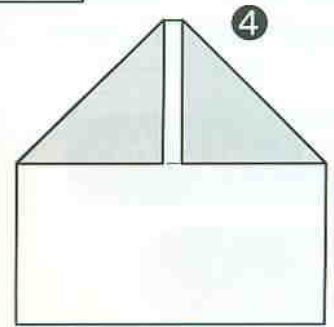


②

開きます



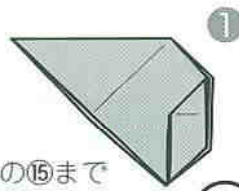
③



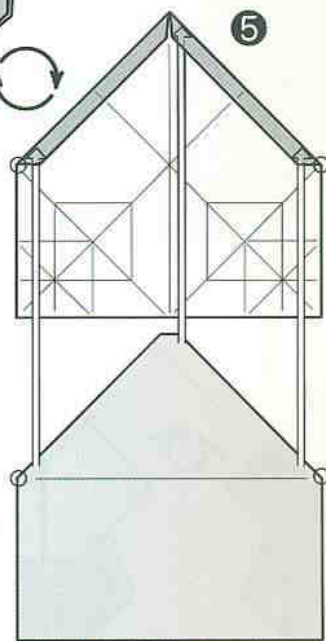
④



竹の容れものの⑤まで折ってから始めます
開いて⑦の形にします

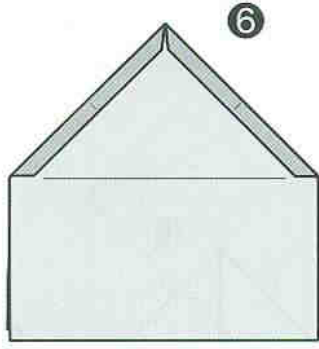


①

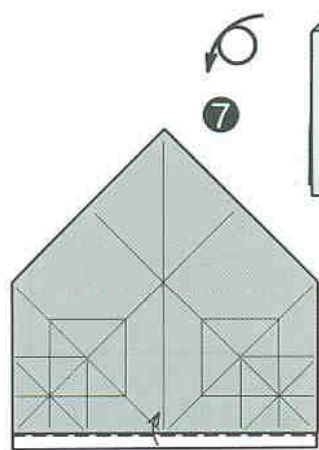


⑤

○と○をあわせて
さしこみます



⑥

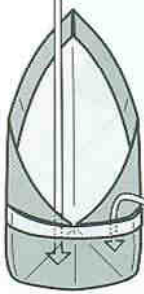


⑦

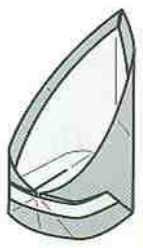
●くみあわせかた●



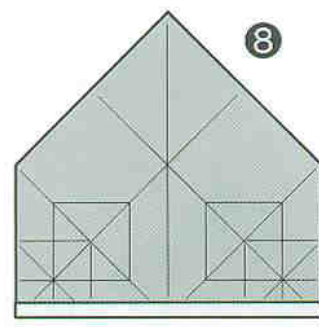
①



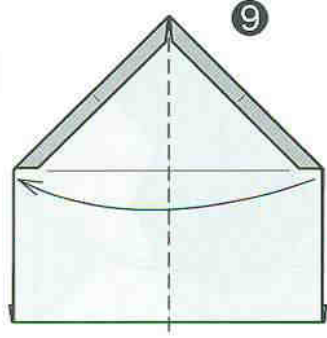
できあがり



竹にかくや姫と
笹の葉のうらの部分を
さしこみます

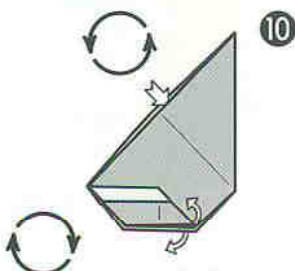


⑧



⑨

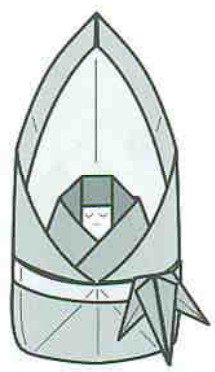
⑦~⑩と同じように折ります



⑩

開いて立体に
形をととのえます

できあがり



おとぎばなしのおじいさんとおばあさん

Old man and his wife in the old tale by Mr.Kunihiko KASAHARA

かさらはら くにひこ
笠原 邦彦

おとぎ話の世界で、バラエティーに富む主役のくふうが楽しいのは言うまでもありませんが、脇役もくふうし甲斐のあるテーマです。このおじいさんとおばあさん、大事な脇役で、桃太郎にかくや姫に笠地藏に、と大活躍。

(作者)

※この作品は『おりがみいっぱいの本』(笠原邦彦 著、1977年久保書店 発行/絶版)の収録作品です。(編)

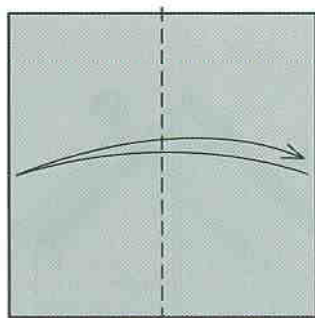
使用枚数:各2枚(同じ大きさ)/正方形

おじいさん

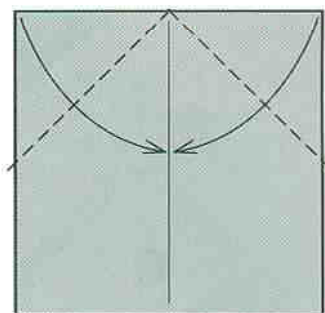
Old man

体

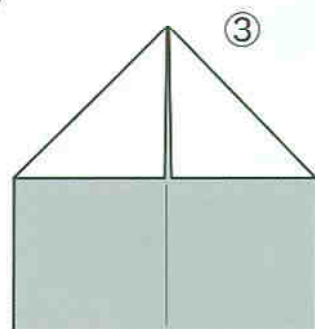
Body



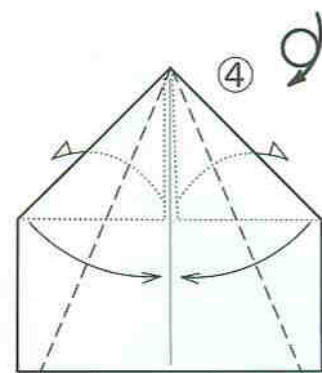
①



②

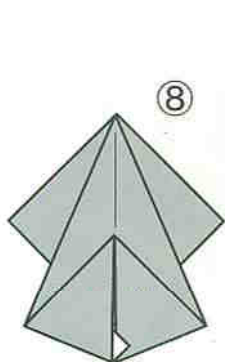


③

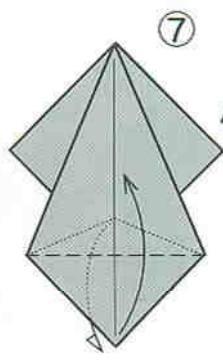


④

うしろの三角を出しながら折ります

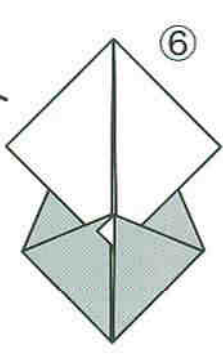


⑤

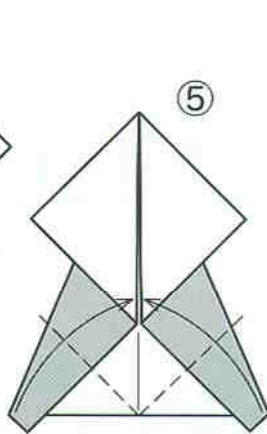


⑥

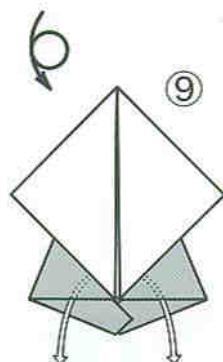
うしろの三角を出しながら折ります



⑦

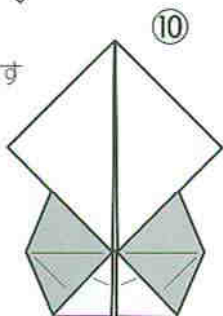


⑧

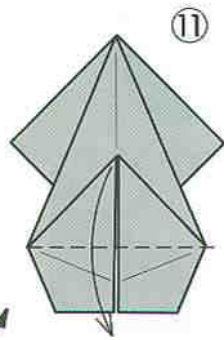


⑨

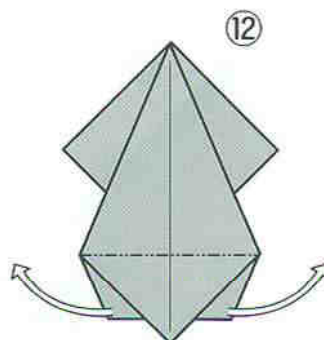
中の三角を引き出します



⑩

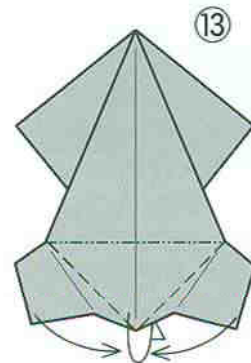


⑪



⑫

開きます

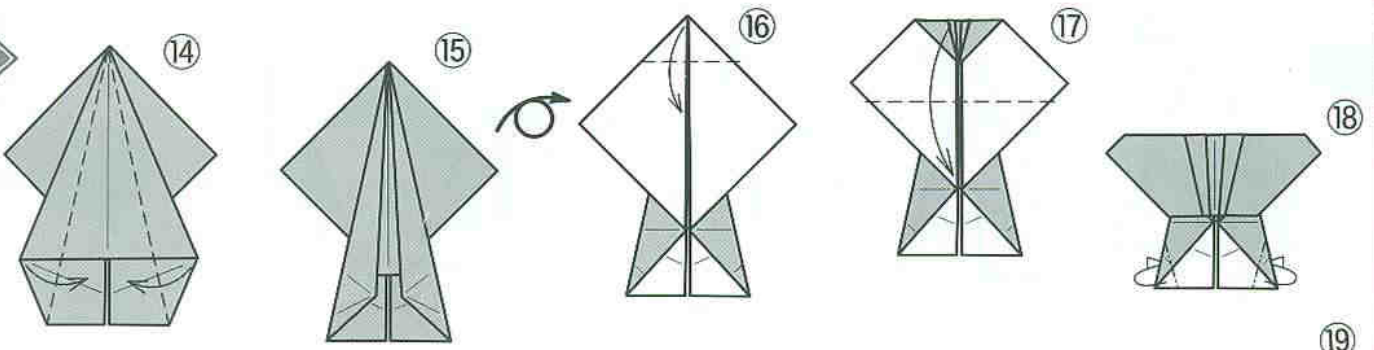


⑬

中に折りこみます

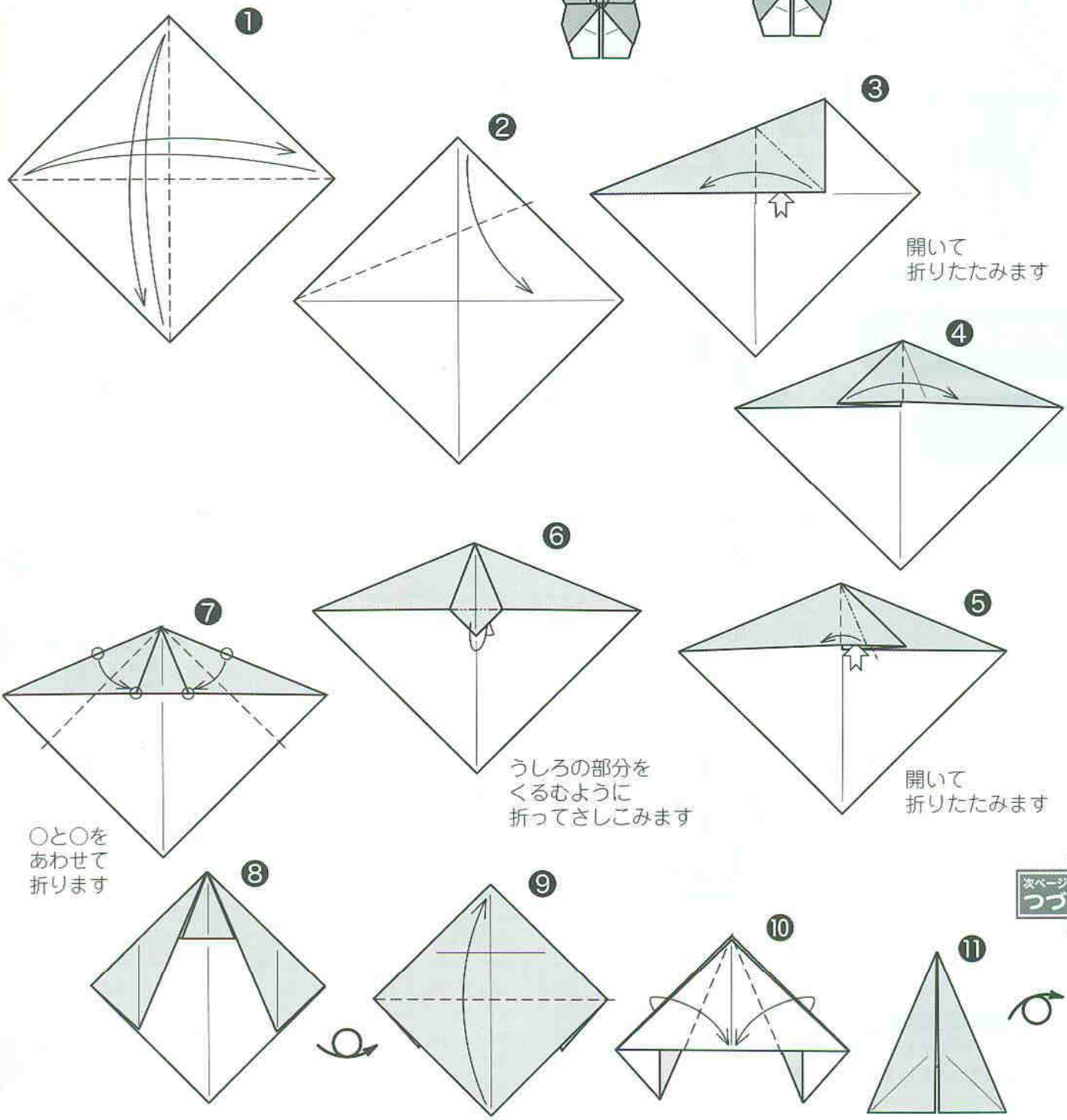
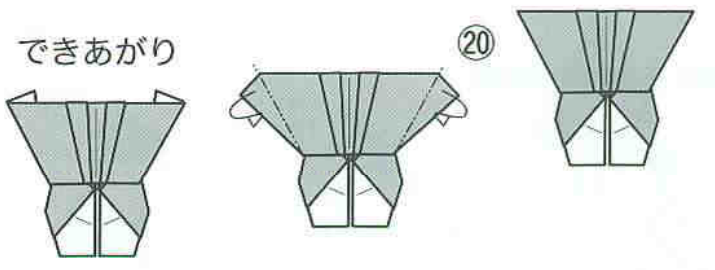


前ページから
つづく



頭
Head

できあがり



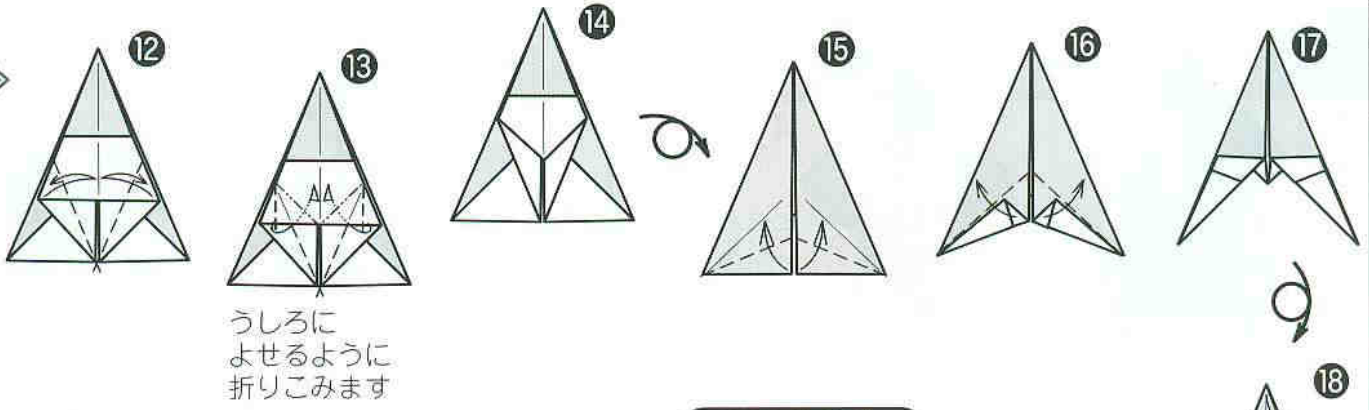
開いて
折りたたみます

うしろの部分を
くるむように
折ってさしこみます

開いて
折りたたみます

○と○を
あわせて
折ります

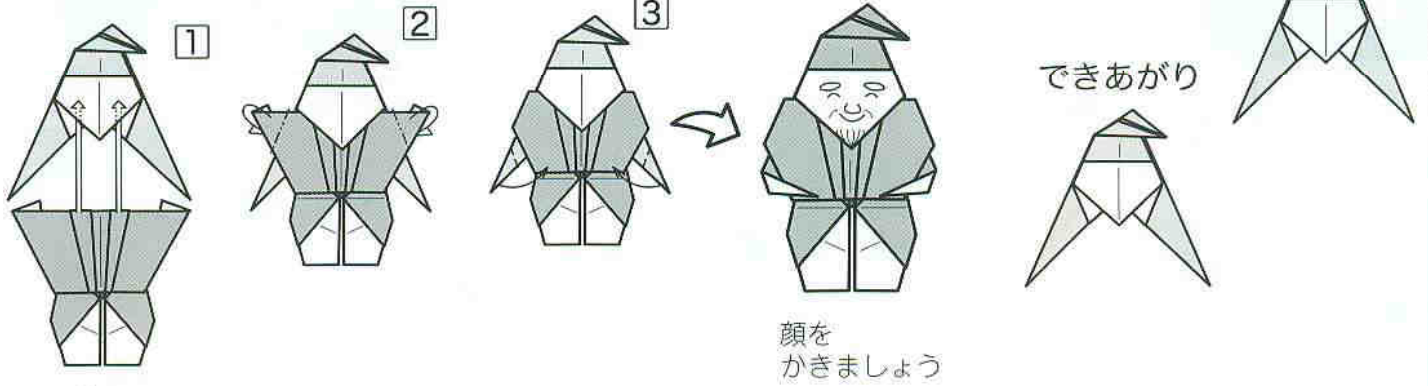
次ページへ
つづく



うしろに
よせるように
折りこみます

●くみあわせかた●

できあがり



できあがり

顔を
かきましょう

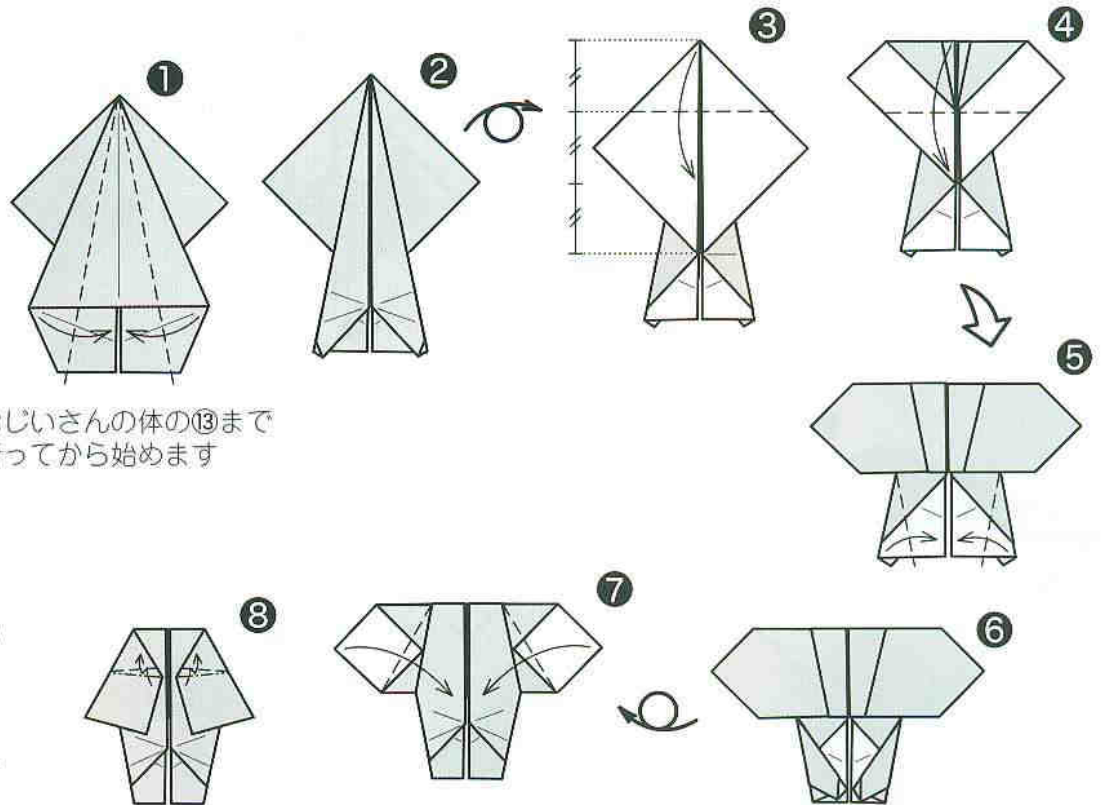
頭に体を
さしこみます

おばあさん

Old woman

体

Body



おじいさんの体の⑬まで
折ってから始めます

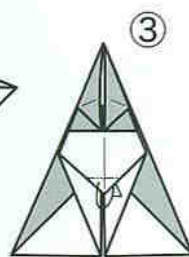
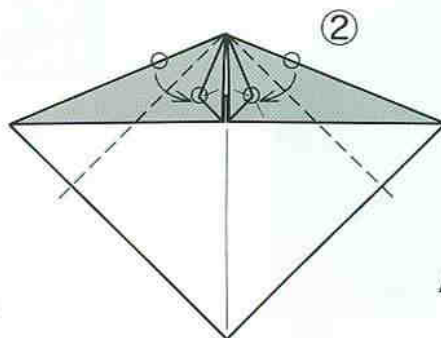
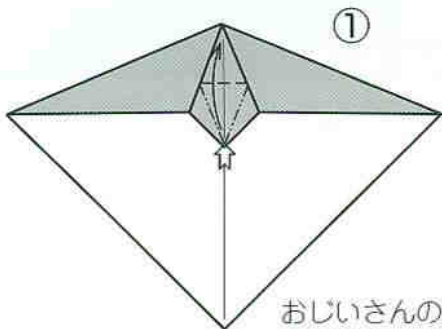
できあがり

ずらしながら
段折り

この作品について

15cm角の大きさの紙で折ると、おじいさんの身長11cm、おばあさんの身長9cmになります。

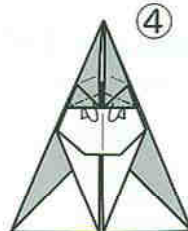
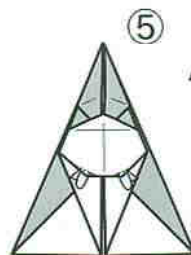
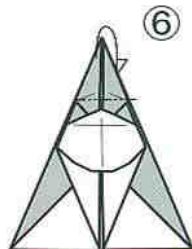
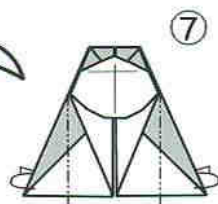
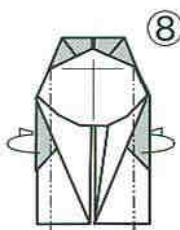
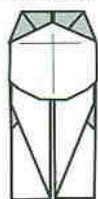
頭
Head



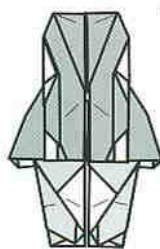
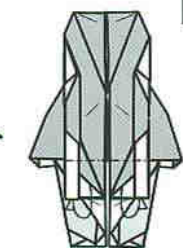
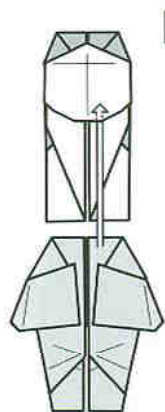
おじいさんの頭の
⑤まで折ってから
始めます
開いて折りたたみます

おじいさんの頭の
⑦～⑯と同じように
折ります

できあがり



●くみあわせかた●



できあがり



頭に体を
さしこみます

うしろに折って
さしこみます

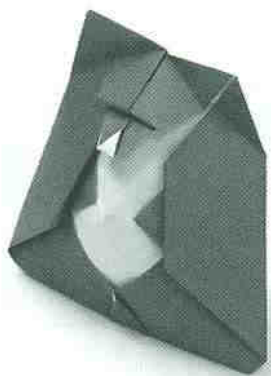
顔を
かきましよう

ミニ知識

◇竹取物語…9世紀後半から10世紀の初めの平安時代前期に成立した、かなで書かれた物語の始祖とされています。伝承の説話を軸に上流貴族社会への風刺がユーモアたっぷりに書かれているこの物語の作者はわかりません。あらすじは次のとおりです。*「竹取の翁」が竹の中から見つけて育てた3寸(約10cm)ほどの女の子が、3か月ほどで輝くほどの美しい女性となりました。「なよ竹のかぐや姫」と名付けられたその女性に、求婚する者も多く、とくに5人の熱心な貴公子たちがいました。かぐや姫が出す結婚の条件としての難題を解決することができず、最後には帝の求婚も断ったかぐや姫は、十五夜の晩、迎えに来た天人たちとともに月の国に帰って行きます。姫に去られて傷心の帝は、姫が残した不死の薬もいらないと天にもっとも近い駿河国の山で燃やすように命じます。その山は、たくさんの土が登り、薬を燃やしたので「たくさんの土」と「不死」に掛けて、「富士」と名付けられました。*「かぐや」は(太陽や月のように光り輝くさま)から出た名前と考えられています。生長が早く生命力さかんな竹の薬効や、竹製品としてさまざまな道具になるという有用性のため、竹が人々に神聖視され大切に扱われたことから生まれた物語です。

◇おわら風の盆…9月1～3日。富山県八尾町で行われている風祭り。風祭りとは、台風が起こりやすい二百十日(立春から数えて210日目。9月1日、2日ごろ)前に行われる、風を鎮めるための祭りです。風を吹かせて稲に害をもたらず悪霊を、踊りの輪に巻き込んで送り出そうとするものです。地方と呼ばれる三味線、太鼓、胡弓、尺八などの囃子に合わせて「越中おわら節」を唄いながら、はっぴ姿の男性がきびきびと踊り、浴衣に黒い帯を着けた女性がゆるやかにしっとりとして踊ります。「越中おわら節」は、九州西海岸一帯を中心とする港町で酒宴に歌われた騒ぎ唄の「ハイヤ節」が、船乗りたちによって日本海を北上して伝えられ、八尾の娘たちが糸繰り唄にしたものといわれています。「雨戸押し上げ 空うち眺め あの星あたりが おわらぬしのそば」「恋のやまいで 瘦せたも瘦せた 二重まわが おわら 三重まわる」などとおわら節は恋の唄ばかりです。囃子に使われる胡弓(弓を用いて演奏する三味線のような弦楽器)も、同じ海の道をたどってきたものと考えられています。

●参考図書:『世界大百科事典』(平凡社)、『日本大百科事典』(小学館)、『植物ごよみ』(朝日新聞社)、『年中行事事典』(三倉堂)、『和ごよみ四季の暮らし』(日本文芸社)、『日本昔話と古代医術』(東京書籍)、『竹取物語、伊勢物語』(集英社)、『祭りごよみ』(交通新聞社)、『祭りの歳時記』(新人物往來社)、『民俗小神典神事と芸能』(吉川弘文館)



たぬき

Raccoon dog by Mr.Isao KODAMA

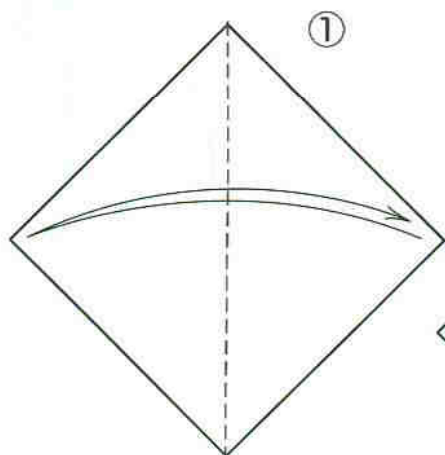


こだま いさお
児玉 功

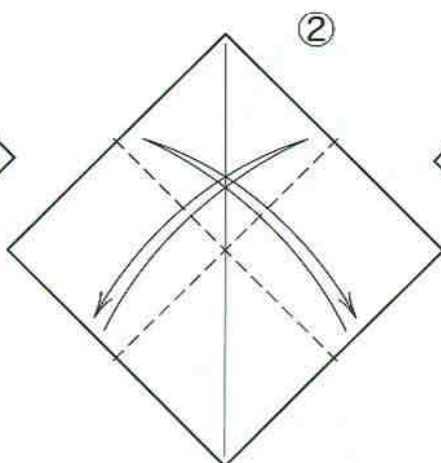
この作品は⑩まで折って裏返すと葉っぱができるのですが、それをさらにひと工夫してできた作品です。たぬきは人に化けますが、落ち葉として舞ってきた瞬間、元に戻るとは!! おなかをポンポコたたいているようで、あいきょうがあり、面白い作品になりました。(作者)

使用枚数: 1枚 / 正方形

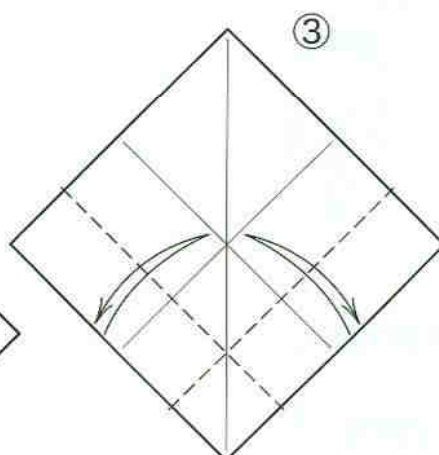
2011年6月23日 投稿



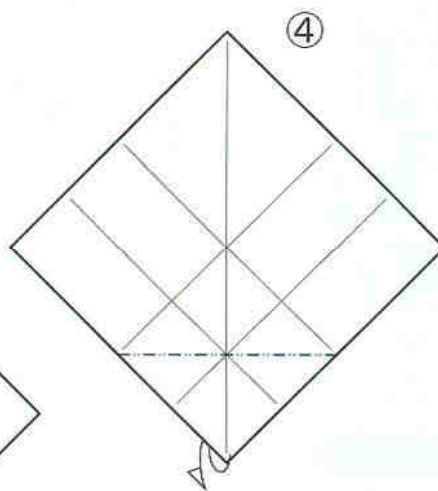
①



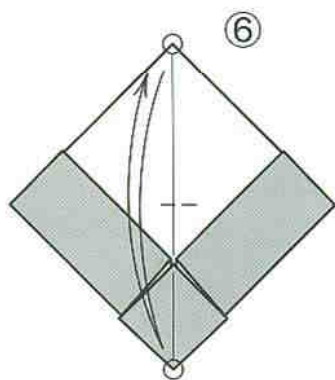
②



③

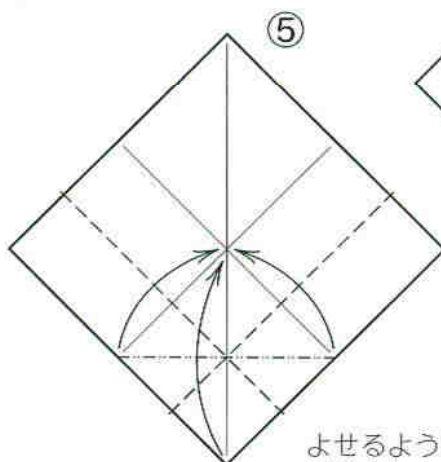


④



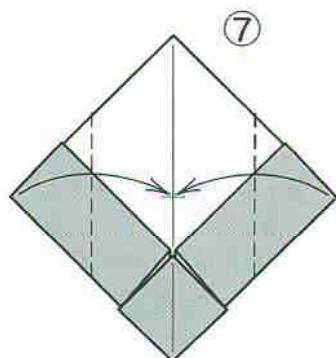
⑤

○と○をあわせて
折ってしるしをつけます

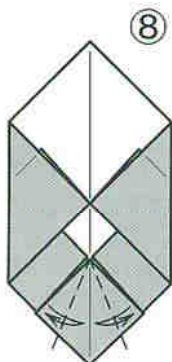


⑥

よせるように
折りたたみます

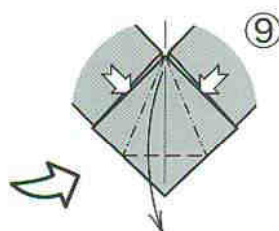


⑦



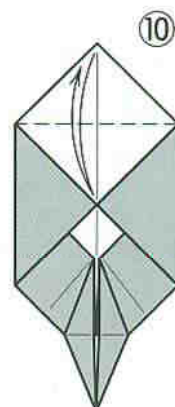
⑧

(部分図)



⑨

開いて
折りたたみます



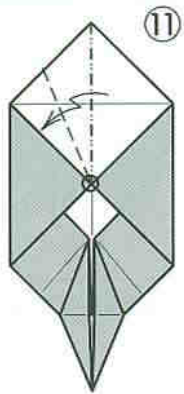
⑩



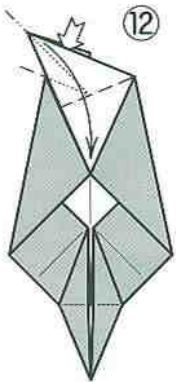
裏ページから
つづく

この作品について

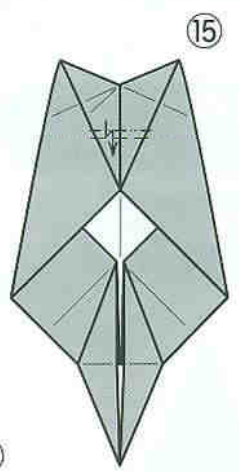
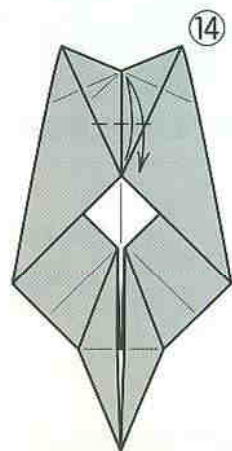
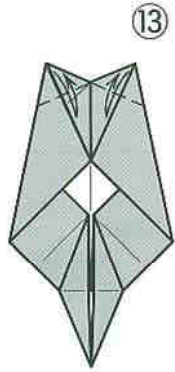
15cm角の大きさの紙で折ると、身長9cmになります。
⑩から立体になるので少し折りにくいですが、ゆかいたぬきを作ってください。右の写真は⑩からさらに折って作られた葉っぱです。



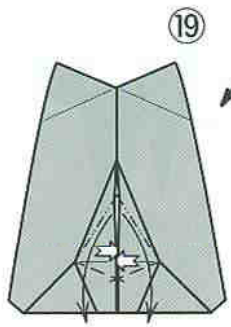
○を
出しながら
段折り



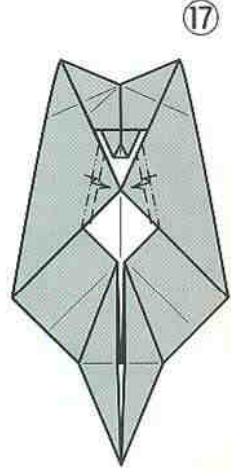
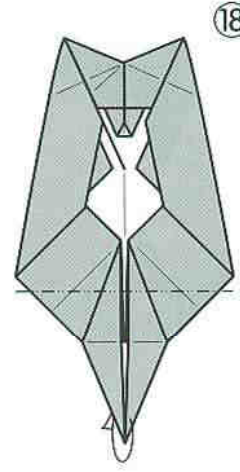
開いて
折りたたみます



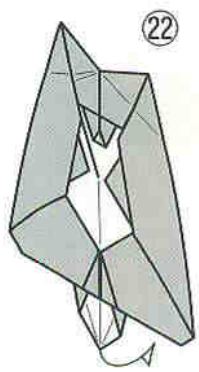
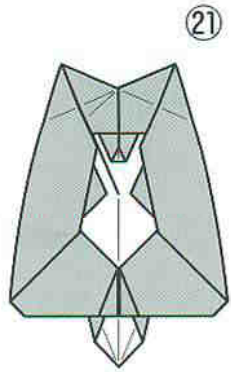
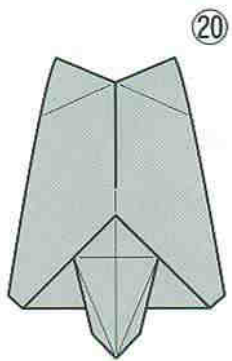
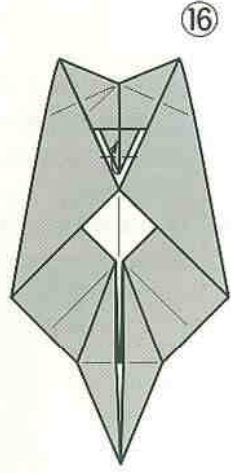
段折り



開いて
折りたたみます

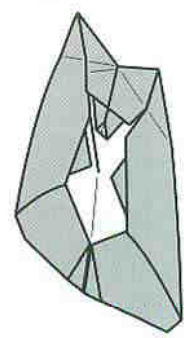


段折り



あけて形を
ととのえます

できあがり



▲しっぽを
見たところ

おわら風の盆

The dancer of Kaze no bon by Mr. Shizuo SAITŌ

さいとう しずお
齋藤 静夫

越中おわら風の盆は、哀愁をおびた音色にしなやかな女踊り手と農作業の所作を表現したキレのある男踊り手が暗闇に浮かびあがり、観る人の心をゆさぶるものがあります。その雰囲気を出したいと折りました。(作者)

使用枚数:男性…3枚、女性…4枚/正方形と長方形

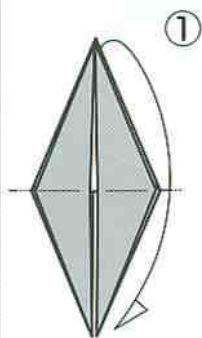
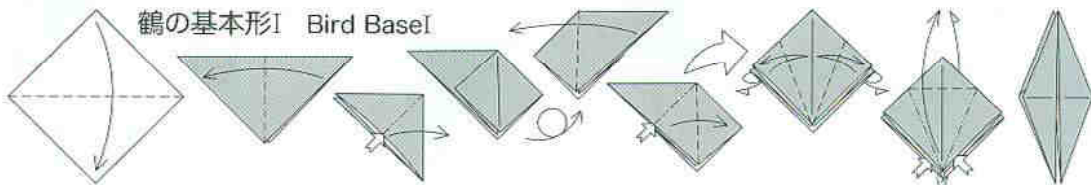
2012年3月7日 投稿

男性

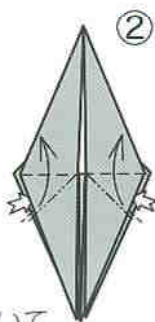
Male

本体

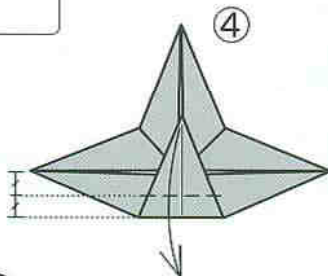
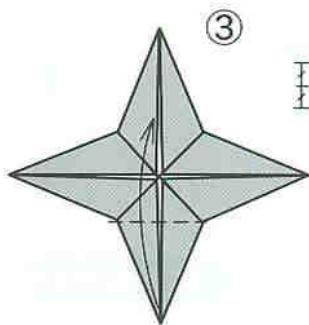
Body



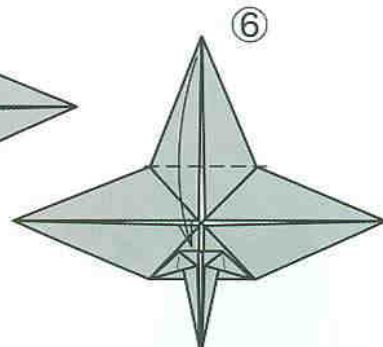
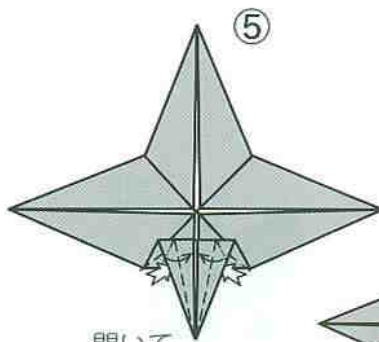
①
鶴の基本形Iより
うしろの1枚を
折ります



②
開いて
折りたたみます

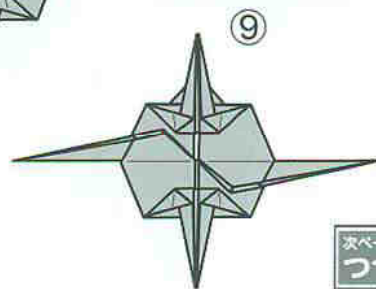
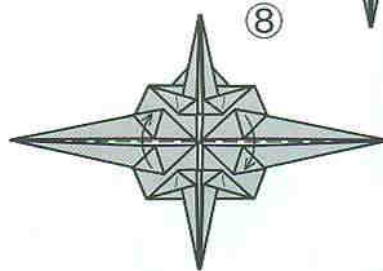
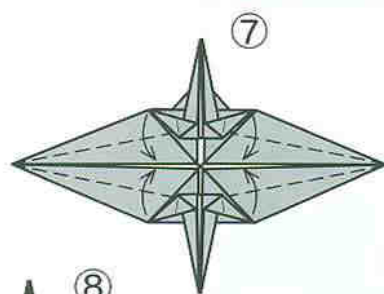


④
開いて
折りたたみます



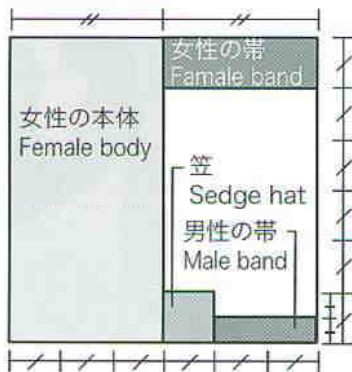
⑤
開いて
折りたたみます

⑥
③~⑤と同じように
折ります

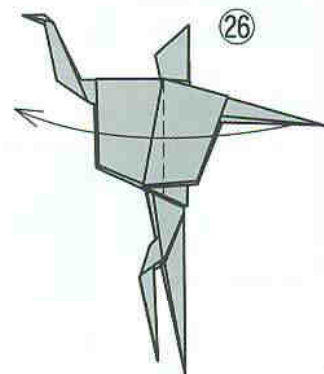
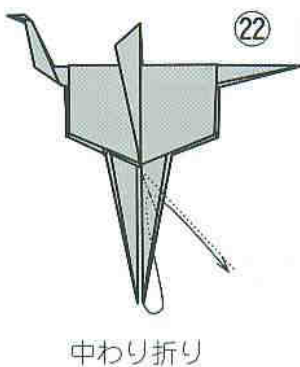
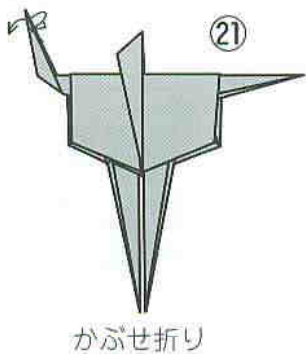
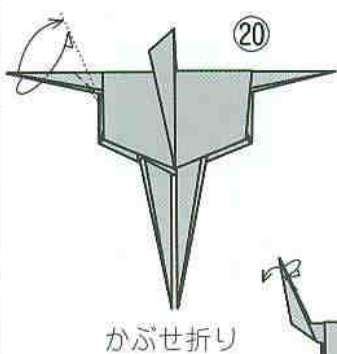
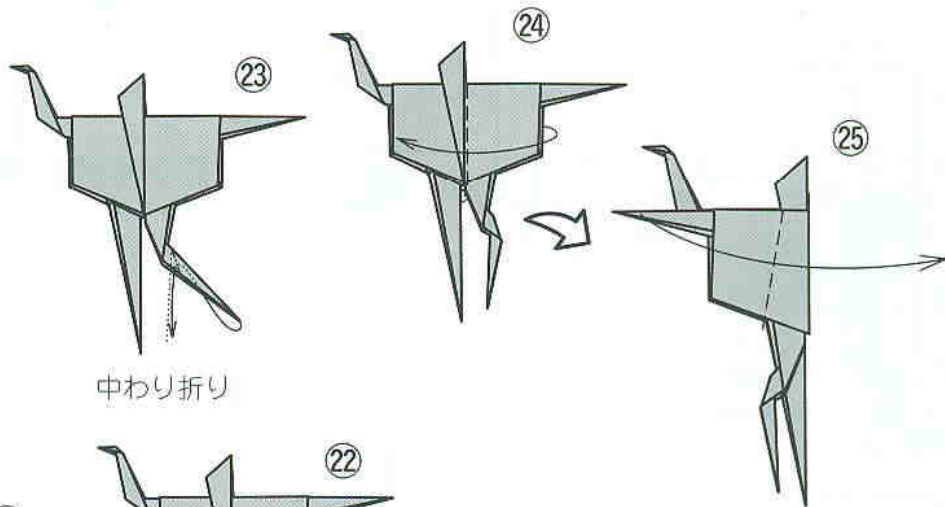
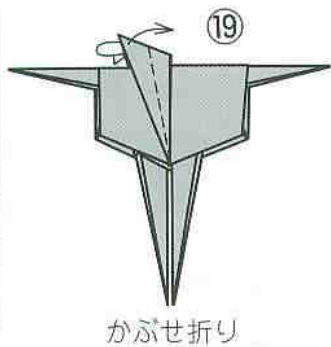
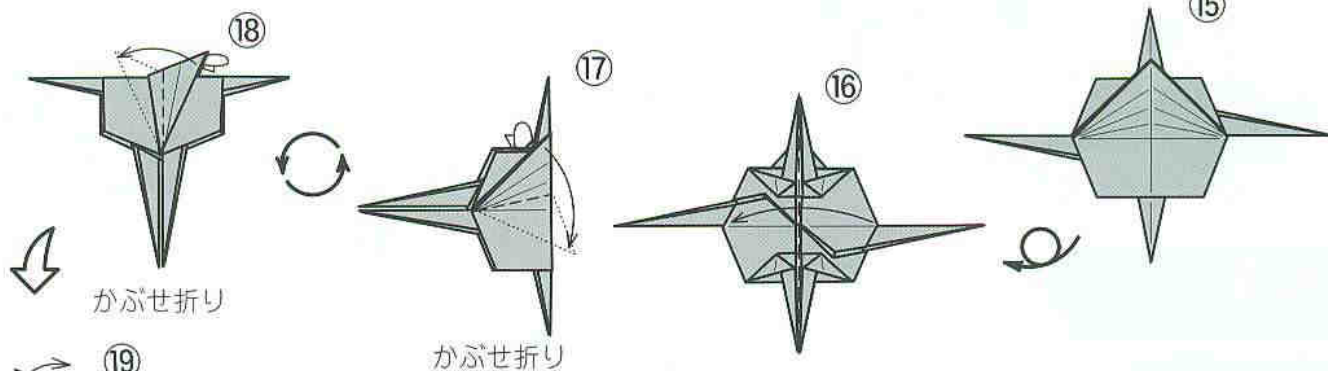
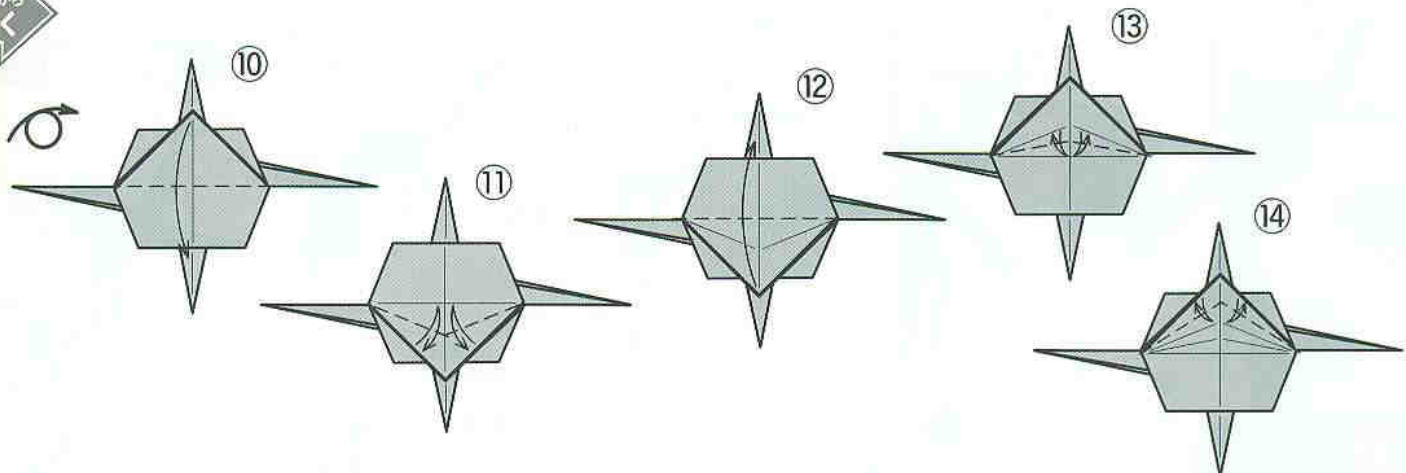


この作品について
この作品の男性は齋藤静夫さんの代表作のひとつ「竿燈まつり」の「人物」(ノアブックス『おりがみ傑作選3』に収録)のアレンジ作品です。この作品の男性の本体を15cm角を基本にして折ると、男性の身長9cm、女性の身長7cmになります。口絵の作品は16cm×27.5cmの台紙に、男性の本体18cm角で折られています。

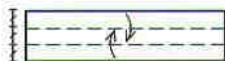
●紙の大きさのわりあい●



次ページへ
つづく



帯
Band

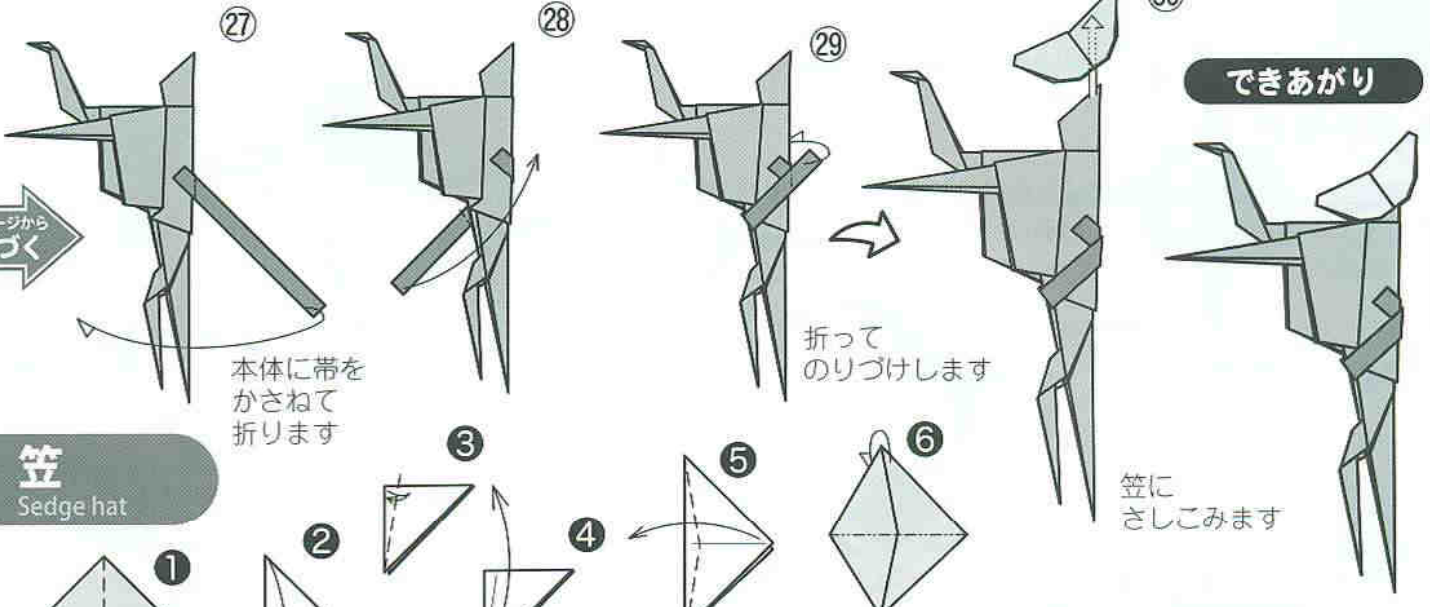


1

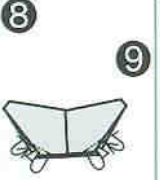
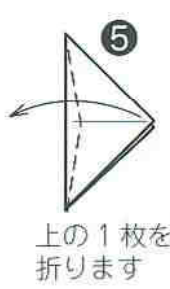
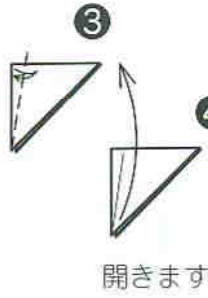
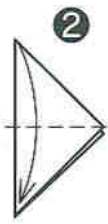
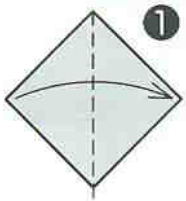
できあがり



前ページから
つづく

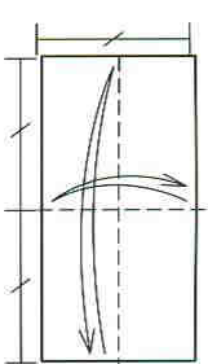


笠 Sedge hat

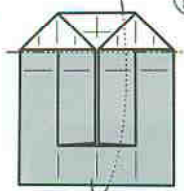
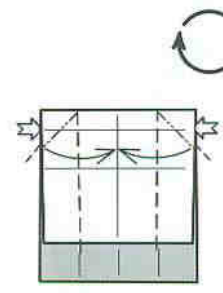
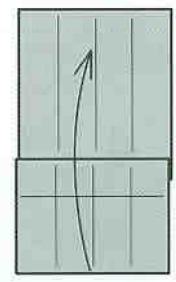
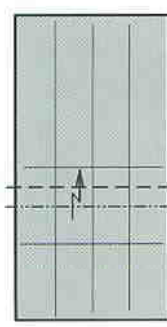
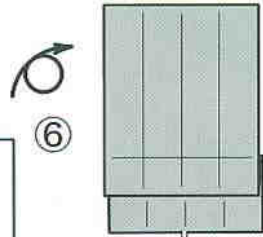
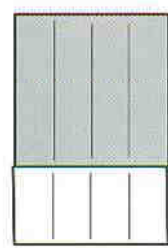
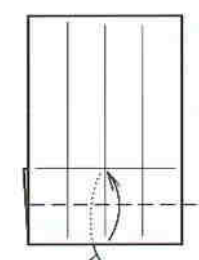
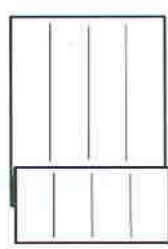
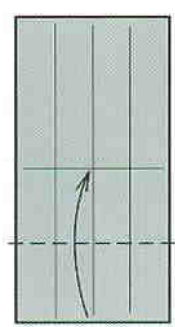
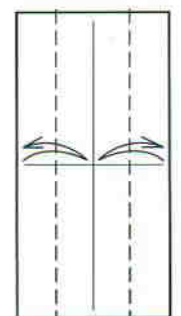


女性 Female

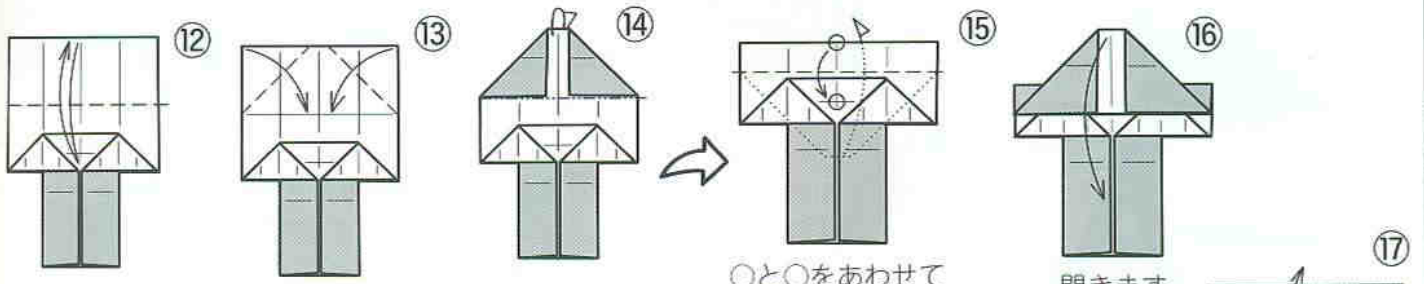
本体 Body



2:1の大きさの紙を使います



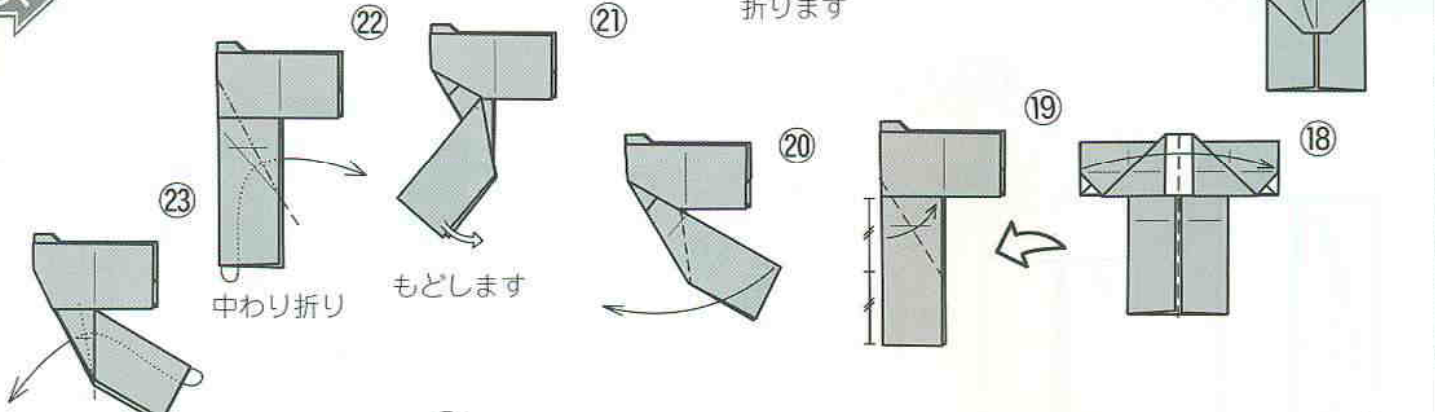
次ページへ
つづく



○と○をあわせて
うしろの部分
を出しながら
折ります

開きます

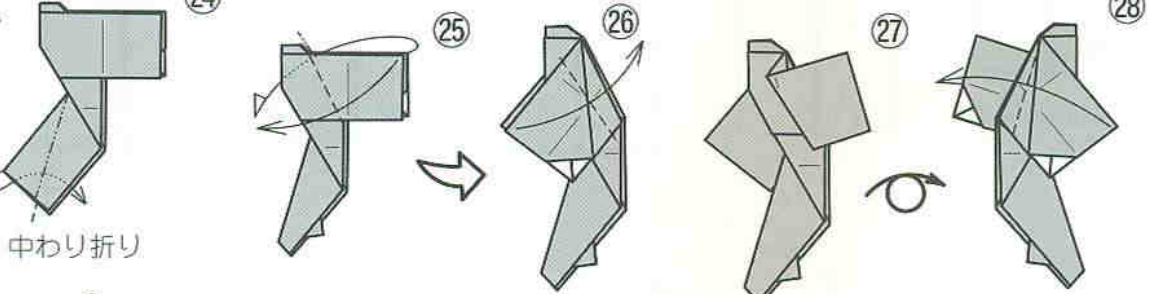
裏ページから
つづく



中わり折り

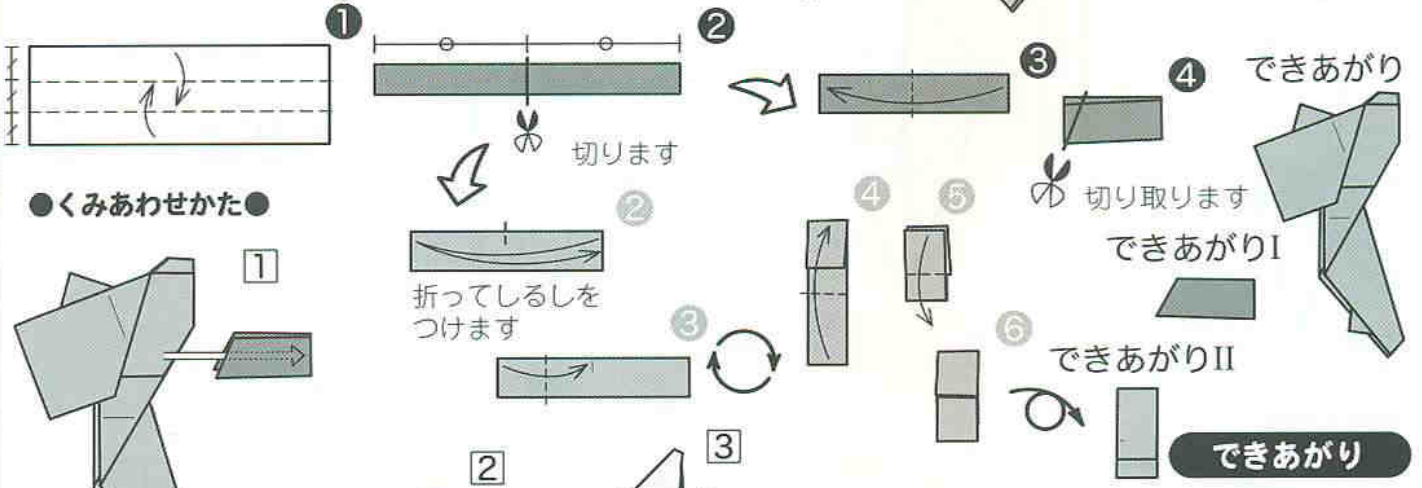
もどします

⑳でつけたすじで
中で中わり折り

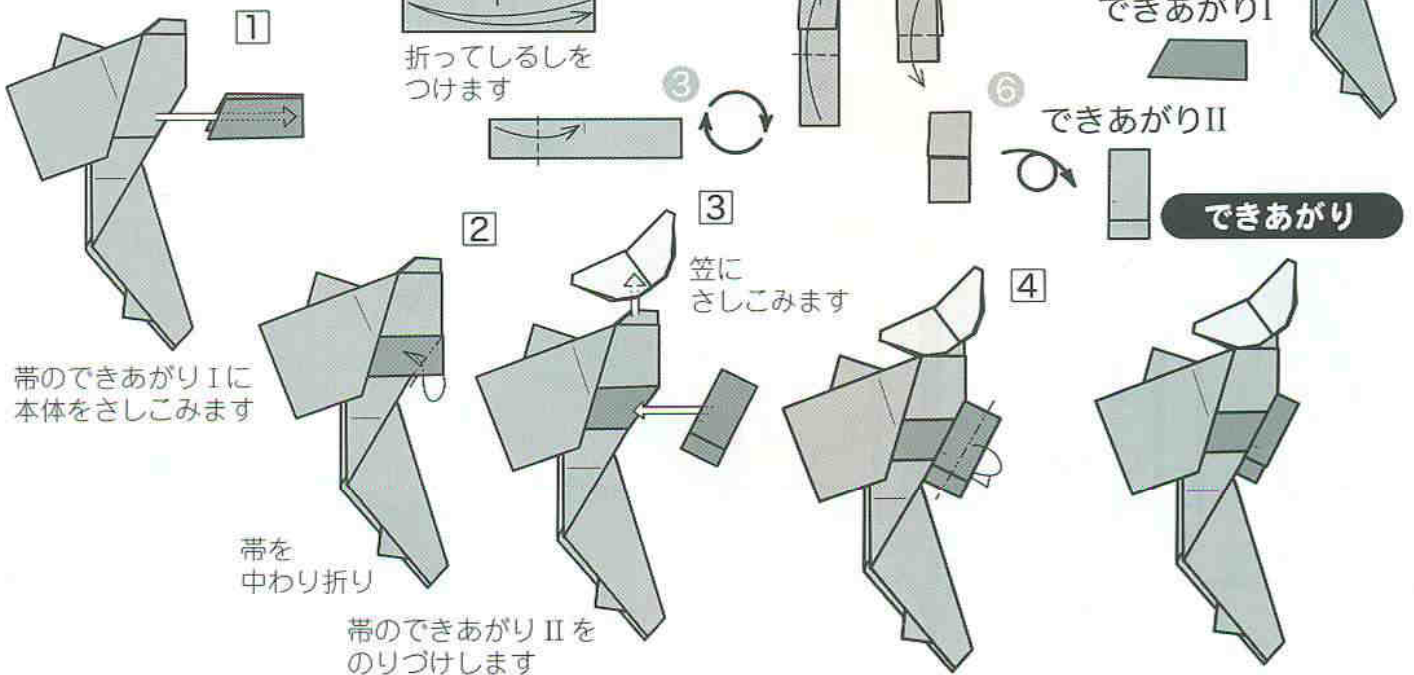


中わり折り

帯
Band



●くみあわせかた●



帯のできあがりⅠに
本体をさしこみます

帯を
中わり折り

帯のできあがりⅡを
のりつけします

できあがり

大口径のわりにコンパクトな屈折反射型の「マクスツフ・カセグレン式」望遠鏡です。(作者)

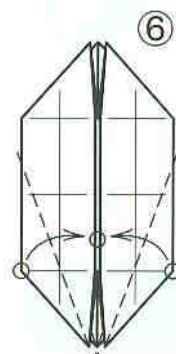
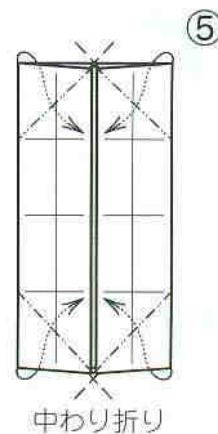
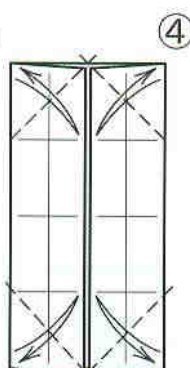
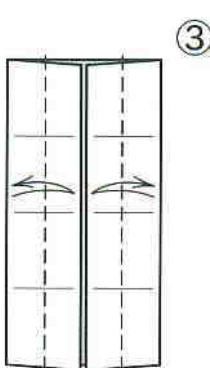
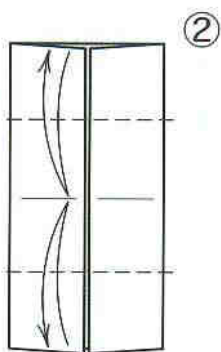
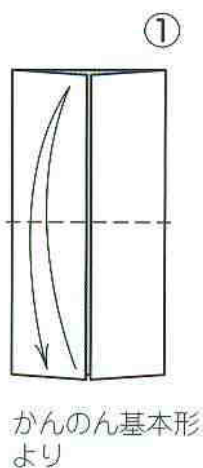
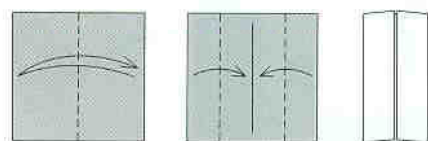
使用枚数:1枚/正方形

2003年2月14日 投稿

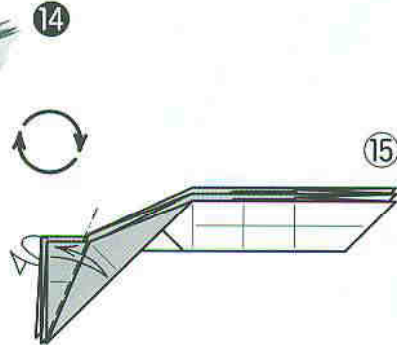
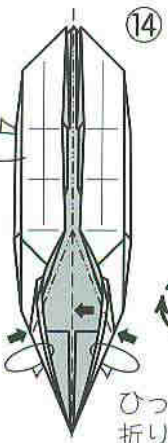
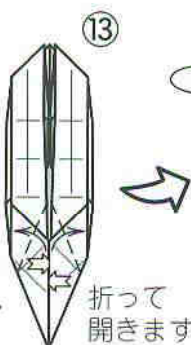
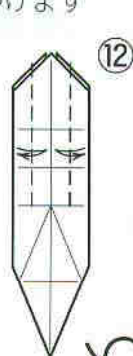
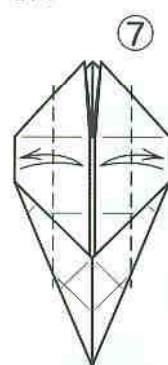
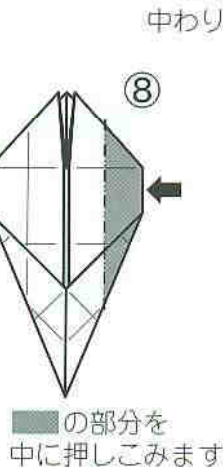
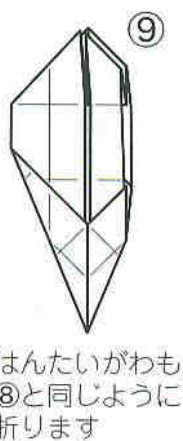
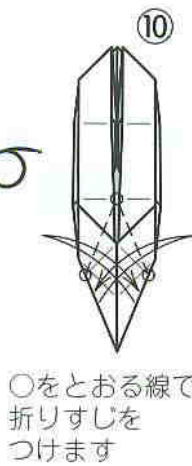
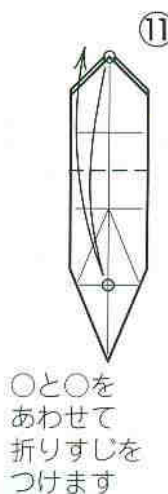
この作品について

この作品は、24cm角の紙で折ったとき、高さ12cmになります。

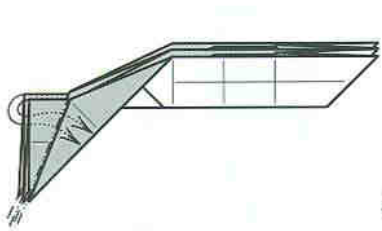
かんのん基本形 Door Base



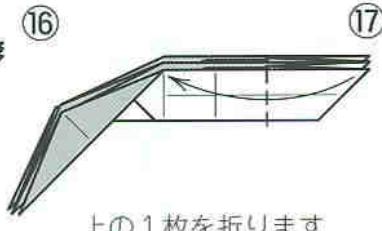
○と○をあわせて折ります



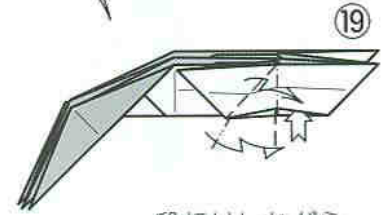
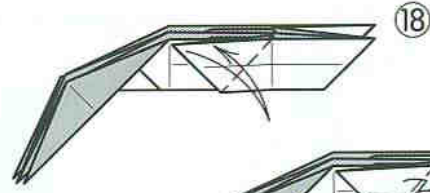
次ページへ
つづく



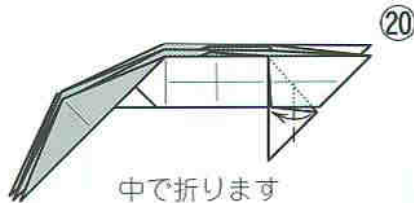
中わり折り



上の1枚を折ります



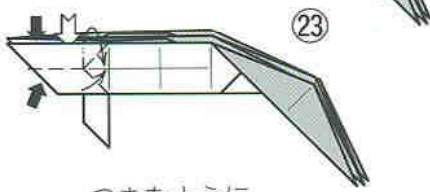
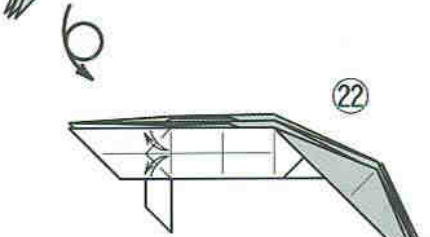
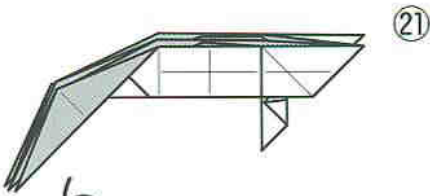
段折りしながら
中わり折り



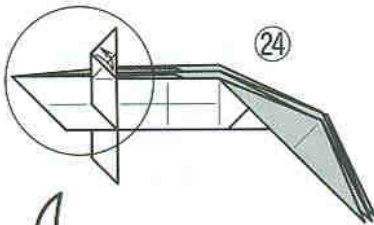
中で折ります



(参考写真)

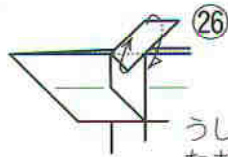


つまむように
折ります

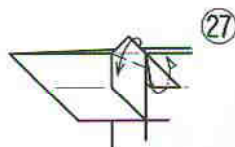


(部分図)

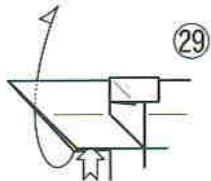
開いて
折りたたみます



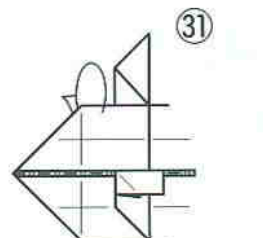
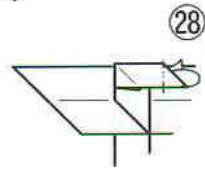
うしろに
たおしながら
おこします



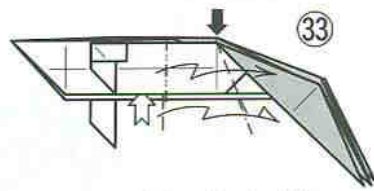
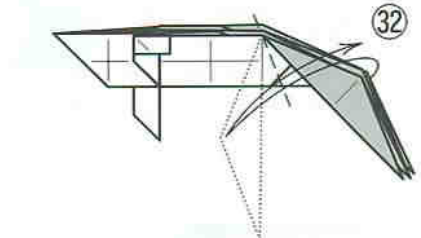
折りながら
うしろの部分
出します



うしろに
開きます

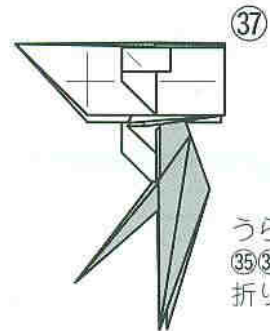
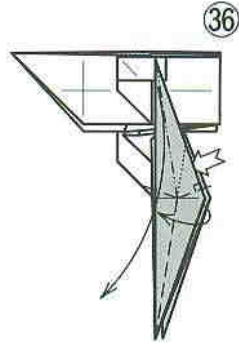
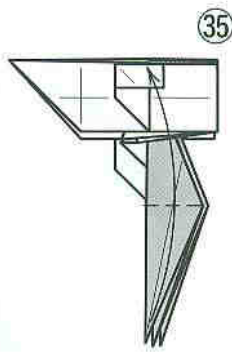
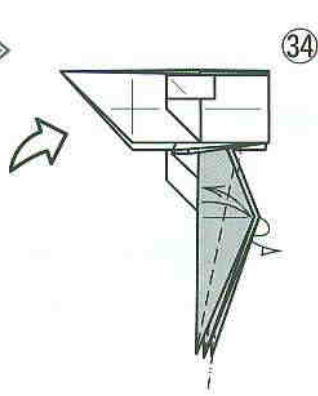


もどします



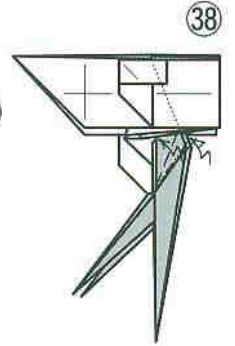
段折りしながら
かぶせ折り

前ページから
つづく

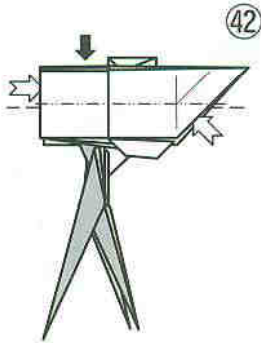


うらがわも
③⑤③⑥と同じように
折ります

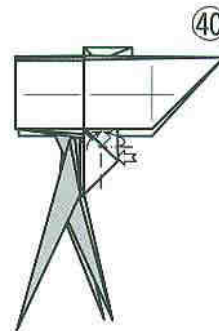
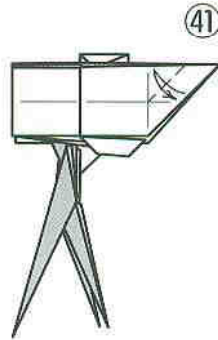
よせるように
折りたたみます



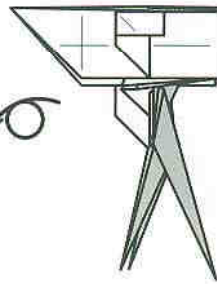
段折りしながら
かぶせ折り



折って
立体にします



よせるように
折りたたみます

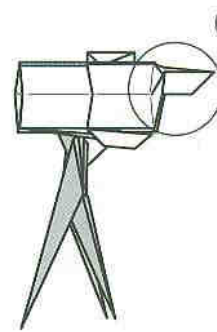
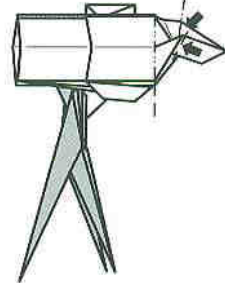


押しこみながら
折ります



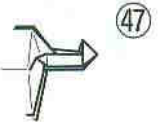
(参考写真)

④③

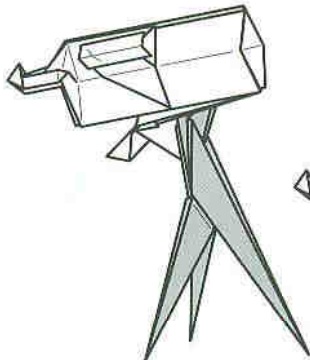


(部分図) ④⑥

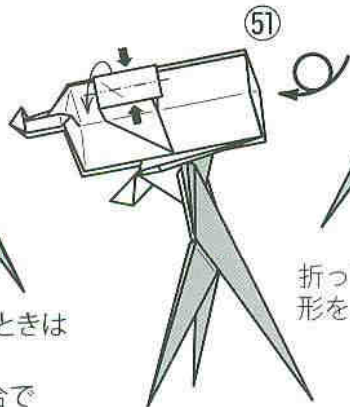
開いて
折りたたみます



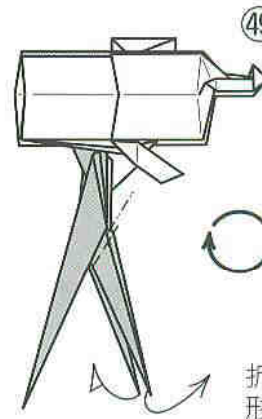
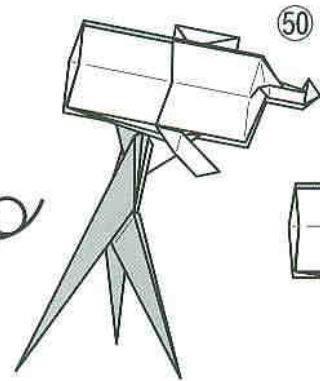
できあがり



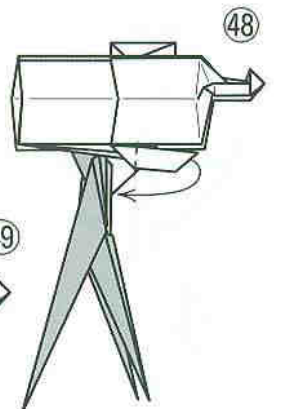
うしろにたおれるときは
③⑧の折りと
④⑨の脚の開き具合で
調整してください



折って
形をととのえます



折って
形をととのえます



鶴のおもてなし

Saucer with a crane by Ms. Chiemi ONOBAYASHI

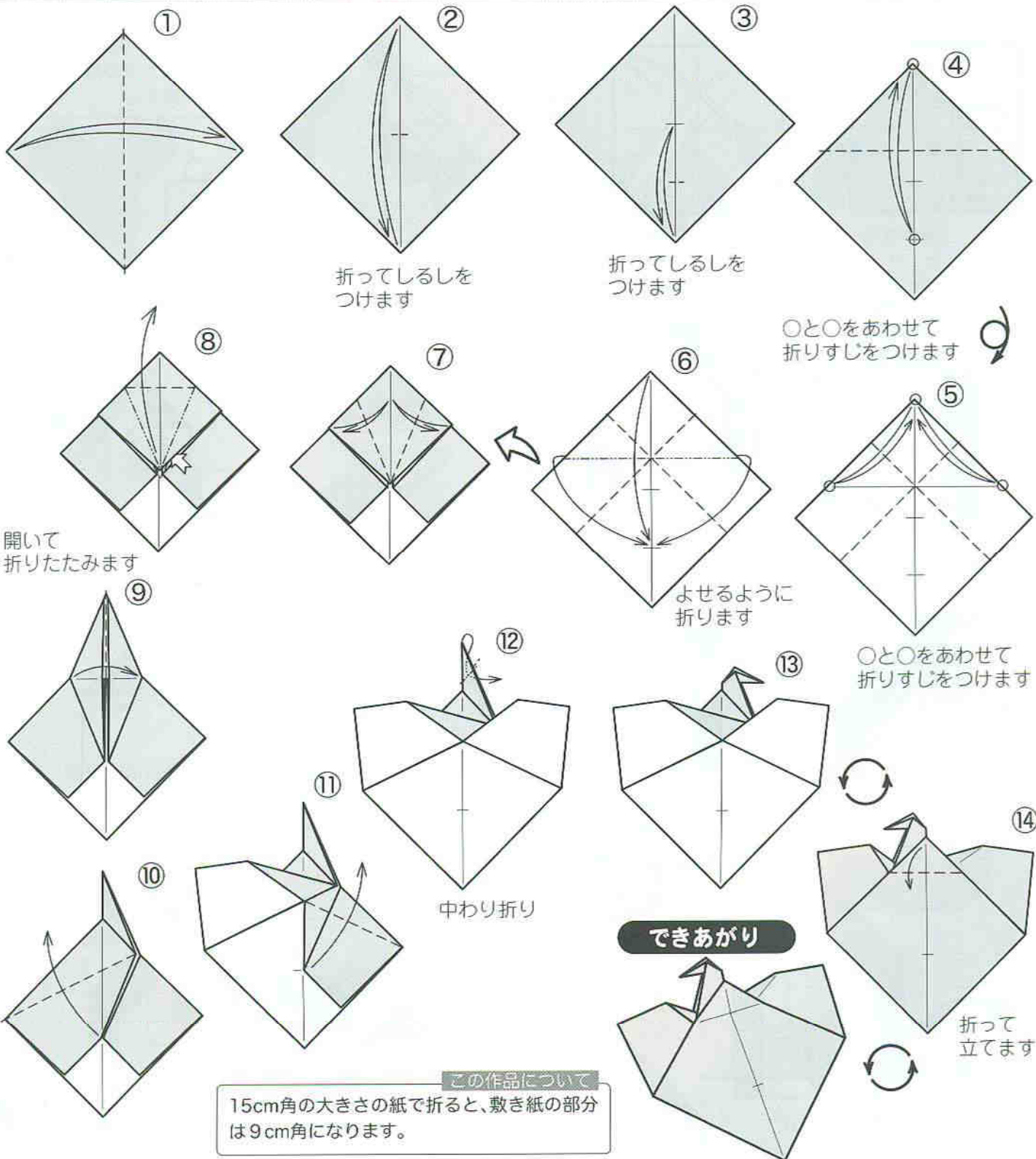


お ばやし ちえみ
小の林 知恵美

お菓子の敷き紙として、おもてなしやくつろぎのお茶タイムなどに、お役立てくだされば嬉しく思います。(作者)

使用枚数: 1枚 / 正方形

2012年2月7日 投稿



メモ入れ付きカップとグループケース

Memo holder with a box and Case by Ms. Ayako KAWATE

かわて あやこ
川手 章子



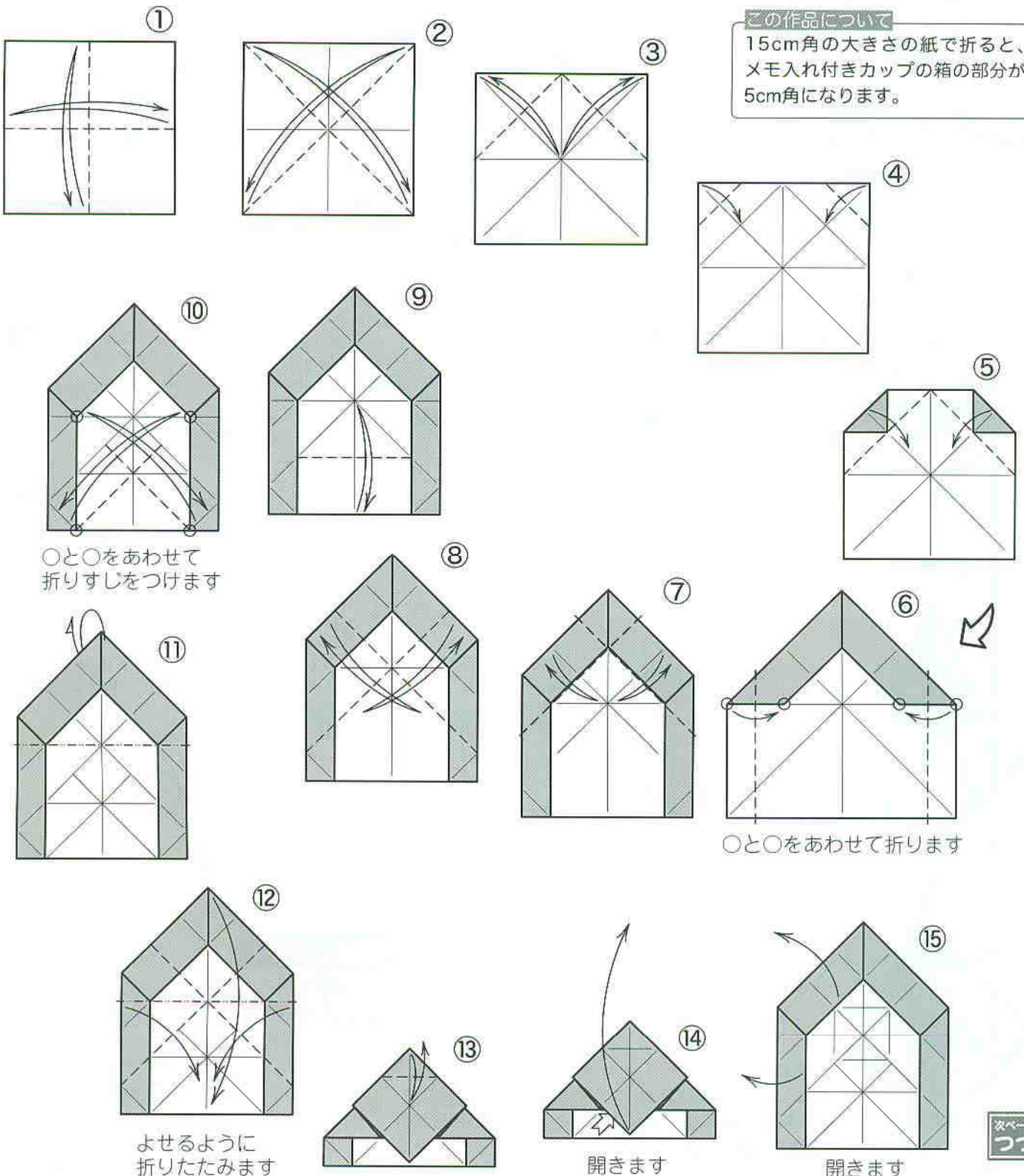
メモなどをちょっとさし込めるケースができあがり、4パーツを組み合わせてみました。1色、2色、4色などの組み合わせも楽しんでくださいね。⑭から⑳のところをよく見て折ってください。(作者)

使用枚数:メモ入れ付きカップ…1枚、グループケース…4枚(同じ大きさ)/正方形

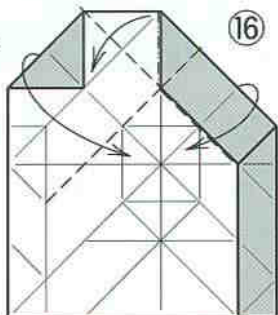
2011年11月13日 投稿

この作品について

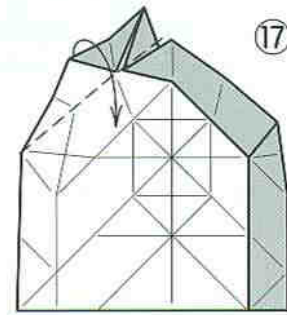
15cm角の大きさの紙で折ると、メモ入れ付きカップの箱の部分が5cm角になります。



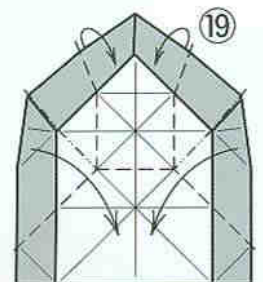
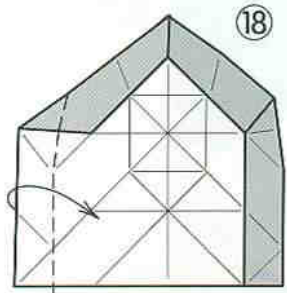
前ページからつづく



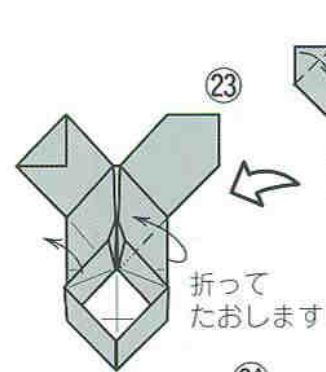
よせるように折って立体にします



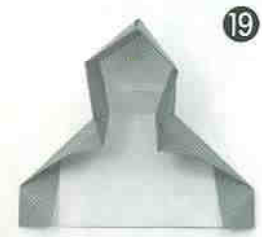
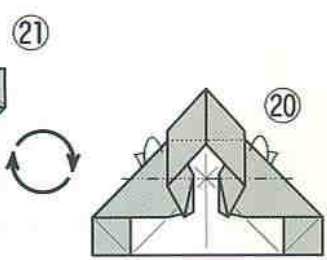
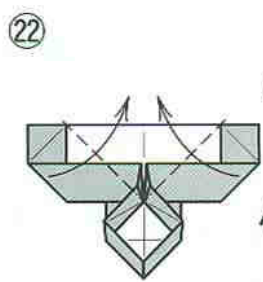
中に折りこみます



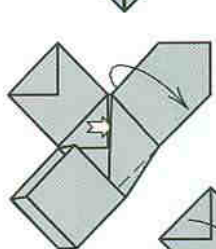
よせるように折って立体にします



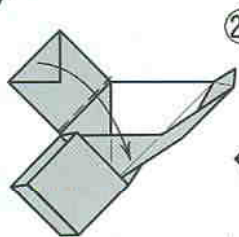
折ってたおします



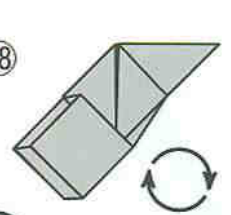
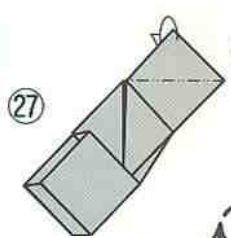
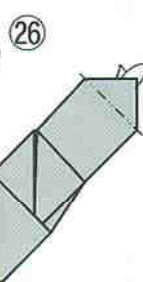
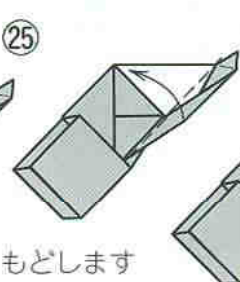
(参考写真)



開きます



もどします



グループケースの単体できあがり

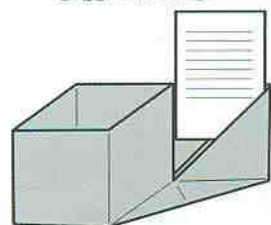
メモ入れ付きカップ
できあがり

折ってさしこみます

同じものを4こ作ります

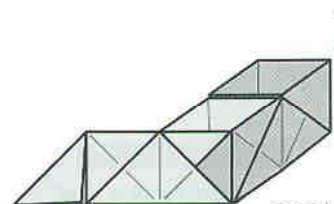
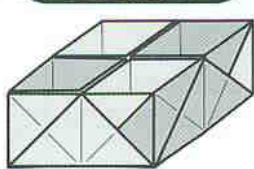
●くみあわせかた●

●使いかた●

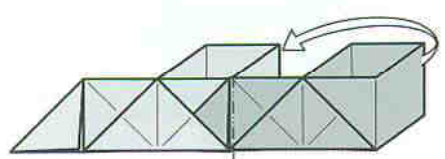


メモをさしこみます

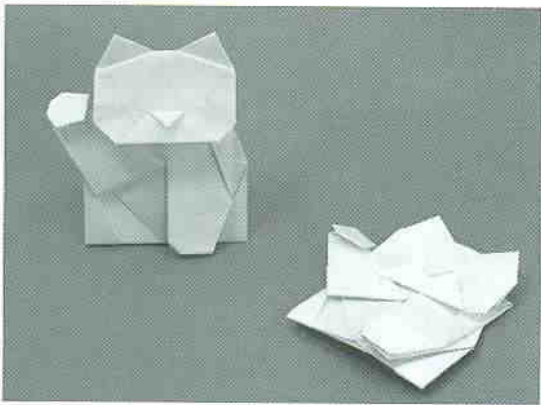
グループケース
できあがり



のこりの2こも
12と同じように
くみあわせます



折ってそわせます



まねきねこ

Beckoning figure of a cat by Mr.Ryō AOKI

あおき りょう
青木 良

うしろの部分さをしこんでしおりとして使える作品です。立たせることもできます。福よ来い！（作者）

使用枚数：1枚／正方形

2011年5月13日 投稿

鶴の基本形 I Bird Base I

①
鶴の基本形 I より開きます

②

③
中わり折り

④

⑤

⑥
開いて折りたたみます

⑦

⑧

⑨

⑩

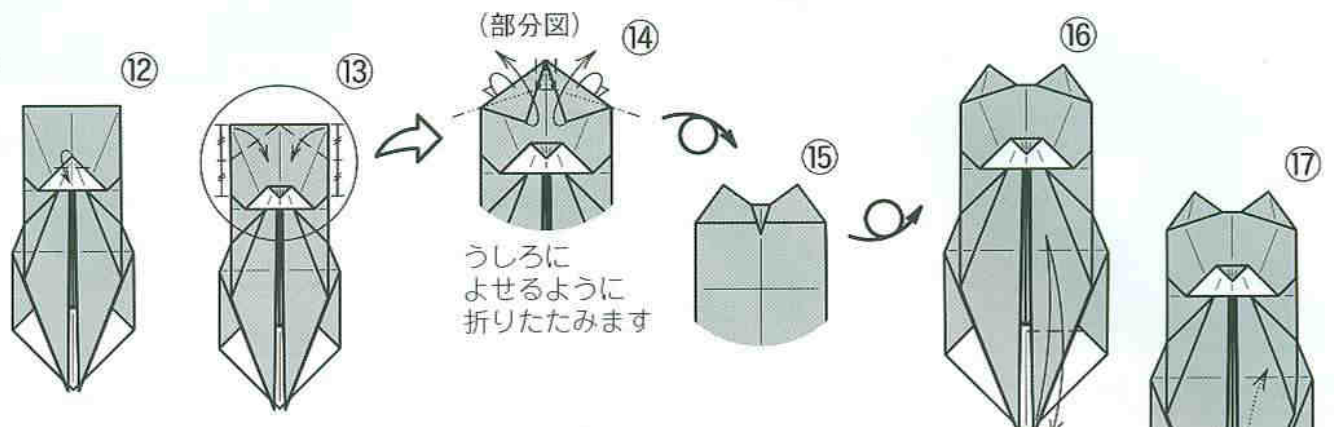
⑪
開いて折りたたみます

この作品について

15cm角の大きさの紙で折ると、身長5cmのまねきねこができます。⑩から左右対称に折って、左手をあげたねこを作るのも楽しいです。

次ページへ つづく

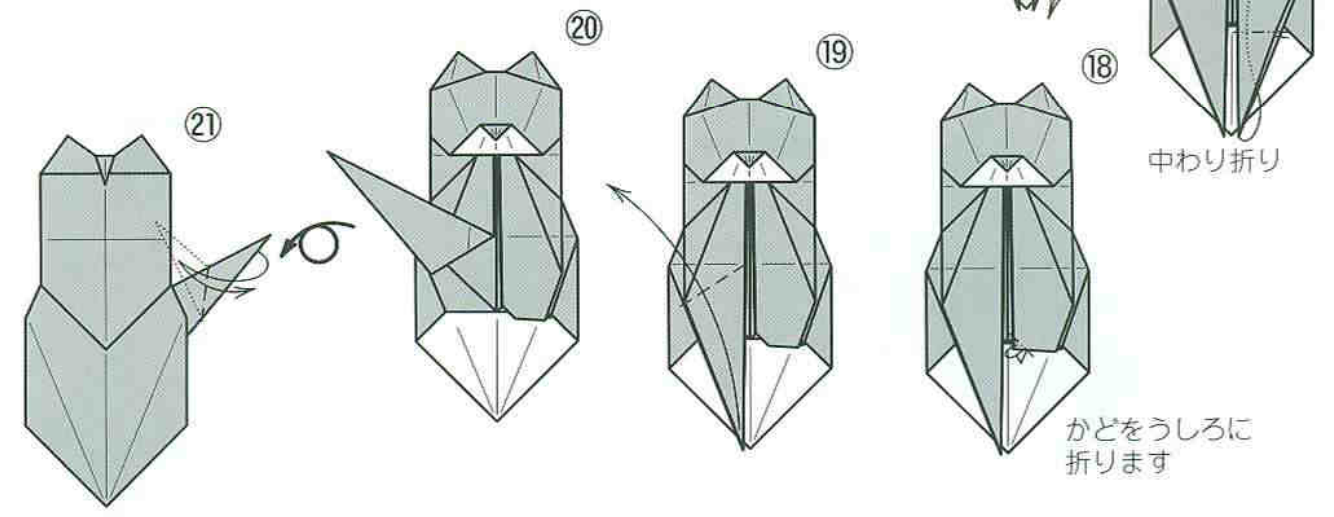
前ページから
つづく



(部分図) 14
うしろに
よせるように
折りたたみます

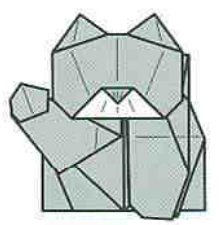
中わり折り

かどをうしろに
折ります

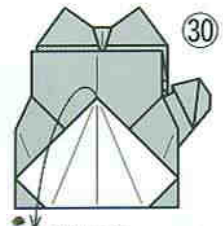
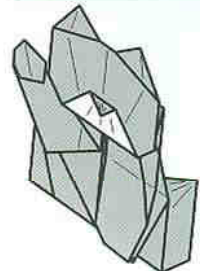


できあがり

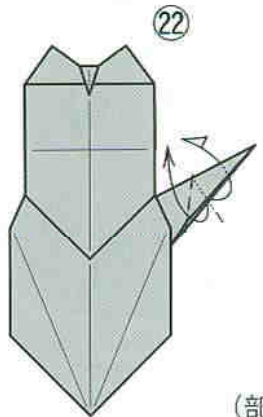
できあがり



(平面作品として
使うとき)



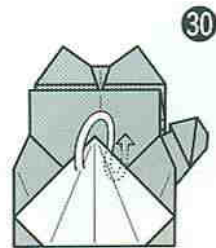
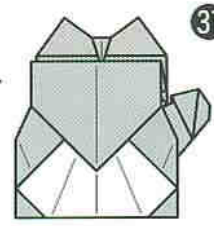
開いて
立てます



かぶせるように
折って
開きます

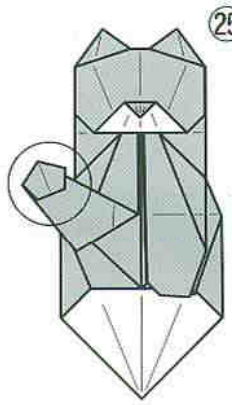
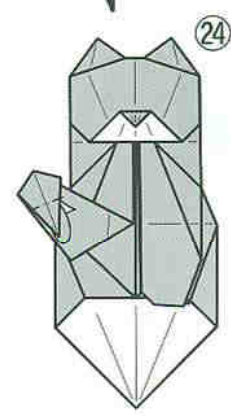


(部分図) 23
折り
たたみます

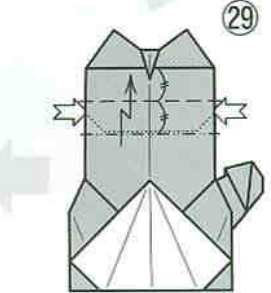
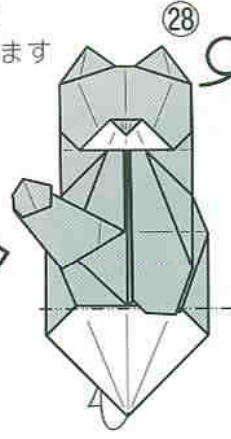
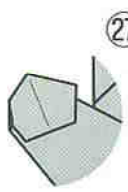


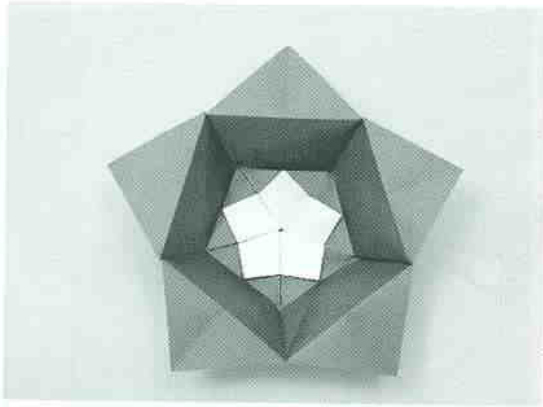
うしろに
さしこみます

うしろの
1枚を
段折り



中わり折り





桔梗のお皿

Bellflower plate by Ms. Noriko NAGATA

ながた のりこ
永田 紀子

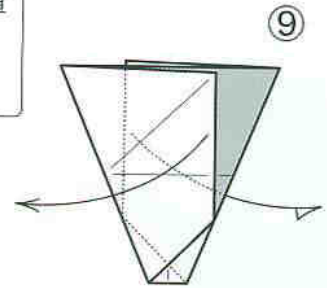
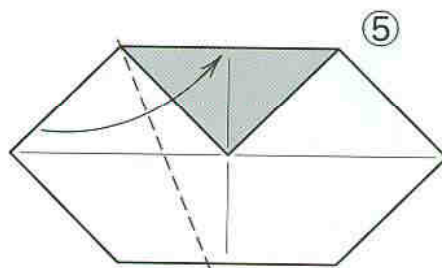
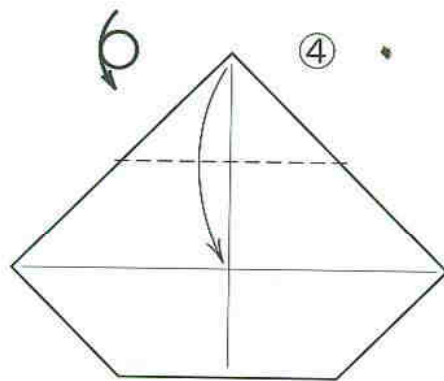
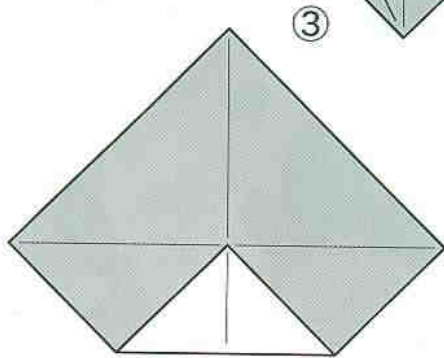
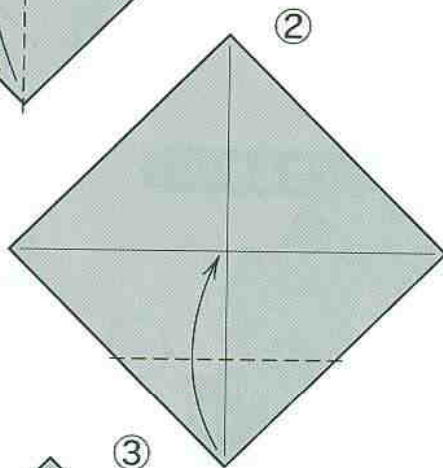
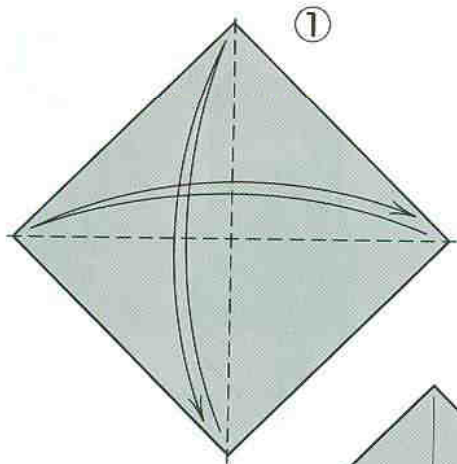
三角の花びらの部分を裏側のひだの下にさしこんでもよいです。(作者)

使用枚数: 5枚(同じ大きさ) / 正方形

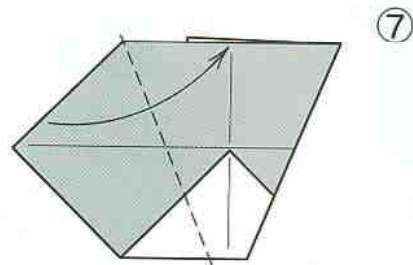
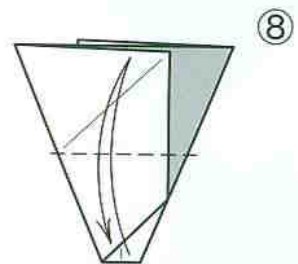
2011年9月27日 投稿

この作品について

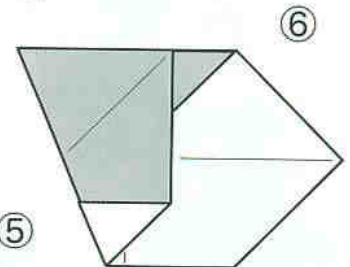
7.5cm角の大きさの紙を使うと、直径9cmになります。



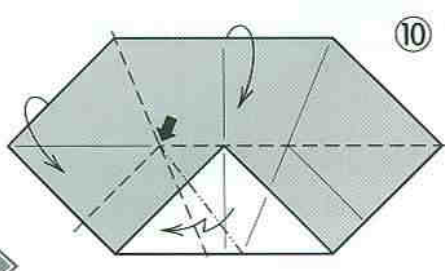
開きます



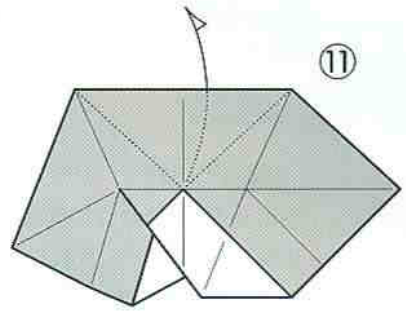
b



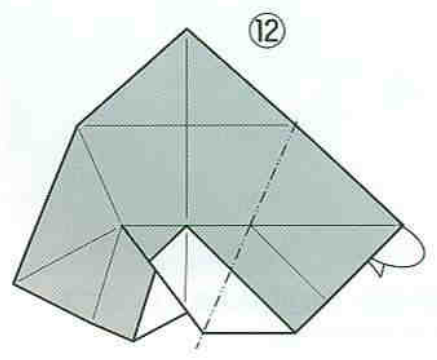
前ページから
つづく



⑩ 段折りしながら
立体に形をととのえます

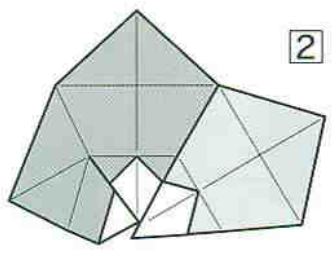


⑪ うしろの三角を出します

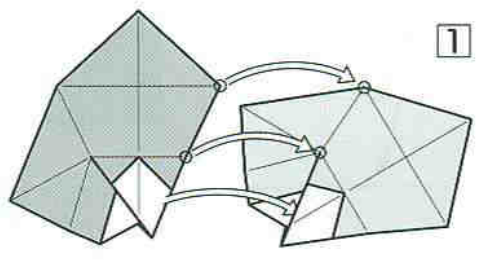


⑫ 単体
できあがり

●くみあわせかた●

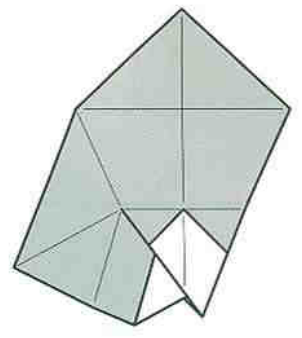


②

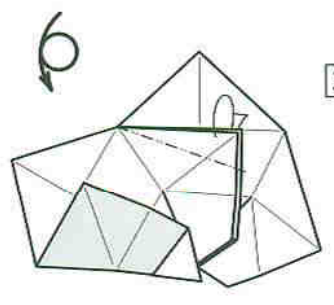


①

○と○をあわせて
さしこみます

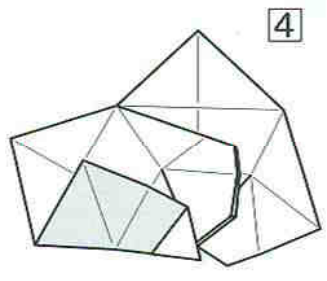


同じものを
5こ作ります

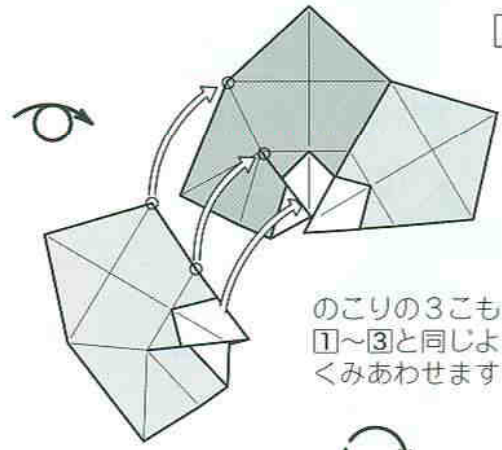


③

2枚いっしょに
うしろに折ります



④

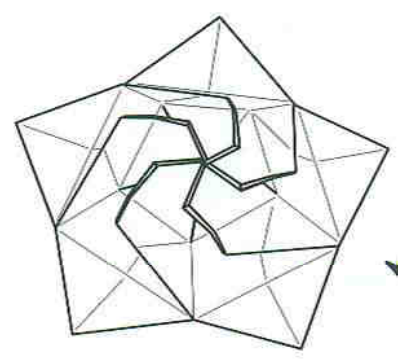


⑤

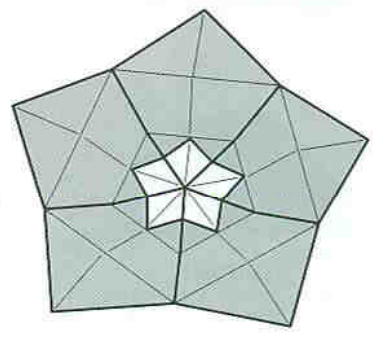
のこりの3こも
①~③と同じように
くみあわせます



できあがり



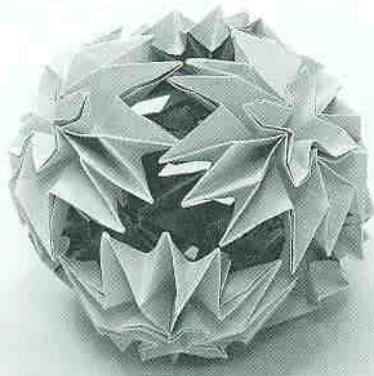
(うらがわ)



ミニ知識

◇十五夜…旧暦8月15日の満月の夜に、秋の収穫物を供えて感謝する祭りです。この夜の月が最も美しいとされ、秋とされる旧暦7月、8月、9月のまん中であることから、「中秋の名月」と呼ばれています。

◇重陽の節供…旧暦9月9日。縁起がよいとされる陽数(奇数)の中で最大数の九が重なるので、とくに縁起のよい日と考えられ、「菊の節供」「栗の節供」「お九日」とも呼ばれています。中国ではこの日に菊の花を飾り、菊酒を飲んで、邪気をはらい、長寿と無病息災を願う風習があり、日本には奈良時代に宮中へ伝えられました。江戸時代になると、庶民の間では秋の収穫祭と習合し、「お九日」などとして祝われるようになりました。また、花札の九月を表す十文札にも菊と杯の絵が描かれるなど庶民の遊びの中にも取り入れられました。



菊のくす玉

Chrysanthemum ball by Mr.Manabu ICHIKAWA

いちかわ まなぶ
市川 学

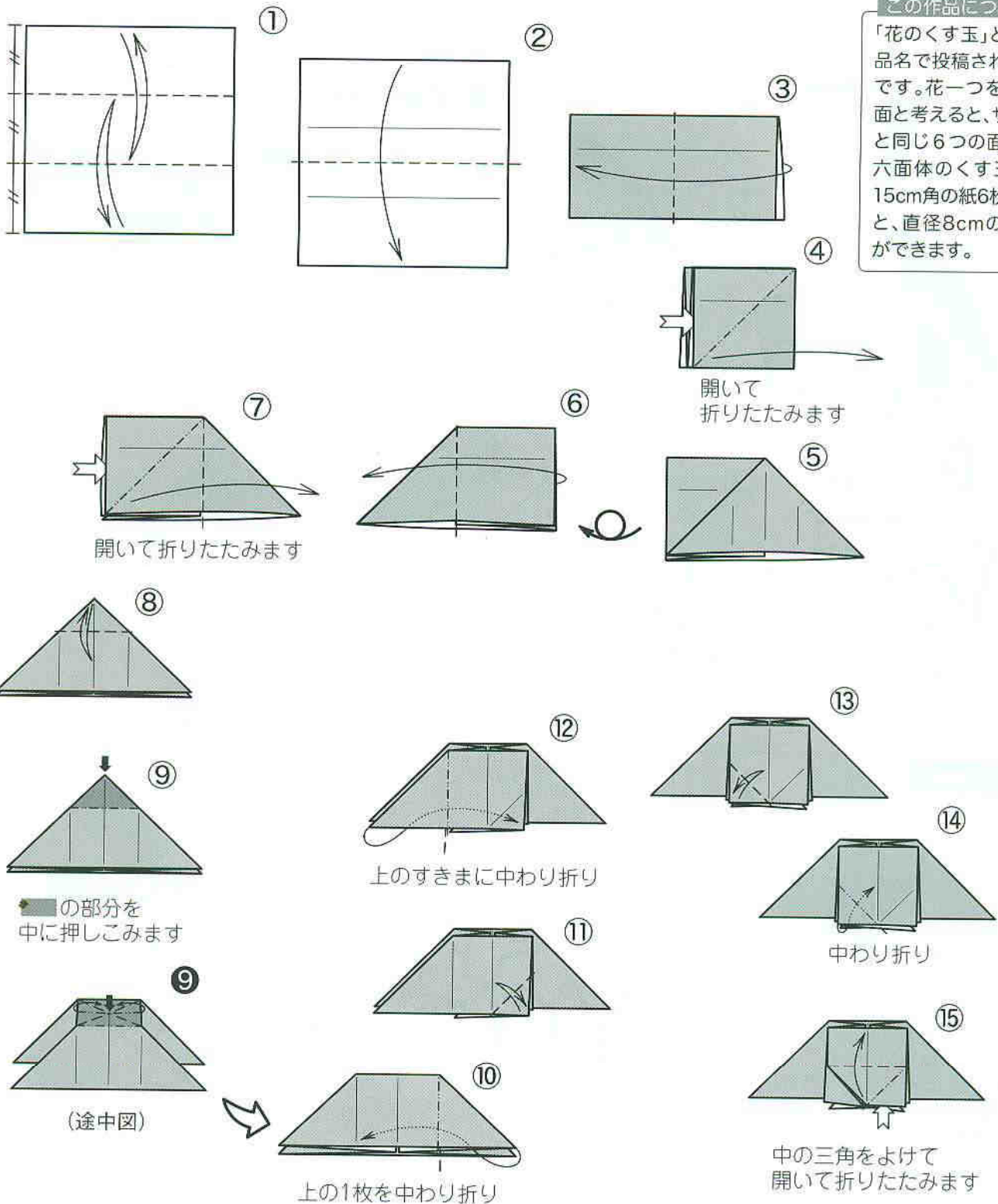
「花のブローチ」(ノアブックス『花のおりがみ』収録)の土台を花びらの内側に折り込むような作品になります。土台がない分、形を整えにくくなりますが、ていねいにきれいにしあげてください。(作者)

使用枚数: 6枚(同じ大きさ) / 正方形

2007年7月23日 投稿

この作品について

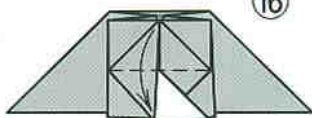
「花のくす玉」という作品名で投稿されたものです。花一つを一つの面と考え、サイコロと同じ6つの面を持つ六面体のくす玉です。15cm角の紙6枚で作ると、直径8cmのくす玉ができます。



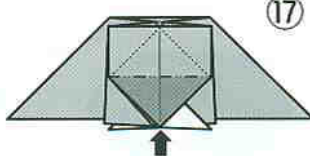


(途中写真)

15



16



■の部分
中に押しこみます

17



(途中写真)

17



22



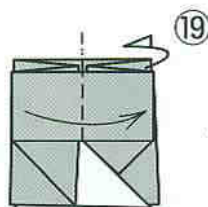
21

中の三角を
よけて
中わり折り



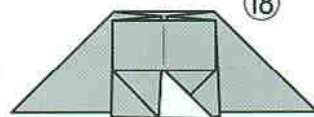
20

上の1枚に
折りすじを
つけます



19

開きかえます



18

うらがわも
⑩～⑰と同じように折ります

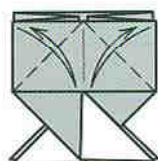
⑮～⑰と同じように
折ります

※⑲～⑳も、白い三角部分をよけながら折ります。
途中で白い三角部分の重なりが乱れたときは
㉒を参考に折りたたみ直しましょう



23

うらがわも⑳～㉒と
同じように折ります

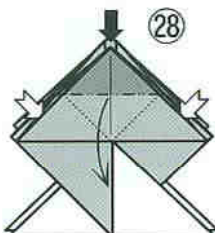


24



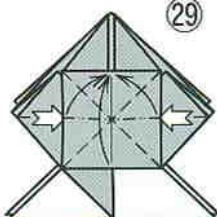
25

■の部分
中に押しこみます



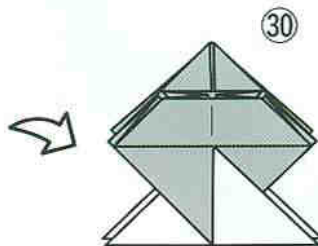
28

■の部分をつぶしながら
開いて折りたたみます



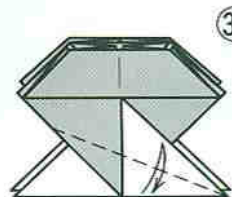
29

よせるように
折りたたみます

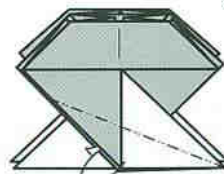


30

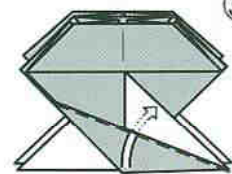
のこりの3か所も
⑳～㉒と同じように
折ります



31

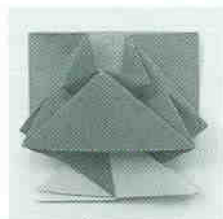


32



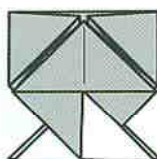
33

折って
さしこみます



(途中写真)

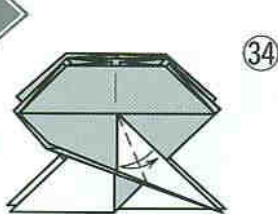
25



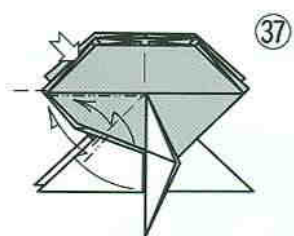
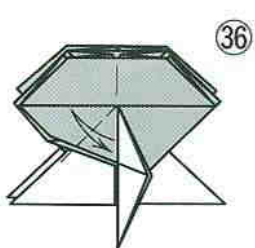
26

うらがわも
⑳㉑と同じように
折ります

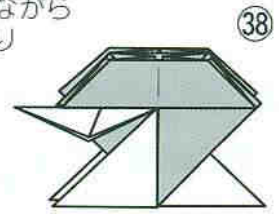
前ページから
つづく



中わり折り



段折りしながら
中わり折り



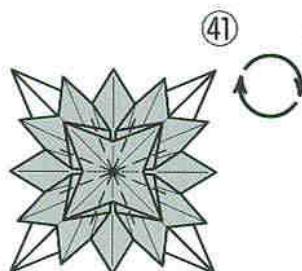
のこりの3か所も
③①~③⑦と同じように
折ります



■の部分
中に押しこんで
立体に形を
ととのえます

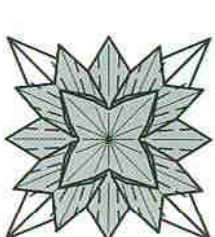


のこりの3か所も
同じように折ります



折りすじを
つけて形を
ととのえます

●くみあわせかた●

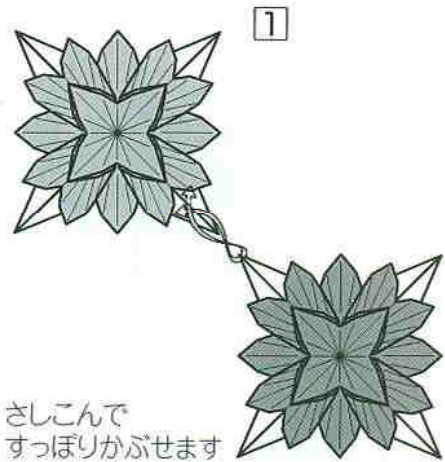


折りすじを
つけて形を
ととのえます



単体
できあがり

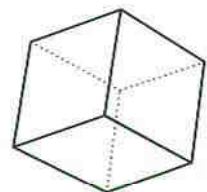
同じものを
6こ作ります



さしこんで
すっぽりがぶせます

2

(参考となる多面体図)



正六面体(立方体)の
各面に
花を割り当てます

できあがり



のこりの4こも同じように
くみあわせます



NOA BOOKS
編集・発行
日本折紙協会

ノアブックス最新刊

■箱のオリガミ

(B5判・96頁)

ISBN978-4-931297-90-6

※340g

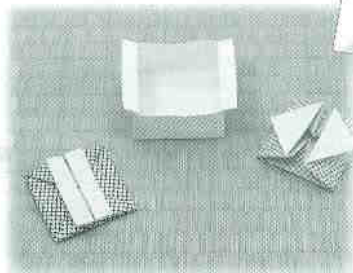
箱のなかみは
夢いっぱい。

えっ、これが箱？
ユニークな形の
箱いっぱい。

『月刊おりがみ』
ならではの
季節感いっぱい。

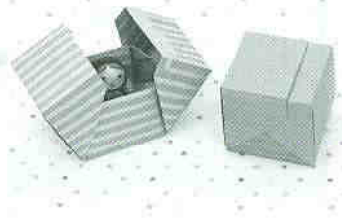
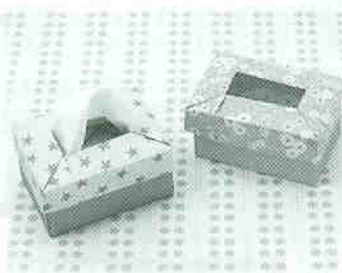


日本折紙協会



第1章 1st box 伝承の箱

第2章 2nd box 季節を彩る箱



第3章 3rd box ユニットの箱

第4章 4th box いろいろな箱

[全39タイトル収録!]

◆定価:1,890円(税込み)送料290円

◆購読会員価格1,701円(税込み)送料155円

◆正会員価格1,512円(税込み)送料155円

*お申し込みは本誌折り込み郵便振替用紙で
本代+送料の総額をご送金ください

※ノアブックスシリーズおよび協会取り扱い書籍を複数
お申し込みの場合の送料は、右表を参照してください。
(本の総重量に梱包量100gを加算してください)

冊子小包 郵便料金表▶

重量	150g	250g	500g	1kg	2kg	3kg
総計	まで	まで	まで	まで	まで	まで
料金	180円	210円	290円	340円	450円	590円



NOA Information

日本折紙協会とは…

Nippon Origami Association

日本折紙協会は、1973年10月27日、折り紙を世界の国々に、より一層普及させようという雄大な考えと、国内でも、幼児教育に限らず、おとなの趣味、高齢者・身障者の方のリハビリテーションなど様々な可能性をもつ“折り紙”の普及の一助ともなれば…という考えから、結成されました。

今や折り紙という言葉は、世界の共通語『Origami』となり、各国に折り紙を楽しんだり、研究したりするグループがいくつもあります。

現在、日本折紙協会の活動は多岐にわたっていますが、主に右記のような活動をしています。

日本折紙協会は全国に支部があり、活動しています

支部名	(支部長名:敬称略)
練馬支部『ノア・こぶし会』	(服部周平) 1
韓国支部『折紙国際交流クラブ』	(李銀玉) 2
ソウル支部『韓国折紙国際交流クラブ』	3
鹿児島支部『折遊がこしま』	(山川幸代) 4
新潟支部『はまなす』	(津野ミエ) 5
長崎支部『長崎折遊』	(浜田 勇) 6
馬車道支部『かりようびん』	(永田文夫) 7
福岡支部『かたくり』	(池田紀子) 8
佐賀支部『おりがみ SAGA』	(青柳伊都子) 9
大宮支部『おりがみ彩の国おみや』	(初音みね子) 10
熊本支部『火の国』	(中田武美) 11
千葉習志野船橋支部『はぐくみ会』	(小倉容子) 12
浦和支部『さくら草クラブ』	(黒岩琢磨) 13
筑後支部『NOA ちくご』	(関根千鶴子) 14
福岡支部『かたくり』	(河野セイ子) 15
上総西部支部『アクアラインクラブ』	(高嶋恵子) 16
草加越谷支部『しらごと』	(中島 進) 17
金沢支部『金沢おりがみの会』	(田中裕美) 18
奈良支部『かのこゆり』	(樋口富砂子) 19
豊島支部『折り紙レインボウ』	(飯間賢世子) 20

◆折り紙の専門誌、月刊『おりがみ』の発行

☑ Publishing monthly magazine "ORIGAMI"

わかりやすい折り図で、会員から寄せられた創作作品を紹介。また、各地の折り紙に関する情報を掲載しています。

◆《世界のおりがみ展》の開催

☑ Holding "World origami exhibition"

会員と、世界中の折り紙愛好家の作品で構成された展覧会を全国各地で開催します。

◆《折紙シンポジウム》の開催

☑ Holding "Origami symposium"

折り紙の学びの場、情報交換・交流の場として、1年に1度、2泊3日の日程で開催。講演、部会、教室、展示、懇親会などを行います。

◆《おりがみの日記念イベント》の開催

☑ Holding the events of "Origami day"

11月11日は「おりがみの日」。記念イベント「おりがみカーニバル」では、作品展(2012年のテーマは「希望」)や勉強会を行います。

◆《折紙講師》《折紙師範》

《上級折紙師範》認定制度

☑ Certifying "Origami instructor"

折り紙の指導者を育成しています。また、2階講習室を折り紙教室としてお貸ししています。

作品募集は P43

◆《日本折紙博物館》と提携

☑ Cooperating in exhibiting works at "Nippon origami museum"

『日本折紙博物館』(石川県加賀市)と提携、折り紙作品の展示に協力しています。

支部一覧 2012.6月現在 / 設立順 (解散による欠番があります)

支部名	(支部長名:敬称略)
多摩支部『山鳩』	(瀬田美恵子) 21
信濃支部『りんどう』	(成田光昭) 22
札幌支部『ライラック』	(宮本まり代) 23
福井支部『へにばな』	(斉藤恵美子) 24
川越支部『ノア・はつかり』	(根津弘美) 25
徳島支部『藍の香』	(山西三智子) 26
沖縄支部『おりがみ館 彩』	(具志堅和子) 27
相模支部『夢折紙』	(橋 由美子) 28
船橋支部『稜の会』	(青木明子) 29
いわき支部『いわきおりがみ会』	(鈴木智子) 30
和歌山支部『和歌山折紙の会』	(平野公美子) 31
武南支部『折り紙夢工房』	(金杉登喜子) 33
広島支部『アトムクラブ』	(菅根泰子) 34
大阪支部『日本折紙協会にわ・みおつくし会』	(梅本吉広) 35
奈良支部『あきしの』	(竹尾篤子) 36
墨田支部『折り友すみだ』	(中村桂一) 37
いなば支部『因州和紙の里』	(房安寿美枝) 38
吹田支部『折り紙玉手箱』	(渡辺真寿美) 39
高知支部『おりづる高知』	(森 洋奈) 40
広島中野支部『折り紙サークルぼぼろ』	(和田明美) 41

支部名	(支部長名:敬称略)
神戸支部『サークル紙ふうせん』	(柴本厚子) 42
西横浜支部『横浜 子どもに夢を』	(柏俣美枝子) 43
川越仙波支部	(岡村文江) 44
加古川支部『おりひめ会』	(高橋ゆみ子) 45
町田支部『玉川』	(落合けい子) 46
湘南支部『TUTTI (トゥッティ)』	(野中陽子) 47
越前和紙の里支部『かたかご』	(高橋百合子) 48
秋田支部『なまはげの会』	(畠山久子) 49
栃木県支部『とちおとめ』	(小の林知恵美) 50
琉球支部『月桃の会』	(兼島榮子) 51
香川支部『おりがみ KAGAWA』	(坂本整子) 52
京都支部『古部折紙倶楽部』	(山下 明) 53
讃岐支部『さぬき折り紙会』	(朝倉陽子) 54
のじぎく兵庫支部『神戸国際おりがみ会』	(石橋美奈子) 55
岩手盛岡支部『さくら会』	(丹野恵美子) 56
米沢支部『さくら会』	(本木きよ子) 57
近江おりがみの会	(高野和香子) 58
高槻支部『思いやりの心』	(佐藤 馨) 59

日本折紙協会支部(サークル)設置規定

- 1) 支部(サークル)は、日本折紙協会会員最低5名以上によって組織できる。なお、支部名は自由であるが、実態に合わないものや既にあるもの、あるいはそれと紛らわしいものは避ける。
- 2) 組織の母体は地域、職場、病院、学校・園、公民館など自由とする。
- 3) 支部(サークル)は、その規約をつくり、支部名(会名)、規約、会員・役員名簿を日本折紙協会に提出し、それらが認定されて発足できる。
- 4) 役員は、支部長(会長)、副支部長(副会長)、事務局、会計、監事のほか、その実態に合わせて他の役員をおくことができる。
- 5) 支部(サークル)は毎年、年度当初、役員と会員名簿、新年度事業計画書を日本折紙協会に提出する。その主な事業計画は月刊『おりがみ』に掲載し相互の交流がはかれるようにする。
- 6) 支部長(会長)は、折紙講師以上の資格者で、正会員であることを条件とする。
- 7) 支部長(会長)は、支部(サークル)会員の折紙講師資格申請の推薦者となることことができる。

- 8) 支部(サークル)会費は、各支部ごとに決定し、会計年度は4月1日から次年3月31日までとする。年度ごとの事業報告、決算報告、事業計画、予算等については各組織の責任において行う。
 - 9) 支部(サークル)は日本折紙協会が行う講習会やさまざまなイベントに協力する。
 - 10) 日本折紙協会が依頼する支部(サークル)活動の経費は、協会ができるだけ援助する。
 - 11) 支部(サークル)維持に必要な上記の条件を欠くとき、日本折紙協会の支部(サークル)としての資格を失う。
- 付則
- 1) この規定は日本の国内に関するもので外国に関しては別に定める。
 - 2) この規定は平成9年4月1日より施行する。
 - 3) この規定は平成12年4月1日より改定する。
- (以上)

日本折紙協会 事務局のご案内 TEL.03-3625-1161 FAX.03-3625-1162 〒130-0004 東京都墨田区本所 1-31-5

「東京おりがみミュージアム」という愛称がつけました。ギャラリー、ショップ、資料室、講習室があります。どうぞお越しください。

◆臨時休業のお知らせ◆
折紙シンポジウム開催中の7月23日(月)24日(火)と25日(水)の事務局での業務をお休みさせていただきます。

交通▶地下鉄都営大江戸線・浅草線「蔵前」駅下車、徒歩約12分(浅草駅も利用可)
営業時間▶9:30～17:30(昼休み12:30～13:30をいただきます)
休業日▶土・日・祝日(都合により臨時休業あり)*店舗のみ土日開業準備中です
て来局、お電話でのお問い合わせは、営業時間内にお願いたします。

ホームページのご案内 会員専用ページのパスワード kiku 有効期間 8/1(水)～31(金) 海外郵便などで有効期限超過後本号が到着する方は、お手数ですが現在有効のパスワードをお電話・FAX・電子メールでお問い合わせください。

ノアボックスや折り紙(用紙)の通販ショッピングサイト*ができました!
※会員価格は適用されません。

【ホームページURL】
<http://www.origami-noa.com/>
【電子メールアドレス】
info@origami-noa.com (事務局)
▲ 講師関連・商品の問い合わせ・イベントなど
henshubu@origami-noa.com (編集部)

【メールマガジンを発行しています】
メールマガジンでは、ホームページの更新情報や、折り紙の最新情報を掲載しています(毎週金曜日発行)。お申し込みはホームページをご覧ください。下記のURLで、メールマガジンの購読のお申し込みができます。
(メールマガジンのバックナンバーも読むことができますよ!)
<http://jazz.tegami.com.backnumber/frame.cgi?id=0000023495>

日本折紙協会 ホームページ リニューアル 作業進行中!
origami-noa.jp

入会・その他のお申し込みご案内

月刊『おりがみ』定期購読のお申し込みで、あなたも会員になれます。ご入金された月から、毎月1冊1年間、月刊『おりがみ』をお届けします。(定期購読で誌代は割引、送料はサービスです)

●個人会費(税込み) 国内在住の方は以下のとおりです。

正会員▶日本折紙協会の活動目的に賛同され、正会費を払われる個人

1年分 = ¥12,700 (月刊『おりがみ』年間購読料を含む)

※2年分まとめた会費は24,400円、3年分は36,100円

購読会員▶月刊『おりがみ』を購読される個人または団体

1年分 = ¥8,700 (月刊『おりがみ』年間購読料)

※2年分まとめたご入金の場合、500円引きの16,900円、3年分まとめた場合、1,000円引きの25,100円となります。

※海外在住の方は、海外から入金の場合、1年分=13,800円、国内から入金の場合、1年分=9,800円となります。(船便)

●賛助会員▶日本折紙協会の事業を賛助される団体

1年分(税込み)=1口…年額 ¥34,800 (1口以上)

送金方法 ※ご送金の際の振込手数料はご負担ください。

1 郵便振替(00110-6-188035) ※折り込み添付の用紙をお使いください。

2 現金書留

※海外からの入金…

三菱東京UFJ銀行市ヶ谷支店(普) 1187799

(金額は下欄「Bank」参照)

または、国際郵便為替(下欄「Post office」参照)をご利用ください。

●バックナンバーや書籍のご注文は郵便振替で…

本誌折り込み添付の郵便振替用紙(または郵便局備え付けの振替用紙)で(00110-6-188035)日本折紙協会にご送金ください。

●書店にご注文の場合 ※会員割引、特典などは適用されません。

日本折紙協会発行の書籍(月刊誌・単行本)は、ご注文の際に「地方・小出版流通センター扱い」と付け加えてご注文ください。

※いったんお申し込みされた会費の返金や、中途解約はお断りしております。なにとぞご了承くださいませ、お願い申し上げます。

Methods for the remittance

NOA is recruiting new members. Please send the membership fee to us in the ways mentioned below.

1) The membership by sea

* Bank ※ Bank charge has been changed to ¥4,000 since Jan 1, 2006.

Remittance : ¥13,800

(including ¥4,000 that the Japanese bank charges you)

Account number : Bank of Mitsubishi-Tokyo-UFJ: 014-1187799

Nippon Origami Association Co., Ltd.

* Be sure to write down our full name on the bill at bank or post office.

Don't write our name for short.

* You should bear the bank charge for remittance.

* Post office

Remittance : ¥9,800

(The post office does not charge you in Japan.)

International postal money order is available.

Addressee : Nippon Origami Association

1-31-5 Honjo, Sumida-ku, Tokyo

130-0004, Japan

2) The membership by air

Zone	Zone	Bank	Post office
Zone 1	Asian countries	¥16,320	¥12,320
Zone 2	North and Central America, Oceanian countries, the Middle East, Europe, Russia	¥17,520	¥13,520
Zone 3	Africa South America	¥18,720	¥14,720

Please let us know by mail and e-mail when you would like to have more informations about our Nippon Origami Association.

正会員になって

日本折紙協会の事業に参加しませんか

月刊『おりがみ』をご購読いただいている購読会員(年会費8,700円)とは別に、日本折紙協会の活動目的にご賛同いただく『正会員』を設定しています(正会員の年会費は12,700円です)。広報活動や、世界折紙センター(W.O.C.)の設立などにご協力いただくほか、商品の正会員価格割引、定時総会への参加資格、折紙師範・上級折紙師範の申請資格などの特典がある『正会員』に関するお問い合わせは、事務局までご連絡ください。詳しい説明書をお送りいたします。

購読会費の

『口座振替サービス』のご案内

口座振替をお申込みいただいた方は、特典として、初回振替の会費のみを200円引きします(8,500円)。

一度お申し込みいただきますと、以後は毎年1回、購読会費(8,700円)が自動的にご指定口座から引き落とされます。

手数料などのご負担は一切ありません。全国ほぼすべての金融機関がお使いになれます。

ご希望の方は、事務局へご連絡ください。必要書類をお送りします。

※口座の登録事務が完了次第、会員期間を更新します。

※口座の登録事務が不備なく完了した場合は、必要書類を送返いただいた月の翌々月27日に8,500円が引き落とされます。

※翌年以降、会員期間が終了する月の前月27日に8,700円をお引き落としいたします。

※口座振替を中止する場合は会員期間終了月の前々月5日までにご連絡ください。

日本折紙協会 折紙資格認定制度

日本折紙協会折紙資格認定制度として、折紙講師資格、より上位の資格として折紙師範、さらにその上位の資格として上級折紙師範の制度を設けております。

折紙講師

16歳以上の日本折紙協会会員であることが前提です。

『おりがみ4か国語テキスト』(右)掲載全作品を、申請料2,100円(税込み)を添えて事務局までお送りください(詳しくは本誌折り込み添付「折紙講師認定制度のご案内」をご覧ください)。審査会で作品審査(場合により折り直し、再提出)を経た後、事務局より認定通知が送付されます。認定登録料15,750円(税込み)を納入してください。「認定証」と「資格証」を発行します。

◀2009年6月21日申請受け付け分より、「折紙講師」認定時には、冊子「折紙講師指導の手引き」を配布、講師バッジは希望される方に別途販売することとしています



▲ご注文は本誌折り込み振替用紙で



▲認定証と資格証

みんなでふやそう におりがみなかま! にこここネットワーク

新規会員3名をご紹介くださった方に「おりがみ4か国語テキスト」1冊をさしあげております。あなたのまわりの楽しいおりがみ仲間をふやしてください!

世界折紙センター(W.O.C.)建設基金

～募金を受け付けております～

●法人1口10万円(1口以上) ●個人1口1万円(1口以上)

郵便振替口座 00130-5-724996

▲折り込みの郵便振替用紙の番号とは異なりますのでご注意ください

○折り紙の輪を広げるために、私たちも協力しています(50音順)

エヒメ紙工(株) / (株)紙大倉 / (社)韓国ソンジョプギ協会 / 韓国PAPER CULTURE FOUNDATION / (株)クラサワ / (株)小松原梱包 / ショウワグリン(株) / (株)スズキ紙工業 / 大与紙工(株) / (株)竹尾 / 土浦聖母幼稚園 / (株)トーヨー / 中村紙工(有) / (株)平凡社 / 北越紀州製紙(株) / 武蔵野冷蔵(株) / 望月印刷(株) / (株)ゆしまの小林 / 吉森ホイル(株)





NOA Information

講師講習会(Cコース)のご案内 (大阪会場)

日程/9月1日(土)13:30~16:30
 内容/Cコース(紙の歴史・紙の組成と種類、実技・畳紙など)
 会場/グランキューブ大阪
 (大阪国際会議場)1202会議室
 〒530-0005
 大阪市北区中之島5-3-51
 交通/JR環状線大阪駅下車
 ※会場隣接のリーガロイヤルホテル行き無料送迎バスをご利用ください。

講師/吉野敏武先生
 (元 宮内庁書陵部修補師長、東北芸術工科大学非常勤講師)
 対象/折紙講師・折紙師範資格所得者
 (バッジ着用または資格証携帯のこと)
 定員/80名(先着順。定員になり次第締め切り)
 受講料/4,000円(税込み)

※お申し込みは…本誌折り込み振替用紙で受講料4,000円を日本折紙協会までお振り込みください。後日、受講料を送付いたします。必ず講座名:「講習会(大阪)」を明記してください。

講師勉強会(大阪会場)開催される

6月17日(日)14:00より、日本折紙協会の川井淑子理事を講師にお迎えし、グランキューブ大阪(大阪国際会議場)で講師勉強会を開催しました。受講者は68名です。

川井理事は、丁寧でわかりやすい折り図と必要な大きさにカットした材料を事前にご用意くださいました。折り図や材料には、受講者がそれぞれの教室で教えることができるようにとの配慮が込められていて、「今回紹介する作品は(あ



らためて私の許可は不要で)どこで教えても結構です」という言葉もいただきました。作品を両手でもみ、やさしくなでて柔らかい折りすじを作るなど、手のぬくもりを込めた作品づくりがとても印象的でした。

3時間があっという間に過ぎ、「世界中が仲よくなりますように」という先生の願いがこもった、心優くなる勉強会でした。

*講師勉強会(東京会場)は2012年11月10日(土)、こどもの城(渋谷区)で開催します。詳しくは次号をご覧ください。

日本折紙協会 折紙資格認定制度

折紙資格認定制度として、折紙講師資格、より上位の資格として折紙師範、さらにその上位の資格として上級折紙師範の制度を設けております。〔折紙講師〕はP39をご覧ください

2 折紙師範

下記のI~IVの条件の内1つ以上をみたす者で、本人の折り紙に関する**研究論文**(2,000字以上)と**折り紙歴**を添えて申請し協会の認定を受けた者を日本折紙協会認定の折紙師範とします。**研究論文**は折り紙に関する理論的研究や実践報告など、そのテーマは自由です。既発表のものについては、その発表誌等の誌名と発表年月日を記してください。**折り紙歴**は教室や講習会など実践活動、展示会などイベント活動、マスコミなどへの個人的活動、「にこにこネットワーク」など日本折紙協会の制度への参加など、折り紙に関する経歴を詳しく書いてください(あれば、資料などを添えて)。

- I. 日本折紙協会認定の折紙講師資格を持つ正会員(維持会員)としての資格を10年以上継続保持していること。
- II. 日本折紙協会認定の折紙講師資格を持つ正会員(維持会員)として協会認定支部の支部長、副支部長、事務局長、会計、その他支部役員として5年以上の経験を有すること。
- III. 日本折紙協会認定の折紙講師資格を持つ正会員(維持会員)として折紙シンポジウムに7回以上参加し、その修了証を有すること。
- IV. 日本折紙協会認定の折紙講師資格を持つ正会員(維持会員)として**日本折紙協会主催の講師講習会**に5回以上参加し、その修了証を有すること。

※「日本折紙協会主催の講師講習会」2000年以降、毎年2回(春と秋)、東日本と西日本で折紙講師の皆さんを対象に「講師講習会」を開催します。受講の際は必ず資格証を携帯または講師バッジをつけてください。

3 上級折紙師範

下記のI,IIの条件の内1つ以上をみたす者で、本人の創作折り紙作品(未発表・既発表を問わず)5点を折り図を添えて申請し協会の認定を受けた者を日本折紙協会認定の上級折紙師範とします。

※折り図は申請者自身の作図であること。発表か出版物の場合、著書名・出版社名・発行年月日を明記(この場合も折り図は申請者自身のもので提出すること)。また講習会などで発表した場合は、会場名・主催団体名・発表年月日を明記してください。

- I. 日本折紙協会認定の折紙師範資格を持つ正会員(維持会員)としての資格を10年以上継続保持していること。
- II. 日本折紙協会認定の折紙師範資格を持つ正会員(維持会員)として協会認定支部の支部長、副支部長、事務局長、会計、その他支部役員として5年以上の経験を有すること。

《講師講習会(折紙師範資格取得希望者対象講習会)コース案内》

折紙師範資格申請のための講師講習会は、下記A~E各コースをすべて受講する必要があります(同じコースを再度受講することはできませんが、資格申請のための受講回数には数えられませんのでご注意ください)。

- Aコース 基本形・記号の名称と作図法、実技・作図
- Bコース 折り紙の歴史・折り紙の本質、実技・千羽鶴など
- Cコース 紙の歴史・紙の組成と種類、実技・畳紙など
- Dコース 折り紙と幾何学、実技・ユニット折り紙など
- Eコース 指導法・地域活動のあり方、報告・研究論文のまとめ方

※2012年はCコースです

申請 専用の申請用紙を事務局にご請求ください。所定の書式に従い日本折紙協会に提出、適格と認定された者には、日本折紙協会認定の折紙師範、または上級折紙師範の認定書とバッジをおくりませぬ。なお、本人が日本折紙協会正会員(維持会員)でなくなったときは自動的にその資格を失います。

*資格申請の際の提出作品や書類は返却いたしませんのでご了承ください。

(すべて税込み)		上級折紙師範
申請料 5,250円	認定料 52,500円	金色バッジ
		折紙師範
申請料 3,150円	認定料 31,500円	銀色バッジ
		折紙講師
申請料 2,100円	認定料 15,750円	銅(赤)色バッジ



講師バッジをご希望の方は、定価3,150円(税込み・送料120円)で購入できます(折紙師範資格をお持ちでない方は購入できません)

各資格は5年ごとに更新の必要があります

▼資格の更新料は以下ようになります

折紙講師 / 2,100円(税込み)
 折紙師範 / 3,150円(税込み)
 上級折紙師範 / 5,250円(税込み)

折紙師範および上級折紙師範資格取得者は、資格取得日からの更新になります。(すでにお持ちの資格の更新は不要です)

*本誌折り込み添付の郵便振替用紙に、『資格取得(認定)年月日(認定書に記載)』『登録番号(認定書に記載)』『認定期間(認定書に記載)』『認定時の氏名と住所(変更のあった方のみ)』をご記入の上、上記更新料をお振り込みください。

■宮本眞理子先生の「親子おりがみ教室」開講(申し込み受付中)

長崎県の宮本眞理子さんが、日本折紙協会2階講習室で、子ども向けの折り紙教室を開講します。夏休み終盤の土曜日、体験教室に参加してみませんか。

■夏休み親子おりがみ体験教室

日時/8月18日(土)10:00~12:00

参加費/無料

材料費/子ども1人500円(講習前に日本折紙協会事務局にてお支払いください)

内容/「花火」を予定(夏休み制作用)

募集人数/15組30名まで(参加人数によって増減あり)

募集期間/定員になり次第終了

お申し込み・お問い合わせは、日本折紙協会事務局まで(☎03-3625-1161)

※小学校3年生以上は子どもだけでの参加もできます。ただし、送迎は保護者でお願いいたします



(▼この講座は9月から定期講座になります)

■親子おりがみ体験教室

毎月1回第3金曜日の翌日の土曜日

(宮本眞理子定期講習会の翌日)

初回日時/9月22日(土)

10:00~11:30(予定)

参加費、材料費他は8月の「体験教室」と同じ

■オリガミUSAコンベンション開催

「440号」「441号」で参加者を募集した「オリガミUSAコンベンション」。日本からのツアーはお申し込み少数のため催行できませんでしたが、コンベンションは6/23(火)~25(月)に開催され、日本折紙協会から佐野 友専理事が参加いたしました。

夏休みは親子で東京おりがみミュージアムへ!

開業間もない「すみだ水族館」や東京スカイツリータウン、隅田川花火大会、浅草サンバカーニバル… 周辺は夏休み期間中のイベントで大にぎわいです。「東京おりがみミュージアム」にもぜひお越しください。

また、折紙講師の皆さんは、講師としてだけでなく、生徒として他の教室に参加するのも、とてもよい勉強になると思います。2階講習室の定期講習会に、どうぞご参加ください(裏表紙をご覧ください)。

東京おりがみミュージアム、8月より、ギャラリーとショップ(店舗)土日もオープン!

お待たせしました。作品展示ギャラリーと折り紙(用紙)・書籍の販売コーナーを、これまでの月~金曜日に加え、土・日曜日も開店することになりました(9:30~17:30、祝日休)。学校やお仕事でなかなか足が向かなかったあなたも、ぜひお越しください。(他の事務局内業務はこれまでどおり月~金の営業とさせていただきます)

お詫びとお知らせ

●『436号』の「簡単な木」について

『436号』に掲載された「簡単な木」(松野幸彦さん作)とほぼ同じ工程と形の作品が、『95号』(1983年7月号/絶版)にすでに掲載されていたので、右の誌面再録とともに、お知らせします。イタリアのアンドレア・ペジオンさんはこの数年前に自著でこの木とパリエーションを発表されていたそうです。皆さんにご迷惑をおかけしましたこと、お詫び申し上げます。(編)

●タイのテレビ番組紹介、放送延期

「443号」でお知らせした、日本折紙協会がthaiPBS局の取材を受けたタイのテレビ番組は、6月9日(土)の放送予定でしたが、延期となっていました。

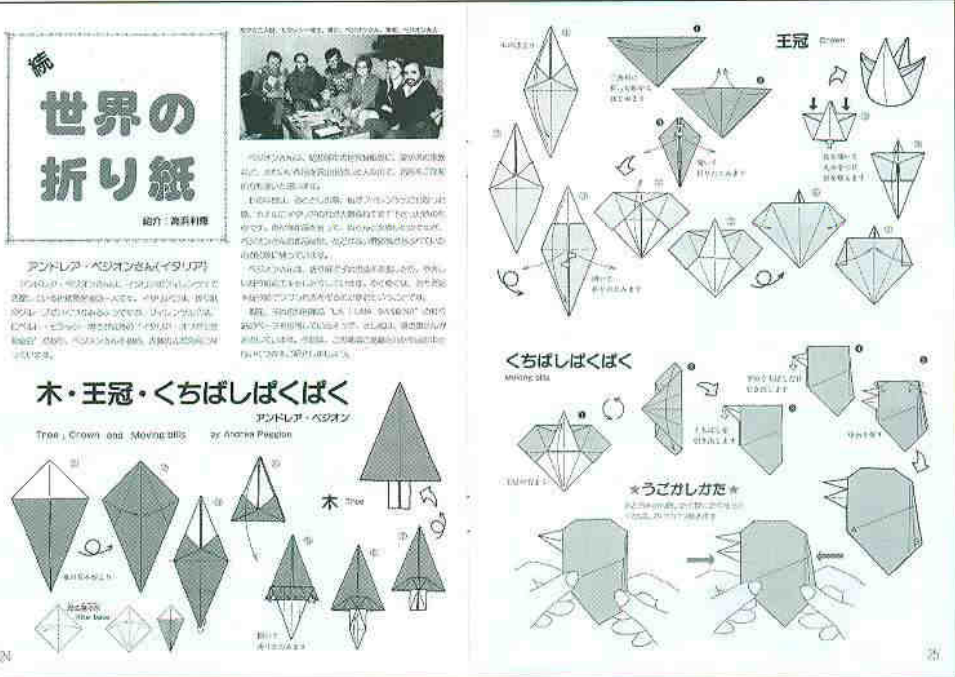
このほど放映日が決定しました。8月18日(土)と25日(土)の2回(日本時間17:05~17:35)にわたって放送されるそうです(下記URLより、リアルタイムで視聴できる予定です)。

番組名:Dohiru(ドゥー入る)

<http://live.thaipbs.or.th/>

thaiPBS番組ページ

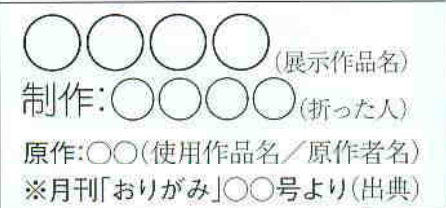
<http://program.thaipbs.or.th/>



■展示会での作品名表示の留意点

サークルの発表会などで折り紙作品を一般公開する機会も多いことと思います。展示作品が制作者自身の創作でない場合、原作使用に対するマナーとして、表示名札には制作者名のほかに、作品の原作者名、作品名、出典書籍なども明示してください。(様式は自由)

なお、「折り図」を転載し出版するなど、明らかに「個人の楽しみ」の範囲を



▲表示名札の例

超える活動の場合は、必ず日本折紙協会など作品出典の出版元にご連絡の上、所定の手続きをお取りください。



NOA Information

「おりがみ商品カタログ2011年版」 廃番商品と新商品のお知らせ

カタログ掲載商品のうち、以下は廃番となりました。ご注文を受けることはできません。ご迷惑をおかけします。

【ショウワグリム】

- S-22ダブルカラーフローラおりがみ<ローズ>
- S-28もみじ和紙
- S-35水彩おりがみ<縞>
- S-43和紙千代紙 花だより<八重桜>
- S-44和紙千代紙 花だより<薔薇>
- S-46両面ストライプちよがみ
- 【トーヨー】
- T-44デザインペーパー<エレガント>

(新商品のお知らせ)

- クラサワ両面単色 15cmちゃ / きいろ 会員価格 378円(税込み) / 重量 150g
- クラサワ両面単色 24cmちゃ / きいろ 会員価格 683円(税込み) / 重量 185g

※『おりがみ商品カタログ2011年版』は、500円(税・送料込み)で販売しております

ホームページが変わります

今夏の開設を目標に、リニューアル作業が進行中です。
リニューアルにともない、アドレスも変更予定です。新アドレスは以下
(日本語版) www.origami-noa.jp
(英語版) www.origami-noa.com
移行期間中はご迷惑をおかけする場合があります。あらかじめご了承ください。

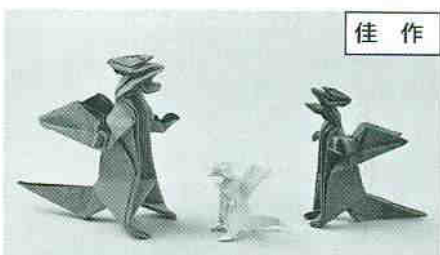
11月11日「おりがみの日」記念作品 「こども部門」(中学生以下)作品大募集!



こどもの城賞

《ムシといっしょ》

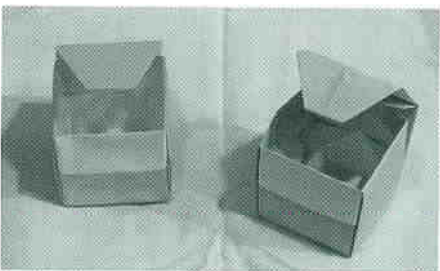
制作: 森永寿美子(10歳/三重県)
▶[439号]の「おりがみギャラリー」で写真掲載



佳作

《ドラゴンファミリー》

制作: 生田波輝(10歳/愛知県)
▶[442号]の「おりがみギャラリー」で写真掲載



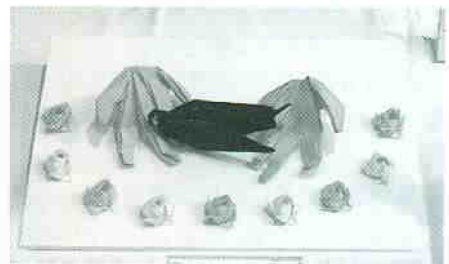
《小物入れ》

制作: 水谷壮志(14歳/大阪府)
▶[440号]に折り図掲載

「おりがみカーニバル」の会場「こどもの城」は、1979年の「国際児童年」を記念して計画・建設され、1985年に開館した子どものための総合施設です。

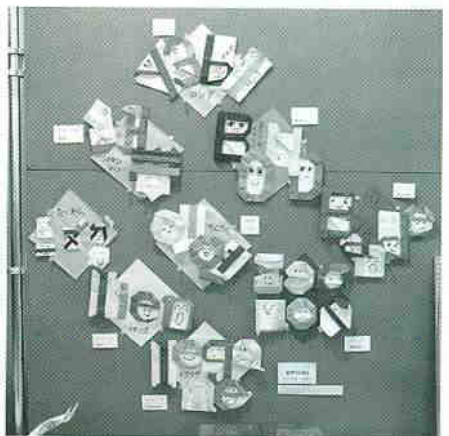
「おりがみの日」記念作品展では、「こども部門」の作品を大募集します。

このページでは、昨年(テーマ: 絆)お寄せいただいた、中学生以下の方の作品を紹介します(年齢は当時)。次ページの要項をご覧の上、ふるってご応募ください。(一般の方ももちろん大募集!)



《あたたかい時》

制作: 中村恒二郎(12歳/香川県)



《世界の「絆」》

制作: 伊達光一(14歳/兵庫県)

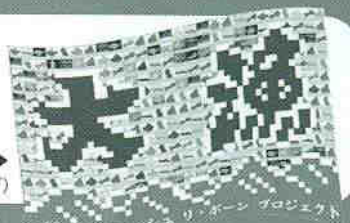
折り紙で東北の漁港にエールを!

東北フィッシュリ・ボーンプロジェクトでは、震災で甚大な被害を受けた東北の漁港復興支援第一弾として、寄付金付き折り紙「ORI-UO (オリウオ)」を販売いたします。

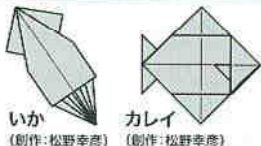
ORI-UOは折り紙を楽しみながら東北の漁港を応援する商品。

商品購入→東北でとれる「サンマ」「ワカメ」などを折る→完成品を撮影して Web サイトにメッセージを添えて投稿→折り紙作品を集めて作る「ORI-UO 大漁旗」を、まずは岩手県釜石東漁港に義援金と一緒に届けます。

ORI-UO
大漁旗
(イメージ)



リ・ボーンうお (5作品の折り図付き)



(15cm角10色調20枚入り)

ORI-UOは日本折紙協会ホームページで購入できます。折り紙が好きな皆様、ぜひORI-UOにご協力ください!
<http://www.fish-reborn.com>

定価: 500円(税込み) 送料: 1冊140円、2冊200円、3冊~5冊240円、6冊~10冊390円、11冊以上500円

※本誌折り込み郵便振替用紙で代金と送料をご送金ください。日本折紙協会ホームページでも購入できます。 <http://www.origami-noa.com/>

おりがみの日
SINCE 1980

11月11日 「おりがみの日」 記念作品募集!

テーマ

希望

《第19回おりがみカーニバル》作品展

テーマ/希望

展示会場/「こどもの城」1階ギャ

ラリー(東京都渋谷区)

展示期間/11月3日(土/祝)

~25日(日)(予定)

注意事項/作品は、創作・応用、平
面・立体を問いません。

部門/一般、こども(中学生以下)

大きさ/普通、ミニチュア

会場の都合により展示する状態(ケ
ース、額を含む)が以下のサイズに納まる
ように制作してください。



《普通》立体は3辺合わせて1.5m以内
平面は2辺合わせて1.5m以内

《ミニチュア》

10cm × 10cm × 10cm 以内



明るい希望、希望がかなう、希望の星...
など、希望をテーマに楽しい作品を作っ
てください

※上位三賞入賞者には記念の楯、
各賞受賞者には賞状を贈呈します。
受賞作品は「おりがみ」誌上に写真で
紹介されます

※今年から応募用紙の書式が少し変わります。ご協力ください

<以下の各賞を予定しています>

- | | |
|---------|--------|
| 下中邦彦賞 | 奨励賞 |
| 佐野康博賞 | 技術賞 |
| 長野耕平賞 | アイデア賞 |
| 日本折紙協会賞 | ミニチュア賞 |
| こどもの城賞 | 特別賞 |
| 努力賞 | 佳作 |

中学生以下の方の「こども部門」
作品大募集

《応募方法》

- 折り込み添付の応募用紙に必要事項
をご記入の上、作品に添えてお送り
ください。原則として作品は返却い
たしません。返却ご希望の方は宅
配便の着払いにて返送いたします。
(返却希望のない作品は、日本折紙協会に帰
属します。イベント終了後、協会主催の展示
会に使用する場合があります)
- 創作・応用は問いませんが、用いた作
品の原作者名は記してください。
- 作品は他の展示会などに出品され
ていないものに限りです。
- 重すぎるもの、割れやすいものな
どの使用はお避けください。
- 応募作品数に制限はありません。

《締め切り》9月25日(火) 必着

※締め切り後到着分は審査対象外になります

《送り先》〒130-0004

東京都墨田区本所 1-31-5

日本折紙協会事務局内

「おりがみの日 記念作品」係

※『444号』で送り先住所に誤りがありました。
ご迷惑をおかけしました。(編)

2011年「第18回おりがみカーニバル」(テーマ:絆) 上位三賞受賞作品

●下中邦彦賞

《こころ》

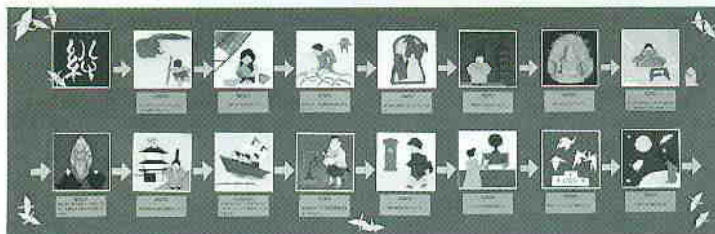
城戸桃代 (兵庫県)



●佐野康博賞

《絆は時代をこえて...》

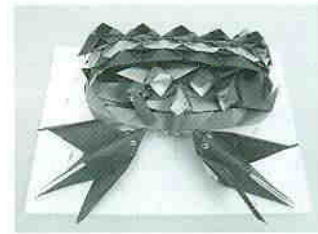
穴原京子 (東京都)



●長野耕平賞

《つばめの親子》

海野由香 (愛知県)



《下中邦彦賞、佐野康博賞、長野耕平賞について》

1994年以来的の長野耕平賞に加えて、2010年「おりがみの日」制定30周年を記念し、下中邦彦賞と佐野康博賞を設けました。下中氏は、日本折紙協会創設当初から会長として協会の理念と方向付けをしてくださった方、また佐野氏は初代理事長として協会運営の基盤を作られた方です。長野氏は、最初に「日本折紙協会を作りましょう」と多くの人々に呼びかけ組織作りをされ、「おりがみの日」を提唱された方でもあります。三人ともすでに故人となられていますが、日本折紙協会にとっては忘れてはならない大恩人です。「おりがみの日」記念作品展とともに、三人の方々の功績と名誉を末ながく伝えて行きましょう。



下中邦彦氏

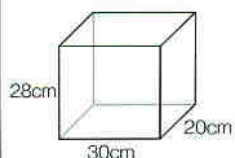


佐野康博氏



長野耕平氏

<作品の大きさに
ついての追記>



「おりがみの日記念作品」は、「こどもの城」での展示後、返却を希望されない作品については、東京おりがみミュージアム(日本折紙協会)ギャラリーでの展示を予定しています。募集の際の作品のサイズは「こどもの城」での展示効果を優先して決めたものですが、特に「返却を希望されない立体作品」につきましては、東京おりがみミュージアムでの展示(写真右)を考慮の上、左図のサイズ内で制作していただければ幸いです。



■作品梱包についてのお願い

作品は、直接事務局に届けてくださる場合でも、じょうぶな段ボール箱などに入れてください。事務局に到着後も、何度も作品の出し入れや移動がありますので、展示作品そのものは壊れないようにしっかりとりのりづけ、箱の中で作品が動かないように梱包しつつ、出し入れもしやすいようにご配慮いただけると、とてもありがたいです。

ほか、勉強会、表彰式、懇親会など「おりがみの日」イベントの詳細は「447号」に掲載予定です。

Piazza NOA

読者の広場

「Piazza」はイタリア語で「広場」。ピアッツァ・ノアは会員の皆さんの交流の場です。



『442号』宛てにいただいたおたよりをご紹介します。ありがとうございます。

「フランスの佐藤直幹さんのバラ」の記事がよかったです。私もバラを作りたいです。折り方を教えてくださいね。「百合の盛花」に苦戦しています。折っていても途中でわからんようになりま

石川県 待川直子さん

「チャレンジコーナー」の「百合の盛花」がよかったです。最近、「作品について」のコーナーがあってとても参考になります。作品を作る意欲が出るし、友達などに

説明するのにも大変よいコーナーです。内容が全体的によくになりました。10年前よりレベルアップしたと思います。何ごとも一歩深めて考えて学んでみることの大切さを改めて思いました。5月初め、病を見つめる日々でした。

岩手県 長谷川静子さん

「干支の時計」(卯、巳、午)は簡単にできて、表情もかわいいです。十二支を全部折って、私も時計を作ってみたくなりました。「おりがみ調査隊」の「かぶと」、以前折ったことがありますが、河合豊彰さんの作品だとは知りませんでした。

青森県 原子睦子さん

「ハッピーウェディング」が特集のすてきな号です。6月は環境月間、「スリッパ」で新聞紙がリユースされていて、とてもよいと思いました。

埼玉県 田林君代さん

「ブレケース」はドットの折り紙で折ったらかわいらしいケースになりました。15cm角の紙だったのでちょっと小さく、サイコロキャラメルのようなものでした。「おりがみ調査隊」のコーナーはいいですね。わからないことや、調べてほしいことなど、質問すればすぐ答えが返ってきそうで

す。「和紙ものがたり」の連載が始まり、興味深く読みました。和紙の利用についての記事で、連載第1回の花火玉では和紙の産地が花火の産地と結びついていることを知りました。第2回の張子玩具は「和紙には侘びや寂びがあり…」と張子を作り続けている橋本氏の言葉は伝統を守り続けている責任の重さを感じました。

東京都 磯野昌子さん

連載「折り図のミカタ」を毎回楽しみに読ませていただいています。1つの形を作り上げるまでの流れを知り、読者に分かりやすく伝える工夫や技術を知ることが大変勉強になります。本当に折り図の見方は折り紙の味方ですね。

大阪府 麩谷仁志さん

今、「メロディコースター」を折り、7枚で傘も折ってみました。友人、知人にプレゼントして、とても喜ばれています。アジサイのシーズンになりましたので、復習して楽しみたいと思っています。

兵庫県 笠井八重野さん

『442号』はまず表紙が気に入りました。色合いが6月号らしくてきれいですね。「メロディコースター」を届いてから一番最初に折りました。私も住田則子先生と同様、4分音符に見えて、楽しいメロディが聞こえてきそうな気がしました。傘もよかったです。両親が幼年なので「干支の時計」の午を折って渡しました。卯、巳、午に続いて全部の干支を折ってみたいので、ぜひ折り方を掲載してほしいと思います。それから「エレキギター」がとてもがっこいい作品なので挑戦してみたら、途中でストップしてしまいました。いろいろ考えながら折っていたら、しまいには折り紙が

5月にご入会いただいた方々です。ありがとうございます。

- | | | | | | | |
|------------------------|----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------|-------------------------|
| ▼北海道
佐々木靖子
名久井麻実 | ▼埼玉県
腰原純子
新倉宏子 | ベレット佐知子
細谷里恵 | 芝山真希
▼岐阜県
日比あや子 | 清水靖弘
▼大阪府
青柳貴子 | ▼福岡県
後藤直暁
進谷知沙 | ▼ドイツ
松石美奈子 |
| ▼青森県
中田麻里子 | ▼千葉県
屋代恵子 | 後藤利枝
高橋廣子 | ▼愛知県
藤原美年子 | 石川嘉代子
▼広島県
川上博子 | ▼熊本県
菊川里香 | ▼ブラジル
Paula Quiñónez |
| ▼岩手県
菅野和子 | 伊原道子
草刈明子 | 吉田さつき
▼新潟県
鈴木亨依 | 亀井幸代
▼山梨県
森戸順子 | ▼大分県
秋吉由加里 | 以上42名
(敬称略) | |
| ▼茨城県
鈴木沙織
鈴木眞智 | 小林あけみ
滝 真紀 | ▼長野県
吉原貴代美 | 平尾由香里
▼香川県
三木玲子 | ▼沖縄県
生盛二一 | | |
| ▼東京都
石田幸代 | 倉島陽子
▼京都府 | | | | | |

- 折紙講師に認定された皆さん
2012年5月1日～5月31日
- | | | | | |
|---|---|---|---|----------------|
| ▼北海道
秋野幸枝
伊藤翔平
大賀 海
岡本彩花
奥山彩美
柿崎知美
加藤亜耶
窪田翔馬
齋藤加那子
佐々木靖子
清水智恵美
高森あおい
寺島千瑛
中川久美子
西村みなみ
長谷川睦美 | 富士山津美
彦根喜一
福田太環
藤枝達郎
堀江大樹
本間優弥
前田美穂
松原夕莉
村上珠奈
桃井美穂
矢野里加子
山影柚衣
▼千葉県
辻澤恵子
▼東京都
有馬真理恵
石田幸代 | 大嶽いつ子
並木 正
▼神奈川県
作本幸江
▼静岡県
馬場栄子
▼三重県
三浦京枝
▼京都府
鈴木ちよ
▼大阪府
柴 五郎
▼奈良県
高田皇子
▼福岡県
内山真沙美
鐘江由佳 | 古賀恵美
樋口奈美
室井志穂
▼佐賀県
白井理恵
▼熊本県
木山香織
藤本彩加
山田あかね | 以上50名
(敬称略) |
|---|---|---|---|----------------|

- 折紙師範に認定された皆さん
(2012年5月)
- 金杉登喜子 (埼玉県)

※折紙師範の上位資格である折紙師範に認定されました

(敬称略)
- 正会員になられた皆さん
2012年5月1日～5月31日
- | | | |
|--------------|---------------|---------------|
| ▼茨城県
上田寛子 | ▼千葉県
安達美恵子 | ▼大阪府
時 恭子 |
| ▼埼玉県
前原 好 | ▼神奈川県
川井千世 | 以上5名
(敬称略) |
- おりがみ級制度：進級者
2012年5月1日～5月31日
- | | |
|-------------|------------|
| 城生睦子 (3級) | 菅野 匠 (9級) |
| 石倉 恵 (4級) | 遊佐美帆 (10級) |
| 伊達光一 (6、7級) | 以上5名 (敬称略) |

今月号に作品などが掲載されている方々

- | | |
|---|-----------------------------|
| 児玉 功 (〒586-0048)
河内長野市三日月町
1027-1-1-304 | 山梨明子 (静岡県)
笠原邦彦 (神奈川県) |
| 斎藤静夫 (〒010-0023)
秋田市植山本町 7-24 | 青木 良 (神奈川県)
小の林知恵美 (栃木県) |
| 川手章子 (〒396-0025)
伊那市荒井 3480 | 永田紀子 (神奈川県)
市川 学 (千葉県) |

上記のご住所は、作者了解の上で掲載しています。当欄を「折り紙の交流」以外の目的で使用することはおやめくださいますようお願いいたします。(編)

しわしわになってしまいました。どうか今以上に楽しく折り方を教えてください。

群馬県 畑村美由紀さん

折り紙ってとっても楽しいですね！折り紙と出会って本当によかったと思っています。今年結婚した息子夫婦へ「花嫁、花婿」を折って額に入れてプレゼントしました。今月号もおもしろい作品がいっぱいで楽しめました。

埼玉県 根本聖恵さん

連載「雑誌『小国民』に見る折り紙」がよかったです。「2011おりがみカーニバル入賞作品」のすばらしさに感激!!

神奈川県 岡 道子さん

6月にちなんで、たくさんステキな特集があってよかったです。老人ホームで折り紙を教えるのが夢です。来月あたりから始めます。

東京都 稲垣明美さん

「メロディコースター」はかわいくて、本誌が届いた日に3個も折ってしまいました。傘にしても素敵でした。「百合の盛花」にも絶対挑戦しようと思っています。認知症の母の介護中ですが折り紙が私をいやしてくれます。

埼玉県 宮崎道子さん

バックナンバーを注文しました。これまでは作品名で想像するだけでしたが、注文した中に「400号」があり、『400号』までの表紙がすべて大集合でした。これからは参考に注文したいと思っています。届いた号の中に芳賀和夫先生の「おりがみ1枚で作る幾何図形」という12回の連載があり、とても興味を持ちました。元・筑波大学教授、理学博士の先生が折り紙？と思いました。折り紙を図形にすると数学につながって行くことを知りました。正方形から形を変えて作られるさまざまな美しく繊細な折り紙作品は、計算され作られている芸術であると思います。

北海道 葛西明子さん

「メロディコースター」は、新人さんでもわりとスムーズに折れて大変好評で

した。全体的に明るく編集されていて、若返った感じです。

静岡県 渡辺信子さん

6月号の表紙に載っていた作品がとてもしっくりと思えました。時間を見つけて折ろうと思います。馬と卯さんの結婚式という発想がおもしろいと感じました。6月という季節も考えてなのでしょうが、「メロディコースター」の音符のあいあい傘をさしているところもステキです。「百合の盛花」がなんとと言っても華やかで、すごいです。

大阪府 児玉 功さん

「花嫁」さんはお遍路さんにも見えましたがすてきでした。「芥川龍之介」はリアルでした。「干支の時計」、あとの9つの干支も作りたいです。ぜひ載せてください。季節に合った作品を折っていきたくと思っています。

徳島県 大平昌代さん

今月号は季節に合わせて多くの花の作品の紹介があり、参考になりました。「みんなの作品展」の折り紙のブーケを見て、伯父が立体の鶴を作っていたのを思い出しました。自分もいつか折り紙のブーケにチャレンジしてみたいです。

茨城県 松井 修さん

連載「折り図のミカタ」はいい具合に説明されていて、説明の言葉もかたくなくて読みやすいと思います。次はどんな「折り図のミカタ」が載ってくるのが楽しみです。「百合の盛花」は単体をたくさん折らなければなりませんので大変でしたが、作品ができたときにはうれしさが一入ひとしほりでした。花好きな私にはうれしい作品でした。折りがいのある作品が豊富でよかったです。趣の異なった作品をよろしく願います。

愛知県 伊藤文代さん

「干支の時計」の動物たちの笑顔がいいですね。夫…卯、私…巳、娘(長女)…午です。色紙に貼ります。カラーのページが増えて、目が悪い私にはうれしい限りです。6月3日、同窓会総会当日、JRの車内

で「びよんびよんガエル」を4つほど折りました。高校へ向かうバスの中で男の子と隣席のおじいちゃんにあげましたら、孫にやりますと喜んでくださいました。いつも鞆の中で出番を待っている折り紙さん、ありがとう。みなさんの笑顔が私にとってうれしいプレゼントです。がんばって続けて行きたいと思っています。

兵庫県 辻本芳子さん

「メロディコースター」と傘、「干支の時計」は初めての人に教えるのに都合がよい。ユニット作品に興味を持っています。毎月の「チャレンジコーナー」が好きです。

福岡県 武井カオルさん

●「Emiの楽しい折り紙 東京教室」を受講しました

高智千鶴子さん(千葉県)



▲講習後、鈴木先生をかこんで(前列左端が筆者)

6月19日(火)の第一回教室では、鈴木恵美子先生の素敵な作品をたくさん拝見することができて嬉しかったです。

第一部では、今まで自己流で折っていた「ツイストローズ」をご指導いただき、本を見るだけではわからないコツを知ることができてとてもためになりました。

また、「愛の翼にツイストローズ」を『月刊おりがみ』よりひとあし早く折ることができたうえ、本には記載のない鶴の下の固定の仕方も教えていただき、飾り方に至ってはまさか黒い輪がベルト芯とは思ってもありませんでした。とても勉強になりました。

6月27日(水)には、オカリナサークルの仲間と松戸市の本土寺に出かけ、紫陽花を鑑賞しながら屋外でオカリナを吹いてきました。教室に飾ってくださった先生のお庭の紫陽花を思い出していました。第二部で教えていただいた「折りたたみバスケットA」を持っていきましたら、皆さんの注目の的で、素敵ね、ほしいわあの声がいっぱいでした。一番年長の素敵

な女性にお譲りしましたが、もう一回見せてと他の方は名残惜しそうでした(紫陽花に合わせて水色のリバーシブル和紙と講習で頂いたメッシュを合わせて折り、水色のツイストローズを付けました)。

バスケットの中はお菓子ではなく、和紙で作った「願い星」で、「もうすぐ七夕ですね、皆さんの願いごとが叶うといいですね」と、ひとつずつプレゼントしたのですが、講習で作成した「メッシュの星飾り」だったら皆さんにもっと喜ばれたかもしれません。

次回からの教室も楽しみです。

●本所二郵便局の折り紙スカイツリー



日本折紙協会事務局最寄り(徒歩2分)の本所二郵便局に、こんな折り紙ディスプレイがありました。郵便局を利用する方はもちろん、通行人も思わず足を止めて見入るほどのできばえです。

じつは所長さんが日本折紙協会会員で、局員の皆さんが『月刊おりがみ』や折り紙の本を参考にアイデアを出し合っていて、郵便局を折り紙で飾っています。今回は、「たくさんの折り鶴で絵柄を作ってみよう」と、東京スカイツリータウン開業に合わせて(P48参照)、花火をあしらって構成したそうです。次はどんな飾りを見せてくれるでしょうか。

●東京おりがみミュージアムが東京スカイツリー周辺のガイドブックに紹介されました

『東京スカイツリー下町さんぽ』

2012年 昭文社刊

日本折紙協会事務局(東京おりがみミュージアム)が、中島 進さん作の折り紙スカイツリーが展示されているギャラリーの様子とともに紹介されています。東京スカイツリータウン開業にともない数あるガイドブックの中で、ぜひ本書をお役立てください。書店でお求めになれます。

定価:860円(税込み)
ISBN978-4-398-13342-7



▲東京おりがみミュージアムは両国エリアに紹介されています

新刊書紹介 NEW BOOK

※事務局では取り扱っておりません。以下のとおり通販や書店をご利用ください。

母と子でたのしく遊べるかんたんおりがみ

丹羽兎子 著
ナツメ社刊
B5変型160頁



動物、恐竜、乗り物、おもちゃ、虫、花など、子どもが「つくってみたい」「つくってほしい」「あそんでみたい」と思えるような、わくわくする作品130点収録。著者もお気に入りの一冊だそうです。

定価:1,050円(税込み)
ISBN978-4-8163-5235-5
(ナツメ社) ☎03-3291-1257(代)

【お詫びと訂正】

[444号]P46の古堅(ふるげん)幸江さん(沖縄県)の写真記事を誤って記載しました。沖縄の紅型(びんがた)柄の紙で折ったのは古堅さんご自身で、ご友人が文字を書いたものでした。お詫びして訂正します。(編)



新着 ▶ 暮らしを彩る折り紙展

天徳院の珠姫まつりで折り紙体験教室と「暮らしを彩る折り紙展」を行います。
新保千加子(石川県)

日程/展示:8月6日(月)~12日(日)
教室:8月9日(木)
会場/天徳院(〒920-0942 石川県金沢市小立野4-4-4 ☎076-231-4484)
交通/JR金沢駅よりバス・湯涌温泉行き・錦町行き・錦町經由東部車庫行きにて天徳院前下車

新着 ▶ 旧安田庭園「納涼の夕べ」に出展

墨田支部「折り友すみだ」(中村桂一支部長)が、旧安田庭園の夏の行事「納涼の夕べ」に折り紙コーナーを出展します。
日時/8月4日(土)・5日(日)
16:30~20:30
会場/旧安田庭園(JR両国駅西口下車)
問い合わせ/墨田区観光協会 ☎03-5608-6951

新着 ▶ 竹灯籠と折りの鶴で松島支援

『438号』に掲載していただいた大鶴が松島に行くことになりました。「東日本復興支援事業~絆プロジェクトおおむた~」は宮城県松島町の国宝瑞巖寺の「瑞巖寺灯道」で「龍神伝説三池光竹」の竹灯籠と巨大折鶴を飾ります。開催中は押し花シールを貼った「羽ばたく鳥」をプレゼントします。この機会にぜひ現地に足を運びたくさんの方に観光支援をしていただけたらと思います。
(筑後支部 伊藤晴美)

日時/8月6日(月)~8日(水)
会場/宮城県松島町瑞巖寺周辺
詳細はホームページ:大牟田市社会福祉協議会『東日本大震災復興支援~絆プロジェクトおおむた』活動ブログをご覧ください
<http://www.omshakyo-kizuna.com/>

新着 ▶ ノアこぶし会おりがみ展

練馬支部「ノアこぶし会」(服部周平支部長)平成24年度の作品展です。
日時/8月25日(土)~29日(水)
初日は13:00より
最終日は16:00まで
会場/ギャラリーM
東京都渋谷区神宮前5-1-14
☎03-3409-2622
東京メトロ表参道駅A1出口徒歩3分

[442号]P47のおたよりで、精興(くすお)則子さん(栃木県)の読みを誤って記載しました。お詫びして訂正します。(編)



復興を願う折り紙「千枚ホタテ」 ▶

「梅ちゃん先生作品展」ただいま開催中



おりがみあいうえおひょう、結びユニット、リング、昆虫、色紙など83作品を展示しています

ただいま個展を開催中です。作品展名は今が旬？
(大阪支部長 梅本吉広)

日程/9月5日(水)まで(予定)
会場/日本折紙博物館(石川県加賀市) ※P8広告もご覧ください
問い合わせ/日本折紙博物館 ☎0761-77-2500

2012北陸折紙コンベンション (新潟支部・金沢支部 共催)

日時/10月13日(土)・14日(日)
会場/学生総合プラザSTEP研修施設(新潟市)
内容/講演会「高齢者と共に楽しむ折り紙」(講師:田中稔憲)、
おりがみ模擬店、折り紙教室、懇親会 他
定員/100名
参加費/5,000円、宿泊費5,500円、懇親会5,000円 など
申し込み締め切り/7月31日(火)
問い合わせ/(事務局)真野とみ
〒956-0033 新潟市秋葉区新栄町22-19
☎0250-24-6754
または(金沢おりがみの会)田中稔憲
〒921-8064 金沢市八日市2-770
☎/Fax.076-244-7559

第18回九州折紙コンベンション 鹿児島大会

折り紙に興味のある方はどなたでも参加できます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時/11月17日(土)・18日(日) お申し込みいただいた方には、7月下旬より案内書類を発送いたします

会場/鹿児島東急ホテル

招待講師/土戸英二先生(折り紙作家)

参加費/5,000円(折り紙、折図集込み)
7,000円(懇親会)、6,500円(宿泊費/2名1室、朝食付き)、1,000円(弁当代/18日昼食)

定員/180名(先着順、8/31締め切り)

問い合わせ/鹿児島支部「折遊かごしま」支部長 山川幸代
〒890-0064鹿児島市鴨池新町26-3-301
☎/Fax.099-250-1737
(九州折紙ポータル)http://j.2-d.jp/mik.cgi

作品募集 (特集予定)

皆さんの自信作をどしどしお寄せください。
(折り込み添付の投稿作品記録用紙および作品投稿の注意事項参照)

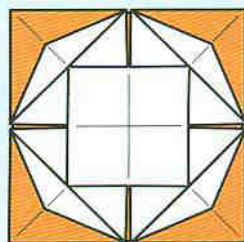
- 449号 (1月号) → 8月15日締め切り
お正月、干支(巳)
- 450号 (2月号) → 9月18日締め切り
節分、バレンタインデー、冬の花、雪景色
- 451号 (3月号) → 10月15日締め切り
ひなまつり、卒業、ホワイトデー

おりがみ頭の体操

毎月、正解者の中から抽選で5名の方に「きれいな折り紙セット」をプレゼント!
ご応募お待ちしております!

【問題】

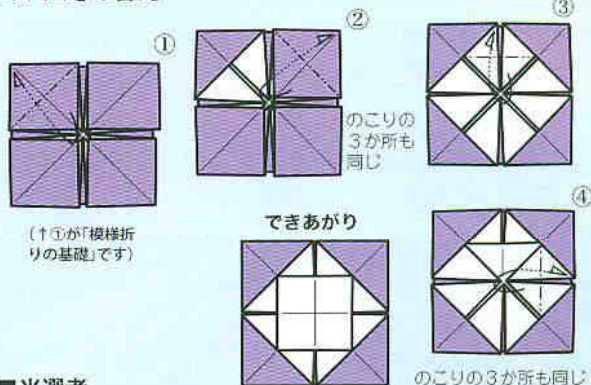
1枚の正方形で、「模様折りの基礎」(伝承の「百面相」)を折ってから、右の図の形のように折ってください。(ハガキにしっかりと貼るか、封書で送ってください)



※ドイツの教育者フリードリッヒ・フレーベル(1782~1852)が幼児教育のために導入した、模様折りのバリエーションを紹介しします

- 応募方法/ハガキが封書で、クイズの答えの折り紙と、
(1)今月号の中でよかったと思う作品や記事、(2)今月号の感想と本誌への要望、(3)今、興味を持っていること、最近面白かったことなど(「おたより」に掲載の場合あり)を書いたものをお送りください。(※郵便番号・都道府県名からの住所・氏名・電話番号・会員番号をご記入ください)
- 宛て先/〒130-0004 東京都墨田区本所1-31-5
日本折紙協会編集部「頭の体操」445号の係
- 締め切り/9月5日(消印有効) ■ 当選者発表/448号

■ 442号の答え



■ 当選者

長谷川静子(岩手県) 田林君代(埼玉県) 渡辺信子(静岡県)
岡岡 待川直子(石川県) 武井カオル(福岡県)

(敬称略)

来月号のおしらせ

446号

特集「秋の遠足」
The excursion in autumn

遠足にはお楽しみがいっぱい。リュックサックしょって、バスに乗って。さあ、どこに行き 水陸両用バス、小学生の男子と女の子、リュックサック▶



【編集雑記】なにかと嫌われ者の月曜日は、祝日の皆さんに無理を言って、振替休日というものを考え出しました。ところが「これは真の人気ではない」と悩める月曜日、今度はハッピーマンデーをかたり、お人好しの「敬老の日」「成人の日」「海の日」「体育の日」に声をかけたのでした。これに乗らなかった「秋分の日」は毎年、その曜日(2012年は土)に意見しているとか。

新事務局へようこそ (その17)



「東京おりがみミュージアム」は日本折紙協会のギャラリーの愛称です。よろしくお願ひします!

2012年5月22日(火)、ついにオープンした東京スカイツリータウン。電波塔の「東京スカイツリータワー」、商業施設「東京ソラマチ」、オフィス施設「東京スカイツリー イーストタワー」の3つの施設を中心とした、水族館やドームシアターなども併設されている新しい街です。現在、展望デッキ入場券が入手困難な東京スカイツリー。しばらくの間は外から眺めてみようではありませんか。



東京おりがみミュージアムからの距離は約1km、徒歩約20分です。

634mという圧倒的な高さでどこからでも見えるので、目的地を見失うことはまずないと思います。東京おりがみミュージアムへお越しの際は、ぜひ足を伸ばしてみましょう。逆に、先



▲昼



▲夜のライトアップ。「粋」と「雅」が一日おきに楽しめます



に東京スカイツリータウンに行かれた方も、ぜひ東京おりがみミュージアムまでお越しください(こちらの方は道に迷うかもしれません)。

夜のライトアップも見どころ。上の写真は、地図の★地点(駒形橋の東側の五叉路)から見た東京スカイツリー

の昼と夜です。ライトアップの基本点灯時間は19:00~23:00。水色が「粋」で、紫が「雅」と名付けられています。

東京スカイツリーと東京スカイツリータウンについて、詳しくは下記ホームページをご覧ください。(東部グループ) <http://www.tokyo-skytreetown.jp/>

●●●●● おすすめルート

▼ やっと到着。足元から見上げたところ

▲ East Yard 5階の産業観光プラザには634羽の折り鶴が！中村桂一常任理事と墨田支部の本位田那穂美さんの二人で折られたそうです。(株)NACAMURAの折り鶴専用紙「ORIGAMI FOR CRANE」が630円(税込み)で販売中でした

◀ 「ソラマチ商店街」にぎわってます

次回は「水陸両用バス」をご案内します

和紙ものがたり



美濃本蛇の目傘 藤切り抜き模様。模様継ぎといわれる和傘独特の文様が入っています。模様を切り抜き、裏から当て紙を張って作られます

和傘の歴史

傘の起源は木製の骨組みに布を張った蓋で中国や朝鮮半島より渡来しました。傘は頭にかぶる笠と区別するために、もともとは「からかさ」や「さしがさ」といわれていました。12世紀前半に作られた「源氏物語絵巻」に光源氏が「さしがさ」をさしている絵が描かれているのが絵画資料としてもっとも古い和傘です。江戸時代末にイギリスの商人より洋傘が伝えられると、それと区別するために和傘と呼ばれるようになりました。

和傘が普及するようになるのは、江戸時代に入ってからで、とくに女性の間では直接かぶる笠と違って、髪形がみだれないので持てはやさされたそうです。元禄(1688~1703年)のころには柄が短い細身の「蛇の目傘」が生まれます。「蛇の目傘」は中心部と周辺部に色が付けられ、広げると白い輪の部分に蛇の瞳のように見えることから名付けられました。享保(1716~1736年)のころには、周囲に飾り糸があり、握りやすくするために柄の手に藤が巻かれた「藤巻き」になっている凝った作りの紅葉傘や、渋蛇の目傘が流行します。また、飾り糸や装飾糸のない、実用本意な番傘も人気でした。

幕府や諸藩から使用禁止令が出ても、町人文化としての傘の広まりは抑えき

れず、美しい傘が次々と作られました。江戸時代末、岐阜から長良川を下って桑名に出、海上経由で江戸に年間50万本もの傘が届けられていたそうです。

紙の張り

和傘用の紙には、^{えのあぶら} 生油(エゴマの種子から採る油)や麻甘仁油(アマの子から採る油)や桐油(油桐の種子から採る油)などを塗って防水加工をしますので、丈夫な楮紙がおもに使われます。

左下の図のように和傘には各部に名称がありますが、それぞれ異なった紙が使われます。

まず、骨の間隔を揃え、補強するための「軒紙」を張ります。使用時に他のものに当たって傷つけやすい場所なので、とくに強い紙を用います。次に、中節の位置は、「中置き紙」を張って補強をします。3番目に軒から中節にかけて、縦に長い扇形の形に裁断された「平紙」を張ります。骨と骨との間ひとつを1間と数え、その3間ごとに1枚張るのが基本です。4番目に細長い紙を頭ロクロに巻き付けます。「から巻き」と呼ばれ、巻き終わりだけに少量のりをつけます。これは、その上に張る「天井紙」とロクロがくっついていたら傘が自由に開閉しなくなるからです。

5番目に扇形に切った「天井紙」を「平紙」と「から巻き」それぞれに重ねて糊

取材協力、写真提供：
株式会社 マルト 藤沢商店
ホームページ www.wagasa.co.jp

付けします。このあと、再び頭ロクロに「中巻き」と呼ばれる細長い紙を巻き付け、下端を「天井紙」に糊付けします。さらに下端に細かな切り込みを入れた「みの紙」を巻き、しっかりと糊付けします。「みの紙」は長良川の鵜飼の腰蓑に似ていることからこの名が付いたそうです。

なお、「蛇の目模様」のときは、「平紙」と「天井紙」の間に、白い「中張り紙」を張ります。

紙を張ったあとも続く「油引き」や「漆かけ」などの多くの工程を終えて、「頭紙(かっぱ)」という、正方形の防水加工した紙をかぶせます。このかぶせ方は、儀礼折りの「御神酒徳利口花形」のようです。

和傘のよさ

和傘を開くと、ほのかに油の香りが漂います。そして傘にパラパラと跳ね返る雨音の心地よさ。頭の上に広がる和紙の落ち付いた風合い、和紙を通して当たる日ざしの柔らかさ。竹と飾り糸の美しさ。

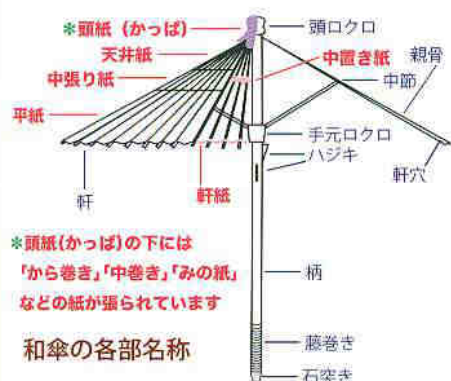
また、傘を閉じたときのたたまれた様子はみごとなものです。和傘を使う喜びを一人でも多くの人に味わってもらえたらと思います。



◀ 洋傘と違って内側に渦巻き状にたたみ込まれます



▲ 天日干し。傘に塗った油を乾かす作業です。油が日ざしを浴びてきらきらと輝いてとても美しい光景です



◀ 軒紙切り。奥には色とりどりに染められた紙が置いてあります
◀ 三間張りで平紙を張ります



日本折紙協会は支部設立を応援しています！

このコーナーでは全国各地で活動中の支部の情報をお待ちしております

第13回「信州おりがみ交流会」を実施して

信濃支部「りんどう」文：今井久子／長野県、写真提供：大口妙子／長野県

ちょっぴり道草をして遅くなった信濃路にも、やっと春が訪れ、桜、あんずの花咲く4月21日(土)と22日(日)の2日間、信濃支部「りんどう」主催による、第13回信州おりがみ交流会を、長野市勤労者女性会館しなのきにおいて、開催しました。全国より200名近くのご参加をいただき、大変有意義な会を持つことができました。

今年のメインゲストには、長野県のご出身でもあります、川畑文昭さんをお迎えして、全体会で「折紙～ペーパークラフトの間で」と題してご講演いただきました。

川畑さんといえば、折り紙理論に基づく、精巧な作品を数多く創作されていますが「はさみで切って、形を表現する！」という驚く内容のプレゼンテーションに、一堂、全く新鮮な感覚

を覚えました。と同時に、川畑さんに、身近で気軽に声を掛けていただき、お話を伺うことができたことも、たいへん嬉しいひとときでした。

また、全国から、たくさんの講師の方々のご協力により、40余の教室で、それぞれステキな作品のご披露と、丁寧なご指導をいただき、とても実り多い勉強会になりました。

毎回、交流会のたび、申込み時より講師はじめスタッフとしての、あたたかなご支援のお申し出をいただき、地元スタッフ一同、感謝いたしております。

当日は、地域の愛好者対象の「早得教室」から、川畑さんの全体会、昼休みをはさみ、講習プログラム、さらに夕食を済ませ、それぞれの講師により深夜まで、折紙三昧の時間を過ごしました。

懇親会では、日頃お目に掛かる時とはひと味違った、皆



◀▲川畑さんの展示作品と講演

様の多種多芸ぶり！全員で歌に合わせて手話を…。健康体操で身体を動かしたり、オカリナの音色に聴き入ったりと、大盛り上がりでした。

久しぶりの再会に旧交を温め合ったり、新しい折り紙仲間と情報交換をされた方もおられたようです。

折り紙が結んでくれた、たくさんの縁に、とても深い喜びと、幸せを感じております。また、来る年もたくさんの皆様のお力をお借りして、より一層充実した、楽しい交流会が開催できることを願っております。

最後に、協会はじめ、ご協力、ご参加いただきました皆様に、心から感謝申し上げます。



2011年末からの支部作品展報告

武南支部「折り紙夢工房」支部長 金杉登喜子／埼玉県

2011年11月27日(日)～12月1日(木)に「埼玉県芸術文化祭2011」において、折り紙夢工房の作品展を川口文化センター「リリア」ギャラリーで開催しました。テーマは「キャラクターの夏祭り」です。会員一同切磋琢磨し新作の「ウルトラマンおりがみ」

は人気の的でした。ウルトラ兄弟参上!! の8人組は家族連れが写真を写して喜ぶ姿がよく見られました。折り紙の楽しさや技術を伝承する体験コーナーでは、多くの愛好者が集まり親睦を深めることができました。親子連れをはじめ幅広い世代が訪れ「折り紙の奥深さに感動した」等の感想に会員も励まされました。折り紙には無限の可能性と創る喜びがあるということを体験の中から感じ取っていただけたと思います。日本の伝統文化である折り紙の知恵と技術の伝承に貢献することができました。



2012年2月4日(土)に第36回埼玉県文化振興会において、折り紙夢工房の作品を埼玉会館大ホールで発表しました。大会テーマ「生きること、表現すること」、教養分科会テーマ「伝統文化の伝統と創造」に合わせて、4m角の用紙で着物、はばたく鶴、カード入れなどウエットフォール



ディングで木植なども使い会員50名で参加。会員の作品を舞台



折り紙玉手箱20周年 (吹田支部 結成10年) 作品展

吹田支部「折り紙玉手箱」支部長 渡辺眞寿美 / 大阪府

美しい和紙から広告用紙まで、たった1枚の紙から広がる夢に魅せられて1人でも多くの人に折り紙の楽しさを知っていただくために活動して20年。4月6日(金)～8日(日)、吹田市文化会館(メイシアター)で作品展を行いました。今までの作品と今回作品展のために会員1人1人が真心こめて折った作品を合わせて300点余りで会場を飾りました。

遠方からも多数ご来場くださいました。連日大盛況で会員一同心よりお礼申し上げます。ケーブルテレビも取材に来てくださって1日5回、1週間(4/13～20)放映されたことにも感謝、感謝です。とても忙しい思いをしましたが健康で活動を続けられたことに感謝しています。仲間の大切さを感じ、折り紙をやっていて本当によかったという充実感でいっぱいです。ありがとうございました。



◀作品展入口

「すいたん」 創作：渡辺眞寿美
「アルファベット」 創作：長谷川太市郎
「バラ」 創作：鈴木美美子

▼万博公園四季の花 (花は1月刊おりがみより)



▲受付の桜の大木



▲大盛況の折り紙教室



▲テレビ放映もありました

いっばいに各自で持ち発表、大きな拍手をいただき折り紙の楽しさを伝えることができました。折り紙を始めて45年になり、会員も自分の夢に向かって楽しんでいます。11月に埼玉県芸術文化祭が川口総合文化センター「リア」で開催されますので、作品制作にがんばっています。

2012年2月18日(土)～23日(木)に第28回大宮第2公園「梅まつり」の会場において、折り紙夢工房の作品



▲体験教室



東日本大震災 被災者支援活動 募金活動の様子

展を開催しました。梅香中、陶芸展があり大勢の入場者に感激しました。毎年楽しみにしていますとの声に励まされたり出会いの楽しさにリピーターも増えました。特に今年は福島県双葉町民の避難所へ3度ほどボランティアで行った縁で、東日本大震災の被災者支援のため、募金をお願いしました。募金をしてくれた方のお礼に会員が制作した「おひなさまの姫色紙」をプレゼントしました。大変好評で、たくさんの方々に募金をしていただき27,400円になりました。元埼玉県立騎西高校に避難している福島県双葉町のみなさんの希望で折り紙の本24冊を3月22日に双葉町役場に届けました。町民の方から喜びの声を聞き、義援金のありがたさを心に刻みました。その模様は大宮第2公園ギャラリー会場に報告書として1年間貼り出してくださいました。感謝いたします。



日本折紙協会 2階講習室 定期講習会

楽しい教室開講中!
どうぞご参加ください!

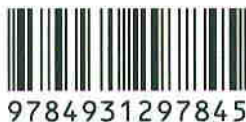
【講習室利用のご案内】折り紙教室、講師を招いた勉強会、支部の例会、作品展など、折り紙の普及のためにご利用ください。お申し込みは所定の「講習室利用申込書」を日本折紙協会事務局までご請求ください。

講師/講座名	日時	開講初日	内容	定員	講習費	申し込み・問い合わせ先	8月の講習予定作品
高山鈴子 おりがみドリーム	毎月第1火曜日 13:30~15:30 (13時受付開始)	開講中	伝統折り紙、千羽鶴折形、連鶴、オリジナル(創作)作品ほか	32名	2,000円/回 材料費込み (当日支払い)	高山鈴子 携帯 080-5046-5849	
坂間賀世子 豊島支部 折紙勉強会	毎月第2金曜日 13:30~15:30 (13時受付開始)	開講中	季節の折り紙、やさしい折り紙など	30名	1,000円/回 (当日支払い) 15cm角の折り紙をお持ちください	坂間賀世子 電話/Fax 03-3983-6970	(豊島支部定例の勉強会ですが、どなたでもご参加いただけます)
市川学 折り紙教室	毎月第1水曜日 13:30~15:30 (13時受付開始)	開講中	オリジナル(創作)作品	32名	2,000円/回 必要な場合のみ材料費別 (当日支払い)	市川学 電話/Fax 043-276-3760 携帯 090-9322-9637 E-mail:manabu@mx6.ttcn.ne.jp	
小宮はじめ 折り紙教室	毎月第2水曜日 13:30~15:30 (13時受付開始)	開講中	オリジナル(創作)作品	32名	2,500円/回 材料費500円込み (当日支払い)	小宮はじめ 携帯 090-2635-6705	
中島進 (日本折紙協会理事、 草加越谷支部長) 折り紙教室	毎月第3水曜日 14:00~15:00 (13時30分 受付開始)	開講中	竜、東京スカイツリー、海外作品・オリジナル(創作)作品など	15名	2,000円/回 ほかに材料費300円程度 (当日支払い)	中島進 電話/Fax 048-936-0601 携帯 090-1434-7249 E-mail:origamicenter@hotmail.com	
山田勝久 折り紙教室	毎月第4水曜日* 13:30~15:30 (13時受付開始)	開講中 ★7月25日休 8月1日振替 (10時受付開始)→10:30~12:30	オリジナル(創作)作品	20名	2,000円/回 ほかに材料費300円程度 (当日支払い)	山田勝久 電話/Fax 046-288-3020 携帯 080-2017-1328 E-mail:katsuhisa@hb.tp1.jp	★7月25日(休)→8月1日(水)10:30~12:30開講 8/1:コスモス 8/22:カーネーション
宮本真理子 「四季折々」 ※材料準備の都合上 なるべくご予約 ください	毎月第3金曜日 10:00~12:00 (9時30分 受付開始)	開講中 ◆8月18日(土) 夏休み親子おりがみ体験教室 →P41に詳細	季節の折り紙作品(新作色紙など)	32名	2,500円/回 材料費込み (当日支払い)	宮本真理子 電話/Fax 095-845-8639 携帯 090-7396-7881 E-mail:kameteo@hotmail.co.jp	
宮本真理子 「おりがみサロン」 ※材料準備の都合上 なるべくご予約 ください	毎月第3金曜日 13:00~15:00 (12時30分 受付開始)	開講中 ◆8月18日(土) 夏休み親子おりがみ体験教室 →P42に詳細	保育・デイサービスやイベントで使った折り紙なども紹介	32名	2,000円/回 材料費込み (当日支払い)	(同上) 「四季折々」から続けて参加する方は講習費が1,500円になります	
張替亮子 「平織り講習」	毎月第2火曜日 13:30~15:30 (13時受付開始)	開講中	藤本修三さんの平織り技法による作品	15名	2,000円/回 材料費込み (当日支払い)	張替亮子 電話 048-261-7241 携帯 090-5526-9348	
鈴木恵美子 「素材を楽しむ 折り紙」	毎月第3火曜日* 13:30~15:30 (13時00分受付開始) (時間が変わりました)	開講中 ★10月のみ 23日 (第4火曜日)	リバーシブル和紙、メッシュ折り紙、木の折り紙など、いろいろな素材で作品づくり	32名	2,500円/回 材料費込み 半年単位(全6回) で受け付けます	鈴木恵美子 電話/Fax 029-873-0484 携帯 090-9855-6247 E-mail:nqc38300@nifty.com	
鈴木恵美子 「楽しい おはなし折り紙」	毎月第3火曜日* 15:30~17:30 (15時00分受付開始) (時間が早くなりました)	開講中 ★10月のみ 23日 (第4火曜日)	折り工程をおはなし仕立てにし、基本形を系統的に学び直しながら「紙二ヶーション」	32名	2,000円/回 材料費込み 半年単位(全6回) で受け付けます	(同上) 「素材～」と両方参加する方は講習費が1,500円になります	

※講習会以外の件で、各講師へのお問い合わせはご連絡ください。

日本折紙協会主催講座 『秘伝千羽鶴折形』 と折り紙の歴史	内容/江戸時代に出版された連鶴の古典 毎月第2木曜日 13:30~16:30(13:00受付開始) 講師/岡村昌夫先生 講習費/3,000円(税込み)/回	定員/32名(定員になり次第締め切り) (※第7回:7月12日は休講となりました。 次回8月9日以降の開講は現在未定 となっております。日本折紙協会までお問	い合わせください) 日本折紙協会事務局 ☎03-3625-1161 (本講座は日本折紙協会会員に限りです)
------------------------------------	---	---	---

特集 秋の始まり The beginning of autumn



ISBN978-4-931297-84-5
C2076 ¥728E

9784931297845



日本折紙協会発行
定価 764円
(本体 728円)



お問い合わせはこちらへ
☎ 03-3625-1161
〒130-0004
東京都墨田区本所1-31-5



印刷 大日本印刷(株)

